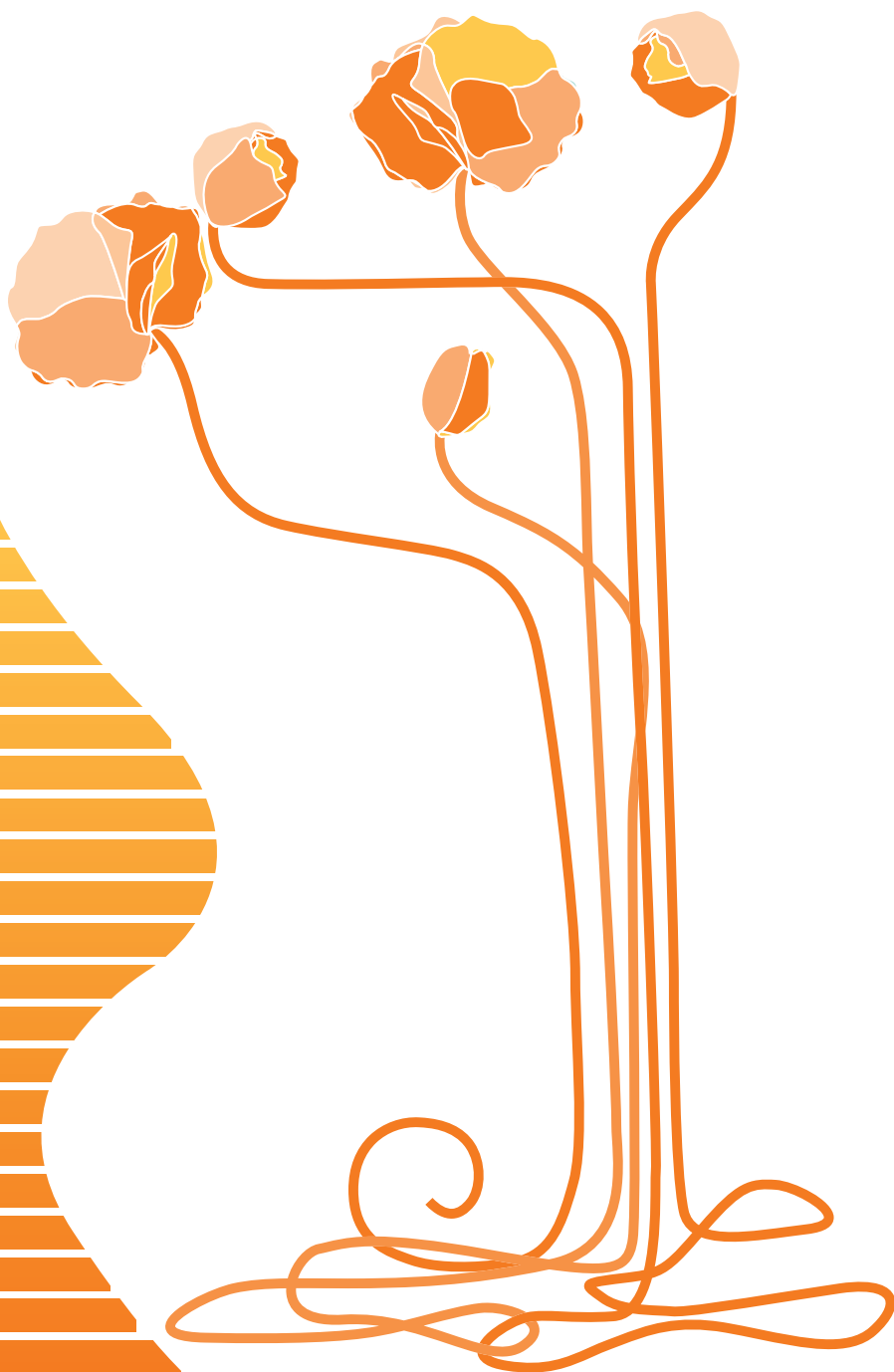


WINET 情報

ウイネット

No. 4

1999. 9



国立婦人教育会館

WINET情報 ● CONTENTS

第4号 平成11年9月

巻頭言 ノンフィクション作家 門野 晴子 1

婦人教育情報センターより

- 「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する
調査事例集データベース」を公開しました！ ...2
高等教育機関における女性学関連科目の現況
平成8年度調査報告書を刊行しました！3
WINET・文献情報データベースの使い方
詳細検索画面4

会館事業情報

- 平成11年度又エック（国立婦人教育会館）公開シンポジウム
国際シンポジウム「開発におけるジェンダーと
エンパワーメント」報告6
プログラム研究「NWECC（国立婦人教育会館）アドバンスコース」
- ジェンダーに敏感な視点を身につける -8
「婦人教育施設職員の抱える問題 - 平成11年度婦人教育施設
職員のためのセミナー参加者アンケート結果」より ...10

海外女性情報

エクアドル女性の現状と政策

- 帝京大学法学部助教授 江原 裕美12
国立婦人教育会館客員研究員

書誌情報

- 女性・家族関係雑誌記事インデックス17
テーマ展示図書案内42
新着図書案内47

編集後期

WINET（ウィネット）とは...国立婦人教育会館が収集している女性及び家族に関する様々な情報のデータベース検索システムの総称(Women's Information NETWORK system)です。

「『老親を棄てられますか』の映画化を私にやらせてください」 おつれあいと共に現われた女性監督は車椅子だった。障害はその人の個性だと考える私だが、慢性関節リウマチだと聞いて断れなかった。

が、条件を出した。舅役は小林桂樹、実母役は草笛光子じゃないとイヤだと言うと、努力しますと彼女が言う。そして逆に訊かれた「門野さんの役は誰がいいですか」と。私はつまった。いないんだ、日本の芸能界には（私の知っている範囲では）

学歴を含め社会的既得権が何もない主婦が、ムラ社会に袋叩きに遭いつつ自己主張し、運命を切り拓いてゆくナマイきな女 ハリウッドにはアクの強い女を演じる女優が大勢いるのに、日本にはいないじゃないの。

すると彼女、槇原寿鶴子監督も曰く、耐えて尽くすつつまじやかな女ばかり要求してきた日本の映画界は、自立した女を演じる女優を育ててこなかった、と。

さて、6月2日の記者会見当日、監督が見つけた門野晴子役は萬田久子だった。ああ、いたね、存在感のある大人の女優が。コトバを腹のなかから出せる女優が……。

さらに小林桂樹、草笛光子とも出演OK。皆さん格安のギャラで出てくださる。感激する私に小林桂樹開口一番、「ぼくは老けはやらないんですよ」。ワハハ、いいなあ。

さらにさらに、米倉喬加年が監督に昔曰く「あなたが映画を撮るときは無料で出演するよ」がホントになり、シナリオに私の実父の役を書き足した脚本家のうれしい番狂わせ。

東京女性財団の助成金も受けられるようになり、10月クランクイン、2000年3月クランクアップ予定、岩波ホール総支配人の高野悦子の推薦というゴーカケンランの映画である。

とはいえ、日本のアーティストは貧しい人が多い。協力チケット（全国共通鑑賞券1枚1500円）や1口10万円の製作協力金をお願いしたい（*注）。

ところで、記者会見の席上で介護保険について質問が出たので、私がザッと説明した。もちろん批判的に。驚いたの何のってナーンニモ知らない人たちが少からずいて、双方で「ウッソー」と絶句。40歳以上の人も、だ。

拙著のまえがきに書いた「介護とセックスはやった人にしかわからない」に、介護保険も加えよう。今年も国際高齢者年、こんな程度でいいのかいな。誰もが老い病んで死ぬのに、何とまあのだかなことよ。（敬称略）

*注 詳細は『老親 ろうしん』のチラシか、製作委員会パオ（Tel.03-3327-3150）へどうぞ。

プロフィール

かどの・はるこ 昭和12年生まれ、東京出身。実母を介護中。

<関連著作> 「老親を棄てられますか」「老親の介護で力尽きるまえに」「寝たきり婆あ猛語録」「寝たきり婆あ、たちあがる！！」「ワガババ介護日誌」ほか

NHKの朝の連続ドラマ「天うらら」の原案者。

「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査事例集データベース」を公開しました！

平成11年7月7日、国立婦人教育会館ホームページで「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査事例集データベース」を公開しました。本データベースは、全国の婦人会館・女性センター等で実施されている〈学習・研修〉事業について、男女共同参画社会の形成の視点から、その効果と話題を検証することによって、女性関連施設の今後の役割および事業の方向性を探ることを目的として文部省の委嘱を受けて、全国婦人会館協議会が平成10年度に実施した「女性関連施設における〈学習・研修〉事業に関する調査」をデータベース化したものです。

1. キーワード

この欄は直接入力も可能ですが、2の事業の分野、3の都道府県名のボックスから選ぶことにより、キーワード欄に自動入力されます。

2. 事業の分野

右の記号をクリックして下さい。以下の分野から選択することができます。

家族問題、女性学、女性の人権、社会・福祉、少子・高齢化問題、こころとからだの健康、自己表現・文化表現、国際問題・国際交流、リーダーシップ養成、男性への男女共同参画意識の浸透、男性の生活自立、就職支援、労働事情、パソコン関連、市民活動・グループ活動支援、趣味、スポーツ

3. 都道府県名

指定することにより都道府県の絞り込みができます。一覧は右の、スクロールバーを使って上下に移動しますので、都道府県名を選択して下さい。

4. 一度に表示される件数の変更が可能です。初期値は20件になっています。

5. 要約表示の有無の指定ができます。初期値は有りになっています。
・有りのとき：検索結果に施設名、所在地、電話、FAX、事業名・対象者等の一部が表示されます。
・無しするとき：施設名のみが表示となります。

6. 各項目の指定ができましたら、検索ボタンをクリックして下さい。

詳しくは、最初のページの「検索の方法」をご覧ください。

高等教育機関における女性学関連科目等の現況 平成8年度調査報告書を刊行しました！

国立婦人教育会館では、我が国の高等教育機関における女性学関連分野の教育・研究動向を調査し、データベース化することによって、女性の学習機会の拡充を図るとともに、同分野の調査・研究に資することを目的とした「高等教育機関における女性学関連科目等の調査」を実施しており、このたび平成8年度の調査結果をまとめた報告書を刊行いたしました。

調査の概要

調査期間	平成9年4～6月
対象機関	全国の大学・短期大学等1237大学 研究者（前回の調査で女性学関連科目を開講している旨の回答が得られた）410名
対象科目	全国の大学・短期大学等の高等教育機関において女性学または女性学の視点を取り入れた科目（講座）
対象年度	平成8年度
調査項目	開設年、科目名、テーマ名、テーマ分野、実施大学名称・所在地、対象学部、設置者区分、4年・短大の区分、担当者氏名・役職・専門分野・所属機関名、科目内容、テーマ選択理由、講義の進め方、開講時期、科目種別、単位数、指定学年、取得資格、成績評価、受講者数、公開の有無、聴講料、聴講資格、聴講選考法、受講後の意識変化、学内への影響、今後の課題

調査結果の概要

	平成8年度	平成4年度
回答が得られた高等教育機関数	1192	1102
女性学関連科目を開講している 高等教育機関数	351 29.4%	251 22.8%
科目数	786	512

調査報告書の内容

この調査報告書においては以下の項目について、平成4年度との比較分析結果を掲載しました。

1. 開講大学・短期大学数
2. 科目数、設置年、公開状況
3. テーマ・テーマ分野
4. 受講者数
5. 受講後の意識変化
6. 担当者
7. 講義の進め方
8. 今後の課題

本調査はすでにデータベース化し、インターネットの会館ホームページ(<http://www.nwec.go.jp>)上で公開しておりますので、いつでも自由にご覧いただくことができます。

WINET・文献情報データベースの使い方 ＜詳細検索画面＞

WINETは、今年1月から国立婦人教育会館ホームページ（<http://www.nwec.go.jp/>）上で検索できるようになりました。簡単に検索できるようになり、便利にお使いいただいているのではないのでしょうか。ところで、文献情報データベースの簡略検索でのキーワード検索等で、ヒット件数が多すぎて困られたことはありませんか。そのようなとき、詳細検索画面を使うと、他の検索条件を加えて、効果的にヒット件数を絞っていくことが出来ます。なお、基本的な使い方については、利用方法の画面をご参照ください。

1. 詳細検索の特徴

＜画面1＞

蔵書検索(詳細検索)

簡略検索

種別 図書
 地方行政資料
 和雑誌記事
 新聞記事インデックス

検索

タイトル

編著者名

出版者名

フリーワード

キーワード

分類

*出版地

*出版年

ISBN

ISSN

*出版国

*言語

請求記号

ソートキー

検索

「フリーワード」と「キーワード」

画面1が詳細検索画面です。「タイトル」、「編著者名」、「出版者名」、「キーワード」は簡略検索画面と同じですが、他に様々な検索項目が出てきます。「キーワード」は「タイトル」と「キーワード」を検索しますが、「フリーワード」の項目では、それに加えて「編著者名」、「出版者名」からも検索してきます。例えば「フリーワード」に「労働」と入力しますと、画面2のように、編著者名、出版者名に「労働」と入力されているものが検索されます。また、この二つの欄があることによって、or検索とand検索を組み合わせることが出来ます（2の検索の実例参照）。同一項目内ではor検索とand検索を同時に行うことはできません。

＜画面2＞

書誌詳細

図書<BB00012286>

標題および責任表示 コンピュータとシンロシドウ

出版・頒布事項 東京・日本労働研究機構、1998.2

形態事項 198p、26cm

書誌構造リンク 資料シリーズ / シリョウシリーズ < no.76//a

学情ID BA34493864

本文言語コード 日本語

著者標目リンク 日本労働研究機構|ニホンロウドウケンキュウキコウ <

分類標目 NDC9:366.29

件名標目等 NDLSH職業指導|シヨクギョウシドウ//K

件名標目等 FREE:アメリカ合衆国//L

件名標目等 FREE:イギリス//L

件名標目等 FREE:ヨーロッパ//L

件名標目等 FREE:日本//L

件名標目等 FREE:シンガポール//L

件名標目等 JUSH:コンピュータ//L

件名標目等 JUSH:進路指導//L

件名標目等 JUSH:国際比較//L

件名標目等 JUSH:システム//L

件名標目等 JUSH:職業指導//L

件名標目等 JUSH:大学生//L

件名標目等 JUSH:開発//L

件名標目等 JUSH:情報サービス//L

件名標目等 JUSH:職業選択//L

キーワードで検索してくる部分

上記に加えてフリーワードで検索してくる部分

「出版年」

詳細検索画面で一番使うのは出版年ではないでしょうか。何年から何年という範囲指定は現在出来ませんが、例えば1997年から1999年のものを検索したいときには「1997+1998+1999」(+ (プラス)はor検索)と入力します。また、1990年代のものを検索したいときには「199* (アスタリスク)」を入力すると検索することができます。

「言語」

アスタリスク(*)が頭についた項目(出版地、出版年、出版国、言語)はそれだけでは検索できませんが、例えば和書のみを検索したいときには、言語を日本語(コードはjpn。この欄で「j」と入力すると出てきます。英語のものはengです。)に指定すればできます。ただし、和雑誌記事と新聞記事インデックスは、出版国、言語を指定すると検索できません。

2. 検索の実例

質問例

1996年以降の小・中学校におけるセクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)に関する資料が欲しい。

<画面3>

蔵書検索(詳細検索)	
簡略検索	
種別	<input type="checkbox"/> 図書 <input type="checkbox"/> 地方行政資料 <input type="checkbox"/> 和雑誌記事 <input type="checkbox"/> 新聞記事インデックス
検索	クリア
タイトル	<input type="text"/>
編著者名	<input type="text"/>
出版者名	<input type="text"/>
フリーワード	小学校+中学校+小学生+中学生+学校
キーワード	セクシュアルハラスメント+性的嫌がらせ+セクハラ+セクシャル
分類	<input type="text"/>
*出版地	<input type="text"/>
*出版年	1996+1997+1998+1999

検索入力例(画面3参照)

フリーワード「小学校+中学校+小学生+中学生+学校」

キーワード「セクシュアルハラスメント+性的嫌がらせ+セクハラ+セクシャルハラスメント」
出版年「1996+1997+1998+1999」

ポイント

WINETでは、図書、地方行政資料、和雑誌記事は婦人教育シソーラスによって統制された言葉をキーワードにしていますが、新聞記事インデックスは記事中の言葉をそのままキーワードにしています。そのためセクシュアルハラスメント等は、検索もれをなくすために、様々な表現で検索する必要があります。

WINET利用についてご質問がありましたら、婦人教育情報センターにお問い合わせください。

婦人教育情報センターでよく使われるレファレンスブック<統計類>紹介

- 世界の女性の現状について
『世界の女性：その実態と統計/国際連合原著；日本統計協会訳 日本統計協会』
・1992年出版の「1970-1990」1995年出版の「1995」があります。
- 日本の女性の現状について
『女性のデータブック：性・からだから政治参加まで(第2版)/井上輝子,江原由美子編 有斐閣, 1995.3』
『図でみる日本の女性データバンク(三訂版)/坂東真理子編著 大蔵省印刷局, 1998.2』
『統計にみる女性の現状(平成8年度版)/婦人教育研究会編 垣内出版, 1996.5』
- 政治、公職参加状況について
『女性参政関係資料集：女性参政50周年記念/市川房枝記念会出版部編集 市川房枝記念会出版部, 1997.7』

平成11年度ヌエック(国立婦人教育会館)公開シンポジウム

国際シンポジウム
「開発におけるジェンダーとエンパワーメント」報告

国立婦人教育会館(ヌエック)では、5月28日(金)東京都新宿区市谷の国際協力事業団国際協力総合研修所において、国際協力事業団・東京都教育委員会との共催による国際シンポジウムを開催した。テーマは「開発におけるジェンダーとエンパワーメント」。参加者は、研究者、国際協力関係者、行政関係者、民間グループ・団体関係者等、総数153名であった。プログラムは、ヌエック調査研究報告、分科会、シンポジウムの3部構成で進められたが、ここではシンポジウムの内容を中心に報告したい。

1 ヌエック調査研究報告および分科会

午前は、平成6年度から10年度まで、ヌエックが目黒依子上智大学教授を座長として実施した「開発と女性に関する文化横断的調査研究」の調査研究報告が行われた。「規範概念としての“エンパワーメント”と分析概念としての“エンパワーメント”」(原ひろ子お茶の水女子大学教授)、「<女性>のなかの中心と周辺 ネパールにおける女性の組織化と集合的エンパワーメント」(伊藤るり立教大学教授)、「開発政策の比較ジェンダー分析のモデル(大沢真理東京大学教授・国立婦人教育会館客員研究員)」「<開発プロジェクトと女性のエンパワーメント>分析モデルの実証的検討」(目黒依子上智大学教授)の報告があり、質疑応答が行われた。

午後は、上記調査研究の一環として現地調査を実施した「タイ」と「ネパール」の2分科会が開かれた。タイ分科会(コーディネーター：大沢真理東京大学教授)では、「就業構造の変動と農村開発」(吉野英岐岩手県立大学助教授)、「開発、教育、エンパワーメント 東北タイ農村の事例を中心として」(上村千賀子群馬大学教授)、「女性の地位向上のための国内本部機構



グラスルーツの女性たちのエンパワーメントに果たしている役割」(橋本ヒロ子十文字学園女子大学助教授)について報告があり、質疑応答が行われた。ネパール分科会(コーディネーター：大野曜国立婦人教育会館長)では、「調査対象と調査地の概要」(伊藤るり立教大学教授)、「ネパールにおける女性のエンパワーメントと家族 所得創出プロジェクト参加女性の調査を中心に」(伊藤真知子国立婦人教育会館事業課研究員)、「参加型開発と女性のエンパワーメント ネパールにおける事例より」(田中由美子国際協力事業団評価監理室長=当時)の報告があり、コヒヌール・マテマ在日ネパール大使夫人による教育に関する発言等があった。

2 シンポジウム

シンポジウム(コーディネーター：目黒依子上智大学教授)では、タイのアジア工科大学院開発とジェンダープログラムの助教授であるゴビンド・ケルカー氏、フィリピン大学教授のアマリリス・トーレス氏、JICA国際協力専門員で現在フィリピン女性センターチーフ・アドバ

イザーである鈴木陽子氏、日本国際ボランティア・センター東京本部総務兼ラオス事業担当の清水俊弘氏による報告が行われた。

ゴピンド・ケルカー氏は、アジア経済危機下におけるタイ国内経済への影響について、都市部の男性が打撃を受けたという報告がある一方で、実は地方の農村部の女性、しかも貧しい女性が最も大きな打撃を受けていることが、タイ北部及び東北部におけるフィールド調査の結果から明らかになったことを報告した。政府の対応策は都市部の男性の失業対策に向けられているが、1) 女性個人の能力の向上、2) 女性による家計内の資源や所得への管理を可能にすること、3) 女性の家計や地域社会の意思決定への参画を提言し、経済危機の分析にはジェンダーの視点が不可欠であり、また経済危機への対応策をジェンダー関係変革のきっかけとすることもできると主張した。

次に、アマリリス・トレス氏は、フィリピンにおけるジェンダーの主流化に関する取り組みについて、大統領直属の国内本部機構であるNCRFW（フィリピン全国女性の役割委員会）を中心とした政府主導の取り組み及びNGOを中心とする活動、また両者の連携についての報告を行った。なお、政府の取り組みとしては、ジェンダー統計の整備、国家予算の5%をGAD関連予算へ充当、フォーカル・ポイントの各機関への設置、GAD計画の地域への波及、法制化等があり、NGOは、エンパワーメントの戦略として、情報収集、直接的サービス、教育活動、ネットワークングを行っているという紹介があった。

鈴木陽子氏は、日本のODA等により1998年に開設したフィリピンの技術教育技能開発庁（TESDA）女性センターについて紹介した。このセンターは、女性の経済的エンパワーメント

を目的として、関連省庁だけでなく、NGO、労使団体、研究機関等との協力関係により、女性の社会的、経済的地位の向上をめざして、訓練、調査研究、啓発の3つの活動を柱とするプロジェクトを実施している。また、技能訓練、就職準備訓練、非技能訓練（ジェンダー訓練、リーダーシップ訓練等）、企業家育成、労働倫理訓練、性別統計技法等の訓練のほか、調査研究、キャリア・ガイダンス、カウンセリング・サービス、啓発活動、リソースセンター等の活動を実施していると報告があった。

清水俊弘氏は、日本国際ボランティアセンターが1989年からラオス女性同盟をカウンターパートに、女性をターゲットとする基本的な生活改善を目的として実施してきたプロジェクトについての報告を行った。プロジェクトでは、生活改善普及員の育成事業を実施し、地元の村での活動を支援しており、その活動の中では人々がさまざまな恩恵を受けている「森を守る」活動が重要であった。また、政府による土地森林区分政策の実施過程への住民参加、とくに女性の意思決定参加を進めるために、女性の参加を促すミーティングの方法やミーティング機会の提供、雰囲気作り等の働きかけが有効であったと紹介があった。

以上の報告の後、フィリピン女性センターにおける女性たちのエンパワーメントの状況、ケルカー氏の指摘した複合的な潜在能力、フィリピンの国内就業と海外雇用の促進状況、又エックの調査研究結果による政策提言・フィードバック等について活発な質疑応答及び意見交換が行われた。

（国立婦人教育会館事業課研究員 伊藤真知子）



プログラム研究

NWEC (国立婦人教育会館) アドバンストコース

- ジェンダーに敏感な視点を身につける -

平成7年の第4回世界女性会議を受け、女性のエンパワーメントの計画表として策定された「行動綱領」の具体化に向けた取組が世界各国、日本各地で積極的に行われている。我が国では、「男女共同参画2000年プラン」が策定されたのをはじめ、さまざまな女性政策が行われてきた。本年6月には男女共同参画社会の形成に向け、女性政策のパラダイム転換を成し遂げる法的基盤として、「男女共同参画社会基本法」が公布・施行された。この基本法は、基本理念に「ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）からの解放（ジェンダー・フリー）」を掲げている。

このような男女平等に向けた国際的・国内的動向の中、国立婦人教育会館では、性別による固定的な役割分担意識を解消し、ジェンダーに敏感な視点を身につけるため、より高度で専門的な研修を行うこととし、「青年男女の性別役割分担意識の是正に関するプログラム研究」「女性学講座」「社会教育における女性学教育の内容と方法」等の調査研究事業の諸成果を生かし、平成7年度より「NWEC（国立婦人教育会館）アドバンストコース」（以下、アドバンストコース）を開催している。

1. 事業の概要

この事業は、地域で行われている行政研修をはじめとした婦人教育・家庭教育に関わる者に対する研修（職員研修を含む）を基礎的な研修と考え、それらを修了した者に対し、「男女共同参画社会の形成に向け、婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・立案に必要な専門的知識・技術の修得、及びジェンダーに敏感な学習に資する実践的な研修を行う」ことをねらいとしている。

- (1) 参加者は、！行政職員（婦人教育・家庭教育担当者、生涯学習に関する担当者、女性行政担当者）、行政職員以外で婦人教育・家庭教育の行政関係事業の企画・運営に携わっている者、#婦人教育・家庭教育に関する団体・グループ等のリーダー100名としている。

平成7年度から10年度までの修了者は、512人にのぼる（女性：445人、男性：67人）。

その所属をみると、概ね行政職員が5割、施設職員が2割、団体・グループのリーダーが3割を占める。

例年の参加傾向としては、若干ではあるが男性の行政職員の参加が増えている。

また、最近の傾向としては、女性行政担当職員の参加が目立つ。

- (2) プログラムの内容は、
 - ・女性政策
 - ・男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の今日的課題
 - ・男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の方法
 - ・男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の課題と方策研究
 - ・研修成果のまとめ・評価とし、研修時間は4泊5日、30時間を超える。
- (3) 取り上げたテーマは、「婦人教育施策」「家庭教育施策」「女性政策」「法律・条約」「労働・経済」「少子・高齢化」「街づくり」「ジェンダー統計」「芸術（音楽・映画・パフォーマンス等）」「女性情報」「メディアリテラシー」「女性学」「男性学」「ジェンダー研究」等、多岐にわたる。
さらに、学習方法としては、講義と討議

だけでなく、対談やワークショップ形式を取り入れ、グループでの共同作業、事例研究、ロールプレイ、KJ法、ブレインストーミング、ディベート、映画上映、ダンス等、さまざまな学習方法を用いている。

2. 事業の特色

- (1) 「女性の生涯学習に関わる専門的リーダー」を養成するという国立婦人教育会館の役割に基づき、高度で専門的な能力を備えた創造的な人材の育成を目的としたリーダー研修であり、全プログラム修了者には、国立婦人教育会館名の修了証書を授与している。
- (2) プログラムの企画に当たっては、特に以下の点に留意し、実践にむすびつける工夫をしている。
 - ! ジェンダーに敏感な視点を身につける研修とする。
 - " 女性のエンパワーメントに役立つ内容とする。
 - # 気づきと振り返りのプロセスを学習の中心に据え、参加者自身が研修の成果のまとめ・評価を明確にする。
 - \$ 参加対象者の職務・活動に必要な専門性の高いもの、今日的課題を内容とする。
 - % 主体的な学習実践を目指したワークショップ形式を中心に多様な方法を取り入れるとともに、使用する教材についても配慮する。
 - & 参加者の多様なニーズに応えるため、コース別のプログラムを導入する。
- (3) さらに、「自由研究」の時間を設け、婦人教育情報センターでの自主研究や国立婦人教育会館のWINETの活用等、会館の諸機能を十分に活用した研修ができるよう配慮している。

3. これまでの事業の成果

- (1) 全国各地の行政職員や団体・グループのリーダーが一緒になっての研修であり、それぞれの職業上・活動上の現状と課題を互いに認識することができるとともに、全国的なネットワークの広がりが可能となることから、参加者に好評な研修である。

- (2) 婦人教育・家庭教育に関する事業の企画・立案とともに、運営に必要な専門的知識・技能の修得にたいへん役立ったとの反響があった。
- (3) 男女共同参画社会の実現に向けた事業の企画・運営は、男性職員の意識いかんで、大きくステップアップするケースが多く、このアドバンスコースが、男性職員の意識改革に大いに役立つ研修であるとの声を多く聞く。

4. 今後の課題と展望

- (1) 「より専門的なリーダー養成」を目指し、プログラムの一層の充実が望まれるところであり、婦人教育・家庭教育の今日的課題を的確に把握し、プログラム化することが必要である。
- (2) この研修は、リーダー研修と位置づけているが、参加者の婦人教育・家庭教育に関する事業・活動の知識・技能等が多様であることから、今後、参加基準を設けるのかがどうか検討課題である。
- (3) 行政職員や団体・グループのリーダーを対象としての専門性を考えるとき、ジェンダーに敏感な視点を身につけるのは当然のこと、「ファシリテーター（学習支援者）」としての役割」「リーダーシップ能力」「プレゼンテーション能力」を身につけるような研修とすることが求められよう。
- (4) 本研修の趣旨、学習課題や学習方法、講師はもちろんのこと、運営方法も参加者にとってはモデルプログラムになる、と理解しているが、研修の成果として、この研修内容をどう地域の実状にあった内容・方法で実践していくか、研修修了生の力量の問われるところであり、大いなる発展を期待したい。

(国立婦人教育会館事業課専門職員 小林千枝子)

「婦人教育施設職員の抱える課題」

- 平成11年度婦人教育施設教員のためのセミナー参加者アンケート結果より

国立婦人教育会館では、女性のさまざまな学習・実践活動の拠点となる婦人教育関連施設と連携し、研修や情報提供、各施設間での情報交流の場の提供等を行っている。

このように地域施設の機能を補完することは、国立唯一の婦人教育施設である当会館の重要な役割であり、各施設からも強い要望がでて

いる。そのような背景のもと、男女共同参画社会の形成を目指した生涯学習を促進するため、施設職員としての資質の向上を目的とした本セミナーは、会館設立当初から毎年実施しており、今年度で23回目の開催となった。

婦人教育施設には、女性のエンパワーメントの拠点として、学習者・活動者の学習ニーズ・活動ニーズを把握し、学習や実践活動を支援していくことが期待されている。

特に、本年6月に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行され、国、地方自治体、NGO等さまざまなところでその運用方法が検討されている。

男女共同参画社会の形成に向け、婦人教育施設職員はどのような課題を抱え、どうそれを克服しようとしているのか、「平成11年度婦人教育施設職員のためのセミナー」に参加した「企画担当コース」91名の参加者へのアンケート結果をもとに考察する。

注) 平成11年度婦人教育施設職員のためのセミナーについて

〔趣 旨〕

男女共同参画社会の形成を目指した生涯学習の促進のため、公私立婦人教育会館・女性センター等の職員として必要な知識・技術を高めるための専門的・実践的な研修を行い、施設職員としての資質向上を図る。

〔主 題〕

「女性のエンパワーメントと婦人教育施設 - 21世紀へ向けた男女共同参画社会づくりを目指して - 」

〔参加者〕

「館長コース」就任2年未満の館長等 26名

「職員コース」116名（企画担当コース91名、情報担当コース25名）

〔日 程〕

「館長コース」平成11年6月8～9日 1泊2日

「職員コース」平成11年6月8～11日 3泊4日

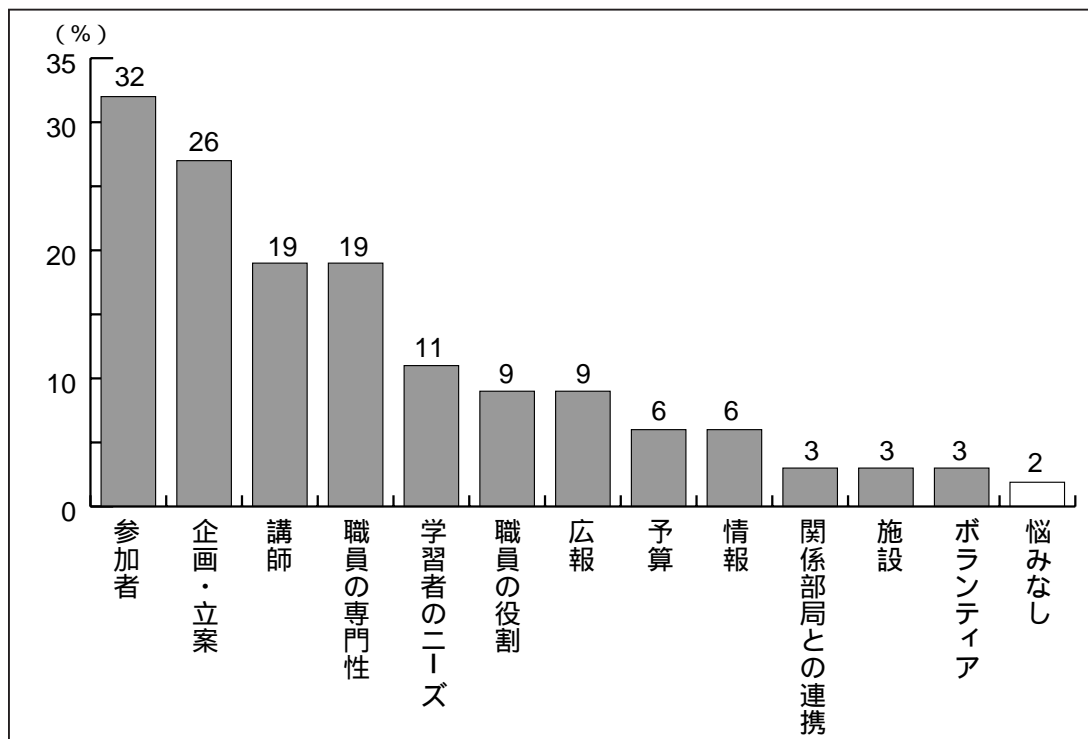
職員コースの修了者には、国立婦人教育会館名の終了証書を授与。

1. 婦人教育施設職員の抱える課題

現在、講座やセミナー等の企画を担当する職員が抱えている問題は、図のとおり、最も多い課題は、「参加者に関すること」(32%)で、以下、「学習プログラムの企画・立案」(26%)、「講師に関すること」及び「職員の専門性」(19%)の順となっている。

- (1) 「参加者に関すること」としては、「参加者が少ない」という集客の悩みがある。具体的には、“男性”や“若い年齢層”の参加が少ない、また、“集まっても毎回同じメンバーになりがち”ということである。また、“女性問題をテーマとした専門的な企画への参加者が少ない”等の悩みである。
- (2) 「学習プログラムの企画・立案に関すること」としては“女性問題は内容が広すぎて何に焦点を当てればよいかわからない”“学習者の学習経験が多様で、どのレベルに焦点を絞った企画にしたらよいかわからない”“企画・立案に当たって適切な情報・参考資料がなく、その収集方法もわか

図 婦人教育施設職員の抱える課題（複数回答）



らない”“ 学習資料・OA機器の使い方等をも含め、効果的な学習方法がわからない” “ 講座終了後の学習成果として、女性たちのネットワークづくりや学習を実践につなげるような企画・運営（出口のある学習）について悩んでいる”等が挙げられている。

- (3) 「講師に関すること」としては、「講師の選定で悩んでいる” “ 予算の関係で中央から講師を呼ぶことができない” “ 講師情報や地元の講師が少ない” というのである。
- (4) 「職員の専門性」については、行政では、2～3年のサイクルで異動があるため、中には、「異動してまだ1か月、これまでまったく経験のない仕事で、今は前任者が準備してあった企画を前例どおりに進めている状況なので、悩むまでには至っていない” という回答もあった。

このほか、アンケートの調査結果には、「異動してまだ間もなく、自分の思いと行動が空回りの状態” ながらも奮闘する職員の悩みや本音が語られている。

ここに挙げられた課題は、プログラム企画者に共通の課題でもある。

2. 女性のエンパワーメントに向けたプログラムを企画するために

- (1) 企画担当職員の抱える課題の解決に向け、本セミナーで得たことについては、「担当者として不勉強だった” “ 参加者のニーズに応えるプログラムづくりの必要性を感じた” “ 参加型の講座は参加者に敬遠されるが、その重要性を再認識した” “ 企画は綿密に立てなければならないことを学んだ” “ 企画者自身がジェンダー・フリーな視点を身につけることの必要性を感じた” 等が挙げられている。

また、情報収集、そのためのネットワークづくりの重要性も挙げられている。

- (2) このセミナーについては、今後先に挙げられた課題解決に向け、また施設職員自身のエンパワーメントに役立つプログラムとなるよう、より一層の充実を図ることが必要である。

（国立婦人教育会館事業課専門職員 小林千枝子）

エクアドル女性の現状と政策

帝京大学法学部助教授
国立婦人教育会館客員研究員 江原裕美

1. はじめに

エクアドルは面積27万2045平方キロメートル、南米大陸の左肩にあり、北はコロンビア、南と東はペルーと国境を接し、西は太平洋に面している。国の名前はスペイン語で「赤道」を意味し、その名の通り、赤道が国を横切っている。

インカ帝国の支配下にあったが征服によりスペイン植民地となった。1822年にグランコロンビアの一部として独立、1830年にエクアドルとして独立国家となった。

エクアドルは地域の特徴により4つに分けられる。海岸部、アンデス山地、アマゾン源流地帯、そしてガラパゴス諸島を中心とする島嶼部である。チンボラソ山6,267メートルを最高に海岸の低地と島までを擁する国土は、非常に多様な気候、植生を有している。

耕作可能な土地の8割は農業に使用されており、人口の約半分を吸収している。バナナ、カカオ、コーヒー、野菜、豆類などが主な農産物である。近年牧畜や、エビ、マグロなどの漁業

も伸びている。石油、金、銀、銅、鉄などを産出し、工業では繊維、化学製品、セメント、木材などがある。

推定人口は1200万人で、メスティーソと呼ばれる白人・先住民間の混血、インディヘナと呼ばれる先住民が各々約4割を占め、白人、黒人、黒人との混血が残りを占める。公用語はスペイン語であるが、その他にキチュア語、シュアール語などが話されている。学校教育の普及により、識字率は9割近くに達している。宗教は9割がカトリック教徒である。一人あたり国民所得は1390ドル（1996年）、軍事政権から民主化を実現したが経済社会開発に課題を抱えつつ今日に至っている。

2. エクアドル女性の現状

1975年の世界女性会議、後年の女子差別撤廃条約の批准を契機にエクアドルでは女性たちの自覚が高まり、生活上の困難や社会的不平等に立ち向かう運動が盛んとなり、法制の見直しや女性の管理的地位への進出が進んでいる。しかし、地理的にも、人種民族的にも、文化面でも多様性を有するエクアドルでは、活躍するエリート女性たちの一方で、厳しい貧困と闘っている多数の女性たちが存在する。農村、都市の違いや経済格差に由来する生活条件の差はエクアドルの特徴の一つといえる。

2-1 法制上の改革と女性の進出

1981年の女子差別撤廃条約の批准以前から、すでにエクアドルの民法（1970）、憲法（1979）においては、女性に対する主要な差別的条項は削除されており、進歩的であると評価されてい



キト郊外の美しい山容

た。1998年8月に公布された新憲法も、法の前の平等を保証しており、あらゆる人は出生、年齢、性別、民族、肌の色その他の要因によって差別されないと明記している。1995年に「女性と家族に対する暴力禁止法」が公布されたことも特筆される。しかし、いくつかの法律にまだ差別的な条項が残されているため、1980年代から90年代にかけて見直しが進んでいる。

女性の社会的な進出度は高まっており、公務員、専門職などでも責任の重い役職に就く女性が増えた。教育面で女性の進歩は大変大きく、全教育段階において就学率にはほとんど男女差が見られない。初等中等教育で差がないほか、高等教育においても専攻分野の分布には違いがみられるが、学生登録数の51%が男子で49%が女子となっている。女子に対する親の期待度も上昇してきたと言われる。しかし、15歳以上の非識字者数は女性が男性の1.5倍であり、特に農村女性の非識字率は都市男性の約2倍になっている。

2-2 社会・経済的状況

保健、医療面では平均寿命が1980年と比べ、1990年は男性59.7歳から66.4歳、女性66.2歳から71.4歳へと伸びた。新生児10万人あたりの妊産婦死亡率は1990年153人で、1980年の162人から着実に減少している。しかし、医師1人あたりの人口は1,041人、1,000人あたりのベッド数は1.7と不足している。国内に都市と農村との大きな差があるほか、経済社会条件によっても格差が見られ、低所得層ほど健康問題を中心に深刻な問題を抱えているのが観察される。

1980年代はいわゆる「失われた10年」として経済的な後退が見られたが、この影響で女性が労働市場に一層多く参入するようになった。

農村において女性は伝統的に小耕地の耕作や、家畜を育てたり手工芸品を作ったり、作物や生産物を売ったりなどし、その上に水や薪の確保、食事の支度、家庭内での子どもの社会化、文化の伝達に携わってきた。家内労働、自営業、手伝いを考慮すると、就労可能人口中就労している割合は農村女性の8割に上ると計算される。彼女らのうち、農業に主に携わる人口はその中

で6割であり、残り4割は農業以外の多様な活動に従事している。

都市においても女性は専門職、技術職、事務職、販売業、サービス業、管理職、など多様な仕事に従事している。傾向としては男性よりもサービス業に集中している。男性、女性とも被雇用労働が減少し、自営業が増えている傾向が見られるが、経済危機の影響と考えられる。男性と女性の平均賃金はまだ差があり、都市での男性平均賃金は女性の約1.6倍となっている。失業率は1992年の数字で女性は13%に上り、男性の6%の2倍以上を示している。特に若年層よりも成人女性の失業率が男性に比して多い。

2-3 重要問題と政治参加

生活の確保は中流階層以下のエクアドルの女性にとっては大問題となっている。経済危機からいまだ脱出していないエクアドルでは、1999年前半は政治経済の混乱が大きく、建国以来の危機とすらささやかれていた。生活必需品や世代の再生産に必要な諸経費を満たすことが出来ない家庭が都市部では5割、農村では8.5割に上っている。この中には最低限の食糧さえ不足する家庭が3分の1ほど含まれている。

特に、アンデス山地に最も集中し、続いてアマゾン地帯に多く住むインディヘナ（先住民）人口は貧困、周縁化、生活基盤である土地の零細化、不毛化などに苦しんでいる。彼らは征服以来の歴史において収奪の対象となり、国家の発展プロセスから除外されてきた。中でも女性たちにそれらの問題が最も重くのしかかり、緊



市場で働く先住民女性たち

急の対策を必要としている。

また、家庭内に視点を移すと女性の解放はまだ進んでいない。大きな問題は女性に対するパートナーからの暴力である。マチズモ（男性優位）社会であるとともにカトリックの伝統からも、女性は男性に従い家庭を守る役割が重要視されてきた。首都キトだけでも毎年1万件以上の暴力についての訴えがある。女性と家族に対する暴力禁止法が1995年に公布されたが、人間の心や価値観に根ざす問題であるだけに、長期的取り組みとなろう。

これらの問題を前にして女性たちは一層の政治参加を求めている。98年の新憲法は移行規定において、選挙における立候補者の20%は女性であるべきと明記した。公布後1年の現在、地方選挙で女性の候補者、当選者の増加が見られ、今後の推移が注目される。

3．国家機関と女性のための政策

エクアドルにおける女性組織は民間や第3セクター的なものを含めて数多い。政府の中に設置された女性問題を扱う機関は、民間の女性組織と連携しつつそれらの力を結集する場として機能してきた。女性というキーワードのもと、官も民も緩やかなネットワークで協力しているのが、エクアドルにおける女性運動の一つの特徴といえる。本論では紙幅の制限もあり、関連の深い国家機関とその政策を紹介する。

3-1 女性国家評議会

エクアドルにおいて、女性に関する問題を取り扱う最高機関が女性国家評議会（Consejo Nacional de las Mujeres、CONAMU）、通称コナムである。1996年に改組されて現在の組織となったが、約20年にわたる歴史がある。

1975年以来、エクアドル各層の女性組織は国家レベルで女性問題を担当する機関の設置を求めてきた。1980年に社会福祉省の中に作られた「女性室」（Oficina Nacional de la Mujer）は、1986年には同省の中で「女性局（Dirección Nacional de la Mujer）」に格上げされ、これは意味ある前進であった。しかし、機会の平等と女

性の人権確保という目標のためには、機関としての自立性と高度な政策決定に影響することのできる決定権が必要と考えられ、女性運動と女性局はそれらを得るために運動してきた。現在の女性国家評議会（CONAMU）は、運動が実り1997年10月24日付政令764号で、それまでの女性局が大統領府直属の法人格を持つ公的機関として生まれ変わったものである。

女性国家評議会の役割は、全ての公的機関における活動計画やプログラム、プロジェクトに対するジェンダー視点の導入とその義務的適用の基準を定め監督すること、女性の利益となる公共政策を策定することである。国内の女性運動と連携しながら活動するあり方はその構成にも現れ、大統領代理、国家機関代表者3名、女性組織代表者3名という7人で理事会が構成され、そのもとで執行部が各分野の実務を指揮する形態となっている。

CONAMUはエクアドルの女性運動の軸として着実な歩みを遂げており、1995年には「女性と家族に対する暴力禁止法」の制定にこぎ着けたことは、暴力を受けた女性や家族のためのコミサリーア（警察署的組織）設立とともに大きな成果であった。

3-2 女性のための政策

CONAMUは「機会平等計画PIO1996 - 2000」という活動計画を基本に動いている。この計画は経済、政治、社会、文化、政策決定など様々な面で女性の参加を妨げる障害を克服するため、戦略と活動計画を総合したものである。米州諸国による1994年9月のマル・デ・ラ・プラタ地域会議、1995年9月の北京会議を経て政府機関、民間機関の協力から生み出されたものであり、エクアドル女性の願望であるのみならず、政府が女性局を通じて実現しようとする公約を表したものである。

課題は11分野にわたる。貧困、教育と能力向上、保健、暴力、経済、政治決定への参加、人権、マスメディア、環境、少女、本計画の実行と評価のメカニズムである。

CONAMUが活動の重点分野としている5つの分野（1.女性の人権と暴力 2.教育 3.健康 4.

開発 5.政治的参加とリーダーシップ)については「機会平等計画1996 - 2000」は次のような目標を上げている。

1. 暴力の根絶 女性や家族に対する暴力を予防し、制裁を与え、排除するよう政策をとる。世論を喚起し、暴力被害者への支援を向上させる。暴力被害者との接触がある人々の能力向上。暴力行為を探知する体制作り。
2. 教育と能力向上 教育機会の平等。差別を助長せず、現実に対応した教科書教材の使用。教師の実践の改革。これらを3つの目的とし、そのための活動を行う。
3. 保健の向上 女性向けの医療サービスの向上、女性の健康状態についての知識普及、医療専門職の育成と技能向上、一生を通じての医療サービス機会の提供、予防の充実、エイズと性病予防活動。
4. 開発 貧困は特に女性にのみかかっていることから、女性に不足しがちな雇用機会、経済自立、教育機会、信用制度、土地保有、技術と情報などを提供できるようにする。そのためマクロ経済政策・社会政策にジェンダーの視点を導入し問題を把握する。女性のニーズを取り入れた開発戦略、マクロ経済政策・社会政策を立案する。貯蓄や信用制度を含め、法律の見直しなど経済機会の平等、危機的状況の女性に注目する。
5. 政治参加 政治への平等な参加。政策決定が出来るための女性の能力向上。

これらの目標について、CONAMUが行う主な活動は以下のようである。

1. については暴力禁止法の適用普及、コミサリア（女性と家族のための警察署的機関）増設と支援、司法分野での女性の人権確立に向け、刑法・刑事訴訟法の見直しや裁判官に対するジェンダー教育などを行う。
2. については、ジェンダーの視点を教育計画や教育政策に導入すべく、基礎教育段階のカリキュラム改革や教員養成課程にジェンダー視点を導入したり、文部省の各担当官への研修、学校用ガイドブックの作成配布や教材開発をして

いる。

3. については妊娠期の健康診断無料化を図る法律の実現、妊産婦死亡率の減少努力など。

4. については女性の土地所有、女性の財産権など女性の立場に立った見直し。女性が雇用や収入を平等に得られるよう労働省などの関係省庁と協力する。「女性開発とジェンダー平等基金」の利用。外部融資機関との協調。

5. では女性の政治参加が容易になるための法律改革、リーダーシップ研修など。

3-3 エクアドル女性調査研修所

エクアドルの女性問題を学術的に調査研究することでCONAMUのような政策遂行機関に側面から支援を行っている機関もある。エクアドル女性調査研修所（Instituto Ecuatoriano y Capacitación de la Mujer, IECAIM）、通称イエカイムは1986年に社会福祉省の省令53号により法的に確立された国立機関であり、国連女性の地位向上調査国際研修機関（INSTRAW）の支部という任務を持つ。女性を開発の中心に統合していくことを目的に、他の専門機関と協力してユニークな研究調査、研修、知識の普及を行っている。

活動例をあげると調査研究では

- 1986年度女性の健康、教育、雇用調査
- インフォーマル経済下の女性
- キト周辺部零細企業、零細商業における女性の状況
- 移住する女性
- 高齢期の女性

国際的研修プログラムでは

- アンデス地方の女性、水、環境衛生
- 女性と開発のための統計

国内研修プログラムでは

- ツーリストガイド、カッティングと縫製、文書管理その他職業訓練

所得創出プロジェクトでは

- ソーラークッキングの方法、料理販売

- 高齢婦人のためのパン焼き業
 - 貧困女性のためのパスタ製造販売業
- などがある。

4 . おわりに

エクアドルの女性運動の広がりは、ここに上げたような政府や国立の機関にとどまらない。民間やまたは官民協力の様々なNGOや女性組織が活躍している。国家政策はそれらの広がり と着実な研究成果を基盤に、重要問題である貧困、暴力、健康、政治参加に対して強い取り組みを行っているといえる。特に、女性問題を取り扱う国家機関が、CONAMUとして大統領府直属となり、自立性と高度な政策決定力を手に入れたことは、政治変化に関わらず一定した政策を続けることを可能にした。平等のための法的基盤がほぼ整備された今、社会において現実の平等が実現されるべく、個別の具体的取り組みに力を入れていく方向になるだろう。特に経

済社会の進歩から疎外されてきた先住民集団へは重点的な取り組みが必要であろう。エクアドル女性の歩みは困難な中での人間の強さと連帯を示して私たちに大きな示唆を与えてくれるものであり、今後も大いに注目していきたい。

主な参考資料

CIM/CECIM, *Diagnóstico de la situación de la mujer en el Ecuador : Informe nacional para la Cuarta Conferencia Mundial sobre la Mujer Beijing 1995*, Quito, 1994.

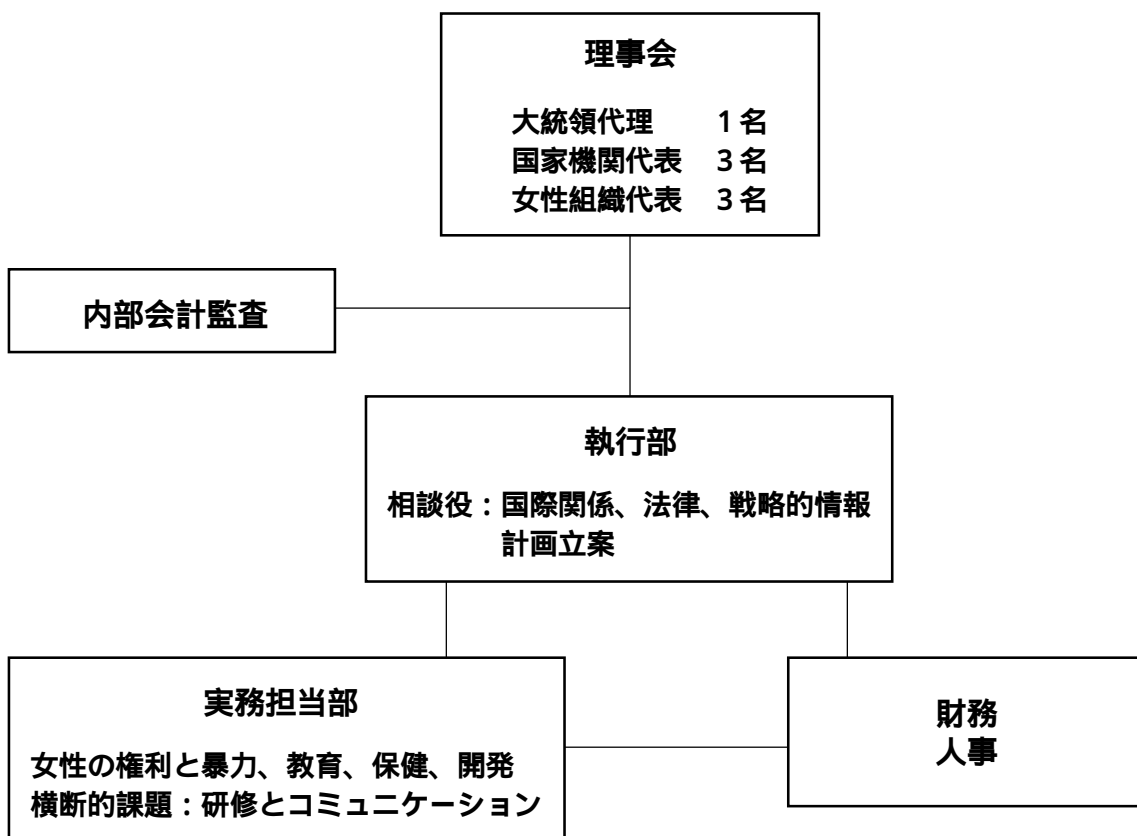
CONAMU, *Plan de Igualdad de Oportunidades : 1996-2000*, Quito, 1996.

CONAMU, *Consejo Nacional de las Mujeres : Presidencia de la República*, Quito, 1998.

Constitución Política de la República del Ecuador, 1998.

IECAIM, *Hechos*, 1999?.

参考 女性国家評議会（CONAMU）の構成



女性・家族関係雑誌記事インデックス

当会館婦人教育情報センター所蔵の和雑誌のうち、1999年前半にデータベース化された記事・論文の中から、女性の学習・研究に役立つものを雑誌名の五十音順に掲載しています。

WINET (情報検索サービス) では全データが検索できますので、併せて御利用下さい。

凡例

雑誌名 [巻号] (発行年月日)

特集タイトル

No. 記事タイトル / 執筆者名 (ページ)

あごら [244] (1998.11)

特集：男女共同参画社会基本法答申

1. 男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり(答申)：男女共同参画審議会答申概要 / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.4-29)
2. 国の審議会等の女性委員の割合は18.3%：国の審議会等における女性委員の参画状況調べ / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.30-35)
3. 女性に対する暴力：マクドゥーガル報告書の紹介：日本軍「慰安婦」問題で責任者処罰・被害者賠償を勧告 / 前田朗 (p.57-71)

あごら [245] (1998.12)

4. フェミニズムとは限らないやさしさと勁さ：白井博子さんを偲ぶ / 倉元正子 [ほか] (p.1-70)
5. 新ガイドライン・周辺事態法について女性議員との懇談会 (p.79)

あごら [246] (1999.01)

特集：'99は「地方と女性」の年

6. 鹿児島から：「夫婦間暴力」と「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)」について：鹿児島県始良郡隼人町のアンケート調査から / ウィメンズ隼人 (p.13-21)
7. グループ紹介：ウィメンズ隼人 / 中野ヨシ子, 小川みさ子 (p.22-23)
8. ハルモニ(おばあさん)たちとの出会い：「ナムムの家」を訪ねて / 本田芳孝 (p.36-42)
9. 新工業国と呼ばれるマレーシアの女性たち / サンディ・サカモト (p.44-56)
10. 今年も3月3日に女のゼネスト (p.58)

あごら [247] (1999.02)

特集：地方政治と女性

11. 分権時代と地方議員への期待 / 冨野暉一郎 (p.24-38)
12. 虹と緑に期待するもの：地方議員が果たす政治改革 / 石川真澄 (p.39-50)

13. 東京都男女平等推進基本条例検討骨子に都民の意見募集 (p.53)
14. 女性議員ゼロ議会をなくそう：リレー・フォーラムin新潟 (p.54)
15. 虹と緑の500人リスト関東ブロック結成集会 (p.54-55)
16. 新工業国と呼ばれるマレーシアの女性たち「 / サンディ・サカモト (p.68-80)
17. 女性に関する時間外及び休日労働並びに深夜業の規制の廃止を求めた労基法改正部分の施行を延期する立法措置を求める意見書 / 日本弁護士連合会 (p.86-93)

あごら [248] (1999.03)

18. 国会に上程される男女共同参画社会基本法案：シンポジウム「男女共同参画社会基本法案」これで男女平等は実現するの?で語られたこと / 芦澤礼子 (p.36-43)
19. 男女共同参画社会基本法 1999(平成11)年2月26日閣議決定 (p.44-55)
20. 2000年世界女性会議はどうなる：国連女性の地位委員会を傍聴して(1) / 小川淑子 (p.72-81)
21. 女性に対する暴力：クマラスワミ報告書の紹介(第8回) / 前田朗 (p.82-93)

明日の友 [118] (1999.03)

22. 中国と日本25の質問：中高年200人にアンケート / 陳明, 帯津良一, 大杉鶴美 (p.31-43)

インパクション [111] (1998.12)

特集：「アメリカ」とはなにか：グローバリズムとナショナリズムを超えて

23. プロミス・キーパーズ：保守化を開始した米の男性たち / 伊藤公雄 (p.28-35)
24. フェミニズムのヘクト・パスカル 17：靖国神社が<女性性>する理由 / 加納実紀代 (p.94-97)
25. アート・アクティヴィズム 23：「ファット・フェミニズム」：強迫的美の破壊へ：ローリー・トビ・エディソン / 北原恵 (p.98-104)

インパクション [112] (1999.02)

特集：安田弁護士不当逮捕を考える

26. お伝、阿部定、毒マスマシもしくは、弁護士なんかみな逮捕ダツ! / 池田浩士 (p.80-90)
27. アート・アクティヴィズム²⁴: わたしを生きること: イトー・ターリ・「ラヴズ・ボディ」公演 / 北原恵 (p.96-107)
28. 沖縄便り 16: 基地誘致運動が反対住民を増やす / 浦島悦子 (p.112-116)
29. 草の根運動から世界へ: 女性国債戦犯法廷に向けて国際シンポジウム開催: 日本軍性奴隷制を裁く / 金富子 (p.159-160)

インパクション [113] (1999.04)

- 特集: 当世プロレタリア事情: 働かない権利、働く権利
30. いまあえてプロレタリアートにこだわってみる / 小倉利丸 (p.24-30)
31. たたかいはこれから……ではないの? / 崎山政敏 (p.31-37)
32. 女の労働権を追及しつづける / 屋嘉比ふみ子 (p.38-39)
33. なぜ「セックスワークの非犯罪化」が必要なのか / 佐藤悟志 (p.50-52)
34. 労働運動の領域拡大へ / 江藤正修 (p.53-55)
35. 「労働の夜明け」新プロレタリア文学宣言 / 川村湊 (p.56-67)
36. 沖縄便り 17: 「基地はカネのなる木」か? / 浦島悦子 (p.68-72)
37. 日米安保は身近な問題: つくろう! 女たちのピースラインを / 山下治子 (p.119-120)
38. 戦争批判への明確な視点を: 翼賛体制へのノスタルジア: 「銃後を支える力となって - 女性と戦争」展を見て / 大庭里美 (p.121-122)

大原社会問題研究所雑誌 [482] (1999.01)

39. 90年代の新規大卒労働市場: 大学ランク間格差と企業の採用行動 / 松尾孝一 (p.17-37)

女たちの21世紀 [17] (1999.01)

- 特集: 女性がいま問う戦後責任
2000年「女性国際戦犯法廷」に向けて
40. '98国際シンポジウム2000年「女性国際戦犯法廷」をどう開くか / 松井やより, ウスティナ・ドルゴボル, 内海愛子[ほか] (p.14-25)
41. 戦時性暴力は裁かれなければならない: 東京裁判からマクドゥーガル報告へ / 松井やより (p.26-29)
- 「慰安婦」問題はいま
42. 「慰安婦」裁判報告 / 花房恵美子[ほか] (p.30-38)
43. 被害国報告「慰安婦」問題の9年 '98国際シンポジウムから: 韓国、北朝鮮、中国、台湾、フィリピン、インドネシア / 鄭鎮星[ほか] (p.39-46)
44. 現地報告 / 林よし子[ほか] (p.47-53)
45. 「記録」と「記憶」を私たちの武器に!: ビデオが作った撮影マニュアル / 池田恵理子 (p.54-57)
46. 女性運動の分裂を招く国民基金をめぐる動き / 牧田真

由美 (p.58-59)

47. 戦争と女性への暴力: さまざまな取り組み / 大谷猛夫 [ほか] (p.60-68)
48. 日本国内の危険な動き / 依義文, 西野瑠美子 (p.69-75)
49. 国際情報: 安全保障を女性と子どもの立場で定義し直す: 米国軍事主義反対東アジア米国女性ネットワークワシントンで会議: 沖縄、韓国、フィリピン、米国女性が基地・軍隊の悪影響を点検 / 松井やより (p.79-81)
50. 国際情報: 内戦下の女性への暴力: グアテマラ / 新川志保子 (p.82-85)
51. 「慰安婦」問題と戦後責任: 他者(被害者)からの呼びかけに応え、過去の戦争について判断する責任がある / 松井やより, 高橋哲哉 (p.86-92)
52. 第3回東アジア女性フォーラム: モンゴル会議報告 / 田畑佐和子[ほか] (p.94-95)
53. アジア各国女性運動 7: モンゴルの女性運動 / オイドフ・エンフトウヤ (p.96)
54. 「タイ買春読本」裁判勝利! / 大津恵子 (p.97)
55. 秋田セクシュアル・ハラスメント裁判: 高裁逆転勝訴確定! / 丹羽雅代 (p.98)

女たちの21世紀 [18] (1999.04)

- 特集: NGO・女性・地球社会
56. どんなNGOを強めるのか: グローバル化に抗して地球社会の民主化を / 松井やより (p.2-7)
57. オエネへ / 弘田しずえ (p.8-11)
58. 星野昌子さんにインタビュー: NGOに女性の視点をどう入れたか: 個人の生活も問われる / 星野昌子, 大内朋子 (p.12-14)
59. 女性の家HELP: 女性のための駆け込みセンター: 入寮者がエネルギーをくれる / 東海林路得子 (p.16-18)
60. アジア女性センター: 在日アジア女性支援: 喜びと大変さと女性解放への思い / 松崎百合子 (p.18-20)
61. JFOを支えるネットワーク: 日比混血児支援: 心のうめき、叫びに耳を傾ける旅 / 伊藤里枝子 (p.20-22)
62. IACOD (イアコッド、地域自立発展研究所): ODA監視活動: フィリピン漁民の知恵と勇気に学ぶ / 青井千恵 (p.22-24)
63. ブキメラ医療援助基金・日本: マレーシア公害被害者支援: 加害企業に働く者として / 村田和子 (p.25-26)
64. 日タイ草の根教育交流実行委員会: タイ農村教育支援: 今、子育てから新たなスタートを / 辻淑子 (p.27-29)
65. 国際協力ショップぐらする一つ: 草の根貿易: 手工芸品を作る女性たちのパワー / 人見友子 (p.29-31)
66. アムネスティ・インターナショナル日本支部: 女性と人権チーム: 知った人には何かをする責任がある / 都丸千恵子 (p.31-33)
67. 「NGOと女性」アンケート調査結果 (p.34-39)
68. NGOはさらに女性・ジェンダーへの配慮を: 「NGOと女性」アンケート調査をどう見る / 松井やより (p.40-41)
69. 特定非営利活動促進法 (NPO法) って何?: 「シーズ=市民活動を支える制度を作る会C's」事務局長 松原明

- さんに聞く / 松原明 (p.42-45)
70. NPO法って何? : 特定非営利活動促進法 (NPO法) と今後の私たちの活動 / 友政眞知子 (p.46-47)
71. 国連と増大するNGOの役割: 地球的課題を解決するために / 功刀達朗 (p.48-50)
72. 国連会議を動かすNGOの女性たち: 地球サミット: 国境を越えた市民による連帯の可能性 / きくちゆみ (p.51-53)
73. 国連会議を動かすNGOの女性たち: ウィーン世界人権会議: 「南」と女性のNGOが活躍 / 藤岡美恵子 (p.53-55)
74. 国連会議を動かすNGOの女性たち: カイロ人口会議: 環境・開発・人口問題の鍵を握るのは女性 / 船橋邦子 (p.55-57)
75. 国連会議を動かすNGOの女性たち: 北京女性会議: 北京世界女性会議と東アジア女性フォーラム / 國信潤子 (p.58-60)
76. 国連会議を動かすNGOの女性たち: 女性差別撤廃委員会 (CEDAW) とNGO: ニューヨークでの会議を傍聴して / 近江美保 (p.60-62)
77. インド: 目を見張るNGOの活動: スラム女性・山岳民族支援など / 山中悦子 (p.63-65)
78. ネパール: NGO、住民と私たち: 女性たち自身の経験共有を大切に / 田中雅子 (p.65-67)
79. フィリピン: 貧しくても元気なネグロスの女たち: 地域に根差した活動を / 大橋成子 (p.68-70)
80. タイ: タイ北部NGOと女性への取り組み: 草の根女性ネットワーク広がる / ニワット・スワンパタナー; 吉田直子訳 (p.71-73)
81. タイ・経済危機下の女性たち / ラニー・ハサランスイ (p.73-75)
82. カンボジア: 「女性たちが置き去りにされているのは国作りはできない」: カンボジアの女性たちの厳しい状況とNGOの取り組み / チャントウ・ポウア (p.75-77)
83. 中国: 非政府・無政府・反政府!? 中国におけるNGO / 秋山洋子 (p.77-78)
84. OXFAM: ジェンダーの視点を国内・海外のすべての活動に / 中谷文美 (p.79-81)
85. 世界銀行のWID・ジェンダー政策 / 段家誠 (p.82-84)
86. アジアの保健活動から: 民衆が奪われた権利を取り戻す力をつけることに協力する / 池住義憲, 松井やより (p.85-91)
87. 学習会 今なぜ戦争準備?: 日米新ガイドラインを読んで考える / 武藤一羊, 上田佐紀子 (p.94-95)
88. 『タイ買春読本』裁判勝ったよ! 報告集会 / 佐藤万帆 (p.96-97)
89. SAP研 (規制緩和・構造調整研究会) 活動報告 / 本山中子 (p.98-99)
90. 女性国際戦犯法廷: ソウル国際準備会議で国際実行委発足 / 西野瑠美子 (p.100)
91. 国境を越えたNGO協力で飢餓救済をめざす: 北朝鮮人道支援日韓NGOフォーラム / 河賢一 (p.103)
92. 一人芝居『マルシナは訴える』 / 佐伯奈津子 (p.101-102)

海外子女教育 [26-1] (1999.01)

93. 相談室ファイル 10: 本田技研工業国際人事部教育相談室 / 堀江静夫 (p.17)
94. ただいま何人!? (p.18)
95. 海外の大学入学資格試験 (p.33-39)
96. 相談室ファイル 11: 三洋電機人事部海外子女教育相談室 / 川合佳昭 (p.18)
97. 大使館の仕事 (p.29-35)
98. 帰国子女WHO: 横川(室)真理子さん: たったひとりの革命 / 横川(室)真理子, 古家淳 (p.36-37)

海外子女教育 [26-3] (1999.03)

99. 相談室ファイル 12: オムロン人事総務センタ関係会社グループ海外子女教育アドバイザー / 大倉晶 (p.18)

海外社会保障研究 [125] (1998.12)

- 特集: 就労インセンティブと社会保障
100. ドイツの雇用促進政策と社会保障 / 松丸和夫 (p.2-12)
101. スウェーデンにおける就労促進政策と社会保障 / 伍賀一, 横山寿一 (p.13-23)
102. オランダにおける就労インセンティブ政策と社会保障 / 小越洋之助 (p.24-38)
103. イギリスにおける就労促進政策と社会保障 / 榎原朗 (p.56-72)

開発教育 [39] (1999.02)

- 特集: 第16回開発教育全国研究集会: 地球市民を考える
104. シンポジウム“地球市民”を考える: 開発教育がめざす人間像を求めて / 箕浦康子 (p.11-14)
105. 教育改革とアドボカシー / 笹井宏益[ほか] (p.37-38)
106. 開発教育と演劇 / 嵯峨創平, 中田晃 (p.45-47)

アジアの経済危機は今

107. アジアの経済危機と開発教育教材: 「貿易ゲーム」をめぐって / 大井智弘, 荒川共生 (p.86-87)

解放教育 [29-1] (1999.01)

- 特集: '99・わたしのメッセージ: 解放教育の最前線から
108. 解放教育の研究的課題: 人権意識調査が示唆するもの: 現段階での教育の課題にむけて / 田中欣和 (p.37-45)
109. 日本の人権政策に関する提言: 世界人権宣言五十周年にあたって: 試案 / 友永健三 (p.75-98)

解放教育 [29-2] (1999.02)

- 特集: 「自分さがし」から「自分育て」へ: 進路支援教育のすすめ
110. 「学校・家庭・地域」の連携をめざして: 兵庫の「トライやる・ウィーク」 / 桜井輝之 (p.40-61)

家庭科教育 [73-1] (1999.01)

111. 人間と家族: 生態学的研究の必要 / 山根常男 (p.6-11)
112. 新しい時代の家庭科教育の課題: 環境教育と共に / 上田道子 (p.12-17)
113. セクソロジー教育の必要性 (2): 家庭科教育の立場から / 榎田真澄 (p.24-29)

114. 高齢者の食事へのアプローチ / 磯部はるみ (p.41-46)
 115. 子供の食事を考える：保母を目指す学生に栄養学は不要なのか / 脇田美佳 (p.47-50)
 116. 神戸小六惨殺事件の実存的考察(15)：早教育撲滅に乗り出した臨床心理士たち / 阪井敏郎 (p.55-63)
 117. 父親について褒めてもらおうと / 小林俊雄 (p.64-68)
 118. 身近な環境問題を考える：『ごみ家計簿』の考案から、ごみ減量化の実践に向けて / 川田玲子 (p.75-81)

家庭科教育 [73-2] (1999.02)

119. 家庭科の教科書問題と家庭科教育 3：不合格理由及び指摘箇所から見た文部省の家庭科教育観(1) 家族、保育を中心に その1 / 鶴田敦子 (p.12-19)
 120. もうひとつの結婚形態：夫と妻のメール書簡 / 富士栄登美子 (p.27-31)
 121. 神戸小六惨殺事件の実存的考察 16：早教育の受難者が児童虐待に走る / 阪井敏郎 (p.37-45)
 122. 思春期の食と健康について / 笹田陽子 (p.46-55)
 123. 若者の家事能力、特に料理と保育について / 澤田参子 (p.67-71)
 124. 女子短大生とアルバイト / 雑賀文香 (p.77-80)

家庭科教育 [73-3] (1999.03)

125. 生活をどうとらえるか：家庭科における「生活」の認識と実践を考える / 青木香保里 (p.6-12)
 126. 環境学諸学 1：生活環境学を考える / 新福祐子 (p.26-30)
 127. 家庭科の教科書問題と家庭科教育 3：不合格指摘理由及び指摘箇所から見た文部省の家庭科観・教育観：(2) 家族、保育領域を中心に その2 / 鶴田敦子 (p.31-35)
 128. 神戸小六惨殺事件の実存的考察 17：早教育の受難者が児童虐待を急増させている(承前) / 阪井敏郎 (p.45-54)
 129. 父親の家事・育児参加と親族の育児援助：保育園児の父母調査より / 久保桂子 (p.55-59)
 130. 家計簿から見た昭和の生活史：家族周期の視点から / 藤井千賀 (p.65-72)
 131. 女子大学生の食生活について：中食(惣菜)の賢い利用 / 松浦紀美恵 (p.73-79)

神奈川大学評論 [31] (1998.11)

特集：政治・行政・組織の現在：解体と空白のなかで

132. 「日本的経営」論の欠落と企業システムの再生 / 大林弘道 (p.88-95)

看護 [51-1] (1999.01)

133. ケアギビング：知と実践、倫理、政治力学に関する選集 / Benner Patricia, Noddings Nel, Gordon Suzanne ; 輪湖史子訳 (p.84-90)
 134. 一步踏み込む介護保険制度：参酌標準はケアプランの雛型ではない / 太田加世 (p.96-99)
 135. わかりやすい看護の経済学 12：病院内他職種との比較から見た看護職の給与 / 竹谷英子 (p.104-110)

看護 [51-2] (1999.02)

特集：倫理的感受性：その必要性とサポートシステム

136. 出生前診断によりダウン症の可能性が判明し、中絶した例 / 福留はるみ (p.50-53)

137. 「アダルトチャイルド」に正しい理解を! / 大越崇 (p.99-103)

看護 [51-3] (1999.03)

138. 一步踏み込む介護保険制度 3：指定居宅サービス事業者等の基準について / 太田加世 (p.86-89)
 139. 1998年「病院における看護職員需給状況調査」速報 / 日本看護協会調査研究課 (p.116-119)

看護 [51-4] (1999.03)

特集：第29回日本看護学会特別講演シンポジウム集録号

140. 専門看護師の役割と将来の展望：制度・教育・活動の概観 / 小島操子 (p.16-27)
 141. 21世紀への看護の挑戦：健康な社会の建設 / 高野順子 (p.76-89)
 142. 高齢社会を明るく楽しく / 橋本大二郎 (p.118-129)
 143. 母性の愉しさを見つけよう：子産み、子育て支援 / 宮城シゲ[ほか] (p.150-171)
 144. 地域社会における子育てを支える環境：社会の子どもとして / 服部祥子 (p.172-185)
 145. 地域社会の中で育つ子どもたち：子育て支援とネットワーク化 / 新藤京子[ほか] (p.186-205)

季刊女も男も：自立・平等 [78] (1999.01)

特集：21世紀の足音をきく：新たな価値観を生きる

146. 「メンズリブ・ムーブメント」と「不安の時代」：「からだ」の視点から自分を見つめる：三好哲司さんにインタビュー / 今村朋子, 三好哲司 (p.15-18)
 147. 性暴力から身を守って生きる：女性による女性のための護身法を学ぶ / 戸枝晶子 (p.19-21)

いま学校で：兵庫性教協

148. 「男らしくなくてもええで」から「私が好き」へ：『オトコプロジェクト』のとりくみから / 瀬尾徹志 (p.24-27)

いま学校で：中学校

149. 「結婚はしない」女の子たち：家事・育児・介護は女の仕事? / 山崎喜久枝 (p.28-30)

150. は・た・ら・く 4：保育の仕事に男女差はない：男性保育者からみた、子ども・社会・ジェンダー / 綱川勇次, 高橋淳子 (p.34-37)

151. 障害児・者のきょうだい支援に向けて：動き始めたセルフヘルプグループ / 松永のみ子 (p.38-41)

152. 各国に共通した社会的孤立と経済的貧困：ひとり親家庭台湾会議に出席して / 濱本知寿香 (p.42-43)

153. 急がれる教育現場の性暴力点検：クローズアップされた教員・生徒間のセクハラ / 内藤美智子 (p.43-44)

154. 米にみるDV禁止運動と社会サービス：DVサバイバー・加藤洋子さんの講演から / 古庄弘枝 (p.45)

155. 歴史をジェンダーで読む 4 : 奥山えみ子さんに聞く : 日教組・婦人部(女性部)のたたかい 2 : 「女は家庭」を固定化したままで平等を志向しても、真の平等は達成できません。 / 斎藤茂男, 奥山えみ子 (p.46-50)
156. 写真を読む 8 : 新年双六遊び / 岩尾光代 (p.52-53)
157. パートナースHIP 4 : レースは人生そのもの : 生きる姿の美しい一生を送りたい / 能代律子, 古庄弘枝 (p.56-59)
158. 女性解放思想史講座 67 : カルティニ : インドネシア共和国の「国家独立英雄」 / 富永泰代 (p.62-65)
159. 基本法で推進「男女共同参画社会」 : 男女共同参画審議会答申「男女共同参画社会基本法について男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり」を読む (p.76-79)

季刊家計経済研究 [41] (1999.01)

特集 : 変わる労働

160. 雇用システムの変化と女性労働 / 中野麻美 (p.26-37)
161. 性別役割分業体制を持続させる二つの次元 : 義務・愛情 / 李璟媛 (p.53-63)
162. 意識の男女差と結婚の遅れ : 第10回出生動向基本調査独身者票「女性の人生コース」再分析 / 田中重人, 秋山哲也 (p.64-70)

季刊教育法 [118] (1998.12)

特集 : 社会教育法の現代的意義

163. NPO法の制定と社会教育法制度 : 社会教育関係団体の現代的検討 / 佐藤一子 (p.15-19)
164. 女子高校生の結婚観(10) : 家族法をどう教えるか / 望月由孝 (p.89-95)

季刊社会保障研究 [34-3] (1998.12)

165. 福祉サービス供給システムとしての措置(委託)制度の考察 : 保育所制度の改革等を素材として / 福田素生 (p.281-294)
166. 保育所の利用者負担徴収方法と女性の就労選択 / 丸山桂 (p.295-310)
167. 社会保障判例 : ホームヘルパー派遣申請不承認処分について内部準則に基づく平等原則に照らして違法があると判断された事例 / 秋元美世 (p.311-318)

季刊女性と年少者 [127] (1999.03)

168. パートタイム労働指針の改正について / 労働省女性局女性労働課 (p.17-19)
169. いよいよ施行! 改正男女雇用機会均等法 / 労働省女性局女性政策課 (p.20-23)
170. 育児・介護休業法の施行について / 労働省女性局女性福祉課 (p.24-25)
171. 平成11年度労働省女性局予算(案)の概要 / 労働省女性局 (p.28-29)
172. 平成10年度働く女性の実情 / 労働省女性局女性労働課 (p.31-38)

季刊年金と雇用 [17-4] (1999.02)

特集 : 高齢者雇用

173. 高齢者の雇用・就業 / 降矢憲一 (p.4-12)

174. 高齢者雇用 / 成瀬健生 (p.29-35)

175. 平成10年度第2回経済講演会 : 少子社会を考える / 棕野美智子 (p.81-93)

季刊保育問題研究 [175] (1999.02)

特集 : 保育にかかる「費用」について考える

176. 保育にかかる費用について : 公私格差とコスト / 岡本憲明 (p.4-11)
177. 保育にかかる「費用」と保育のコスト / 合田千里 (p.12-21)
178. 社会保障に対する財政支出の経済効果 : 1つの情報提供 / 渡邊保博 (p.22-30)
179. 延長保育の費用負担をめぐる諸問題 : 政令市及び県庁所在地の調査より / 藤井伸生 (p.31-40)
180. 社会福祉基礎構造改革についての見解 / 全国保育問題研究協議会常任委員会 (p.44-49)
181. 改正児童福祉法は何なのか : 厚生省の次のねらいは何か / 田村和之 (p.111-128)
182. 第38回全国保育問題研究集会基調提案(草案) / 全国保育問題研究協議会常任委員会(基調提案作成委員会) (p.129-150)

季刊労働法 [187] (1998.12)

特集 : 企業のネットワーク化に伴う法律問題

183. 企業のネットワーク化に伴う労働の問題点 / 神谷隆之 (p.2-5)
184. ネットワーク化と雇用の多様化 / 馬渡淳一郎 (p.8-18)
185. 改正均等法の禁止規定化と救済手段・補論 / 山田省三 (p.68-80)

教育 [49-1] (1999.01)

186. 従軍慰安婦問題を考える授業 : 「中学校教科書から『従軍慰安婦』記述の削除を要求する」にあなたは賛成ですか? パート2 / 加藤公明 (p.115-124)

教育 [49-2] (1999.02)

特集 中学校改革 : 知と共同を子どもたちに

187. 中学校の進路問題を地域で考える / 西本勝美 (p.23-31)
188. 「子どもの権利委員会」の日本政府に対する提案と勧告 / 世取山洋介 (p.103-108)

教育 [49-3] (1999.03)

特集 : 情報化・メディア社会と子ども

189. 教育政策・運動の現段階とメディアリテラシー / 坂本旬 (p.22-32)
190. 放送、授業、そしてメディアリテラシー : 新しいメディアを通して、子どもをどう育てるか / 船津貴弘, 宇治橋裕之 (p.65-73)

教育委員会月報 [50-11] (1999.01)

特集 : 学校の教育活動における社会人、地域人材の活用

191. 学校支援ボランティアの推進について / 文部省男女共

同参画学習課, 大滝正人 (p.23-25)
 192. 事例紹介1: 学校図書館ボランティア活動の推進: 母親が受付カウンターにいる学校図書館 / 伊澤光二 (p.26-28)

193. 家庭教育手帳、家庭教育ノート / 文部省男女共同参画学習課 (p.44-45)
 194. 子育てホットライン (家庭教育に関する24時間電話相談の全国配置) / 文部省男女共同参画学習課 (p.46-47)

教育委員会月報 [50-12] (1999.02)

195. 生徒指導上の諸問題の現状について / 文部省中学校課 (p.44-62)
 196. 平成10年度大学入学資格検定実施結果について / 文部省生涯学習振興課 (p.70-73)

教育と医学 [47-1] (1999.01)

特集: 現代の「女らしさ・男らしさ」
 197. 女らしさ・男らしさとはどういうことか / 氏原寛 (p.4-12)
 198. 「女らしさ・男らしさ」の変遷 / 渡邊恵子 (p.22-29)
 199. 女らしさの発達 / 深谷和子 (p.22-29)
 200. 人間の性差: 男と女 / 長谷川真理子 (p.30-37)
 201. スポーツにおける女らしさ・男らしさ / 阿部生雄 (p.38-49)
 202. ファッションに見られる「女らしさ・男らしさ」: ポーダレスがキーワード / 山本文夫 (p.50-55)
 203. 心理テストに見られる「女らしさ・男らしさ」 / 小出寧 (p.56-62)
 204. ジェンダー・フリーの社会とは / 小松満貴子 (p.64-71)
 205. 老いに見る「女らしさ・男らしさ」 / 倉戸ヨシヤ (p.72-78)
 206. 性差: <女らしさ/男らしさ> / 清家久美 (p.79-84)

教育と医学 [47-2] (1999.02)

特集: 新しい健康観
 207. 地域における健康づくり / 山本多喜司 (p.29-37)
 208. 更年期から快適に / 小山嵩夫 (p.48-54)
 209. 高齢者の健康づくり / 河野友信 (p.55-68)

教育と医学 [47-3] (1999.03)

特集: 知力を育む
 210. 学ぶ意欲を育むには / 鹿毛雅治 (p.12-18)
 211. 知力を育むカウンセリング / 吉村匠平 (p.35-41)
 212. 心の知能(EQ)とは: 情動知能の理論 / 加藤和生 (p.42-50)
 213. 自閉症における認知障害と認知発達治療 / 太田昌孝 (p.58-65)

教育と情報 [490] (1999.01)

特集: 子どもたちの国際理解
 214. インターネットを使った韓国との国際交流 / 辻陽一 (p.8-11)
 215. アメリカのホームスクールの現状と課題 / 秦明夫 (p.48-51)

教育と情報 [491] (1999.02)

特集: ボランティアのすすめ
 216. 心の教育とボランティア / 千石保 (p.6-9)
 217. 情報ボランティアってなに?: 阪神・淡路大震災から今日まで、そしてこれから / 千川剛史 (p.10-13)
 218. 学校教育とボランティア活動: ボランティア教育をめぐる課題 / 小林繁 (p.14-17)
 219. 国際協力活動の人材発掘・確保とその人材活用の進め方に関する研究 / 渡辺良 (p.44-47)

教育と情報 [492] (1999.03)

特集: 大学生の就職支援
 220. 就職・採用環境の動向: 転換期を迎えた新卒採用活動 / 木ノ内博道 (p.2-5)
 221. 社会変動と女子学生の就職構造の課題 / 江上節子 (p.6-9)
 222. 就職とは自分への挑戦: ある私立大学就職部の支援 / 飯塚太 (p.10-13)
 223. 調査にみる企業の採用動向: 始まった採用革命 / 浅井和史 (p.14-19)
 224. 「子どもの体験活動等に関するアンケート調査」の実施結果について / 土屋隆裕 (p.40-45)

教育評論 [623] (1999.03)

特集: どうなる年金改革のゆくえ
 225. 年金改正をどう進めるか / 高山憲之 (p.10-14)
 226. 女性の年金問題、現状と将来 / 山崎久民 (p.15-19)

くらしと教育をつなぐWe [7-10] (1999.02)

特集: 売買春の是非論を超えて
 227. パネルディスカッション報告 / 宮台真司[ほか] (p.4-26)
 228. 米国メディアの日本(偏向?)報道から見えてくるもの: 日本の女性はレイプを喜んで受け入れている?! / 吉楽美奈子 (p.27-32)
 229. 自己表現トレーニング 10: 批判されてもめげないで / 河村ふみ (p.51-54)

月刊オルタ [258] (1999.02)

特集: いまNGOが問われていること: 「NPO法」ができて
 230. 熊岡路矢さんに聞く: 日本の社会が変わる兆し / 熊岡路矢, 井上礼子 (p.9-12)
 231. 宇津木朋子さんに聞く: 市民が助け合って暮らしている社会をどうつくるか / 宇津木朋子, 前田美穂 (p.16-18)

月刊家庭科研究 [169] (1999.01)

特集: 中学生は、いま何を: ゆれる心が求めるもの
 232. 中学生のおしゃれ感覚: 全国5校の中学でのアンケートから (p.24-31)

月刊家庭科研究 [171] (1999.03)

特集: 新学習指導要領で家庭科はどうなる: 小学校
 233. 21世紀の家庭科を考える: 新学習指導要領「家庭科」から / 丸岡玲子 (p.10-15)

234. 学習指導要領の比較 (p.28-39)

月刊公民館 [501] (1999.02)

235. 公民館企画 QandA 11 : 発達課題編 : リカレント学習 / 岩槻知也 (p.30-32)

236. 国際高齢者年と高齢者教育 / 馬場祐次郎 (p.40-41)

237. 文部省生涯学習局平成11年度予算(案)の概要 : 生涯学習社会の構築を目指して全国子どもプラン(緊急3ヶ年戦略)の推進 (p.42-43)

月刊公民館 [502] (1999.03)

特集 : 高齢者 : その社会活動

238. 高齢者 : その社会活動 / 西川万文 (p.4-8)

239. 参考データ : 高齢者の学習要求 : 定年後の暮らし : 高齢者の居住形態 (p.20-22)

240. いっしょに歩こう : 公民館活動 : 島根県頓原町志々公民館 / 伊藤志津江 (p.34-37)

241. 公民館奮闘記 2 : 体験交流 : 私のサークル活動 / 中井民子 (p.40)

月刊国民生活 [29-1] (1999.01)

特集 : 新しい消費者行政の展開

242. 消費者ネットワークと情報発信 事例1 : 買い物から環境を考える市民グループの活動 : グリーンコンシューマが社会を変える / 原育美 (p.28-31)

243. 裁量労働制ホワイトカラーに全面的適用 : 労働基準法改正 / 中川隆生 (p.40-43)

244. 「高齢社会を支える住環境」 : 現状分析とバリアフリーを考える / 篠崎悦子 (p.54-58)

月刊国民生活 [29-3] (1999.03)

特集 : 自己責任時代の消費者 : 消費者保護基本法三十周年を記念して

245. 基調講演(要約) : 未来ある暮らしのために / 上野千鶴子 (p.8-19)

246. 資源・エネルギー・リサイクルへの取り組み : 買い物袋持参運動から環境チケットの発行へ / 織田孝子 (p.36-37)

247. これからの暮らし・シニアライフを考える : 有料老人ホームはどう変わったか / 忠内真須美 (p.46-47)

248. 消費者の自立とこれからの消費者問題 : 消費者の自立と若年者教育 / 有馬小夜子 (p.48-49)

249. これからの消費者ネットワーク 36 : だれもが安心してかかれる地域の医療づくり / 上田寧 (p.68-69)

月刊自治研 [41-1] (1999.01)

特集 : 条例をつくる時代

250. 第1分科会 : 議会が立法府に大変身 : いねむり議会をたたき起こせ / 高井章博 (p.61-67)

251. 第3分科会「教育・福祉」 : ひとりひとりを大切に社会をつくる / 鈴木秀章 (p.73-80)

月刊自治研 [41-2] (1999.02)

特集 : 男女共同参画社会へ!

252. 座談会 : 男女共同参画社会のイメージと基本法の考え方 / 松本惟子, 広岡守穂, 笹見猛 (p.16-37)

253. 自治体における女性政策の推進 / 米田禮子 (p.38-46)

254. 東京都男女平等推進基本条例(仮称)制定の動き / 中島圭子 (p.47-58)

255. 男女共同参画基本法への期待と労働組合の課題 / 菊池朋子 (p.59-65)

256. メッセージ : 男女共同参画社会に向けて : 自治体労働者として積極的行動を / 高橋薫 (p.66-67)

257. メッセージ : 男女共同参画社会に向けて : 職場結婚における共働き女性組合員の退職干渉について / 長田隆 (p.67-68)

258. メッセージ : 男女共同参画社会に向けて : 女性が積極的な関心を示す意味 / 中筋一三 (p.68-70)

259. メッセージ : 男女共同参画社会に向けて : あなたはキラキラ輝いていますか? / 川西美恵子 (p.70-72)

260. メッセージ : 男女共同参画社会に向けて : 若者による新しい運動 / 牛島香峰子 (p.72-73)

261. メッセージ : 男女共同参画社会に向けて : セクハラ問題の再検証 / 郷原信一 (p.73-74)

月刊自治研 [41-3] (1999.03)

262. 介護保険スタート前夜の日本介護事情 / 世論構造研究会 (p.86-87)

月刊社会教育 [43-2] (1999.02)

特集 : ジェンダーの視点で考える

263. 女性問題学習の新しい課題 : 「ジェンダーの視点」をめぐって / 米田佐代子 (p.6-11)

264. 女性政策と学習の接点を探る / 米田禮子 (p.12-17)

265. 女性問題学習の方法を問う : 学習者のエンパワーメントをめざして / 入江直子 (p.18-23)

266. 私にとっての足立区女性総合センター / 高井正 (p.24-30)

267. 集会報告から女性問題のとらえ方をさぐる : 日常から非日常へ...そして : 日本女性会議 97おかやま / 林順子 (p.31-33)

268. 集会報告から女性問題のとらえ方をさぐる : ワークショップでエネルギーが爆発 : 女性学・ジェンダー研究フォーラム / 平賀圭子 (p.34-35)

269. 集会報告から女性問題のとらえ方をさぐる : フェミニズムの大きな流れと地域女性史 : 第7回全国女性史研究交流のつどい / 折井美耶子 (p.36-37)

270. 集会報告から女性問題のとらえ方をさぐる : 男性問題運動史に残る大会となった : メンズフェスティバル '98in東京 / 矢作元亮 (p.38-39)

271. ジェンダー・女性問題用語解説 (p.40-44)

月刊社会教育 [43-3] (1999.03)

特集 : 社会教育法「改正」

272. 社会教育法「改正」とわたしたちが求める学びの保障 : 住民参加と自治による公民館をさらに発展させるために / 平井愛子 (p.19-22)

月刊女性&運動 [196] (1999.01)

273. 一九九九年高齢者のための国連原則 : 人生を刻む年月

- に活力を加えるために / 井上英夫訳 (p.24-25)
 274. 国際連合広報センター資料より：世界人口の高齢化：すべての世代のための社会をめざして 一九九九 (p.25-29)

月刊女性&運動 [197](1999.02)

特集：人間らしく働き続けたい

275. 労働法制改悪とたたかって不況の打開を / 坂本修 (p.8-13)

276. 世界の女性情報24：ドイツ：女性労働者の勝利：相次ぐ差別撤回 / 宮前忠夫 (p.34-35)

月刊福祉 [82-1](1999.01)

277. ケアマネジメントの実践 9：ケアカンファレンス / 黒澤貞夫 (p.72-77)

278. 1999年は国際高齢者年：すべての世代のための社会をめざして (p.108-109)

月刊福祉 [82-2](1999.02)

特集：福祉教育・福祉体験をすすめる：共生・参加型社会の担い手を育てるために

279. 福祉施設における福祉教育・福祉体験の意義と課題 / 新崎国広 (p.48-51)

280. 「介護等の体験」推進への取り組みと課題 / 森茂輝 (p.60-63)

281. ケアマネジメントの実践 10：高齢者・家族との連携と共働の課題 / 黒澤貞夫 (p.72-77)

282. 世界の障害者施策：香港の障害者差別禁止条例 / 佐藤久夫 (p.78-83)

283. 児童家庭福祉の未来：子どもの生活を支える学童保育の方向性 (p.94-99)

284. 「介護保険に向けた特別養護老人ホームの意識調査」結果について / 中島健一 (p.114-117)

月刊福祉 [82-3](1999.03)

特集：福祉改革のなかで福祉専門職を検証する

285. 福祉改革のなかでの社会福祉専門職のあり方 / 栃本一三郎 (p.12-19)

286. 言語聴覚士法の成立について / 厚生省健康政策局医事課 (p.52-55)

287. ケアマネジメントの実践 11：ケアマネジャーに求められる資質 / 黒澤貞夫 (p.64-69)

288. 世界の障害者施策：カナダの障害者施策：関係11省庁の取り組み / 植村英晴 (p.70-75)

289. 高齢化時代の新しい選択：フィンランドにおけるファミリーデイケアについての一考察 / 牧田満知子 (p.120-125)

月刊福祉 [82-4](1999.04)

特集：アジアの医療・社会福祉：学び・協力し・ともに歩む

290. アジアの医療・社会福祉と日本 / 萩原康生 (p.12-17)

291. 各国の医療・社会福祉の現状：シンガポールの医療・社会福祉の現状 / 桂良太郎 (p.26-29)

292. この道をゆく 40：「女郎墓」の花 / 山崎朋子 (p.66-67)

293. ケアマネジメントの実践 12：ケアマネジメントの質の向上のために / 黒澤貞夫 (p.74-79)

294. 世界の障害者施策：アメリカの障害児教育：個別教育計画のケースマネジメント / 出口隆一 (p.80-85)

295. 児童家庭福祉の未来：児童自立支援施設の機能拡大と今後の方向性：山口県・山口県立育成学校 (p.102-107)

月刊婦人展望 [500](1999.01)

296. 世界人権宣言50周年記念集会：男女平等社会に向けて (p.10-11)

297. 世界女性国会議員比率ランキング：日本は衆院123位・参院20位 (p.13-15)

月刊婦人展望 [501](1999.02)

特集：第14回統一地方選挙特集

298. 本番を迎えた草の根グループ：女性の議会進出支援グループのその後を追う / 森屋裕子, 平神純子 (p.6-9)

299. 蓮田市長樋口暁子さんに聞く / 樋口暁子, 山口みつ子 (p.10-11)

300. 東京都「男女平等参画基本条例」の中間報告 / 浅倉むつ子 (p.12-13)

301. 第53回国連総会講演会 / 貝谷俊男, 西立野園子 (p.14-15)

302. IPUピントット・レポート 2：「女性の政治進出には何が有効か 1975~98」から (p.16)

303. 活動の拠点 女性会館の現状とこれから 32：たかさき女性フォーラム / 山崎紫生 (p.17)

月刊婦人展望 [502](1999.03)

特集：第14回統一地方選特集 2

304. 7政党女性局長に聞く：女性候補支援策、女性有権者対策など / 狩野安[ほか] (p.5-8)

305. 助役対談：地方行政一年目を語る / 藤井紀代子, 石井淳子 (p.9-12)

306. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの確立をめざす人口会議：「ハーグ・フォーラム」に出席して / 房野桂 (p.14-15)

307. 国際婦人年連絡会、国連への政府報告に意見書提出 (p.16-17)

308. 2000年会議の国内委発足 (p.17)

月刊婦人展望 [503](1999.04)

特集：第14回統一地方選特集 3

309. 有権者アンケート：わたしの選択基準 / 飯島禮子[ほか] (p.5-6)

310. 平成11年度 国の女性関係予算案：総理府、厚生省、労働省、文部省、農林水産省：各省の予算説明を聞いて / 佐藤輝子, 矢澤江美子 (p.7-15)

311. IPUピントット・レポート 3：「女性の政治進出には何が有効か 1975~98」から (p.16)

312. 第18回参議院議員通常選挙の実態：(財)明るい選挙推進協会調査 (p.17)

月刊世論調査 [31-1](1999.01)

313. 男女共同参画社会に関する有識者アンケート調査 / 総理府 (p.2-36)

月刊世論調査 [31-3](1999.03)

314. 社会資本の整備 / 総理府 (p.2-113)

月刊ロアジール [23-8](1999.01・02)

特集：祝日三連休化の実現

315. 月曜祝日化と「柔らかい時づくり」：<月曜日が変わる>：実現した「ハッピーマンデー」 / 丁野朗 (p.19-24)

316. 日本余暇通史・戦後編 4：貧しい民間団体の動き / 瀬沼克彰 (p.36-44)

現代思想 [27-1](1999.01)

317. 私の一宮巡詣記 3：聖家族と女神の伝統：武蔵・下野・上野 / 大林太良 (p.8-17)

特集：ジェンダー・スタディーズ

318. ジェンダー・トラブル / 上野千鶴子, 竹村和子 (p.44-77)

319. ジェンダー・スタディーズへの招待 / 若桑みどり (p.78-85)

320. 「自己決定」をめぐるジレンマについて / 江原由美子 (p.86-93)

321. 彼女の「正しい」名前とは何か：「女性」「パレスチナ」それとも「フィラスティニーヤ」? / 岡真理 (p.94-104)

322. フェミニスト経済学という可能性 / 足立真理子 (p.105-113)

323. プエノスアイレスへの道：白人女性売買小論 / 林みどり (p.114-124)

324. 物語絵巻を見る：ジェンダー・ネーションの領域を構築する力に抗って / 池田忍 (p.125-133)

325. ミュージアム展示のジェンダー：日本軍「慰安婦歴史館」を訪ねて / 千野香織 (p.134-141)

326. 表現、流通、セクシュアリティ：「アラキー」写真と意味形成の磁場 / 萩原弘子 (p.142-157)

327. <告白>を微分する：明治四〇年代における異性愛と同性愛と同性社会性のジェンダー構成 / 飯田祐子 (p.158-169)

328. 近代文学史の記憶 / 忘却 / 佐藤泉 (p.170-182)

329. <対幻想>は超えられたか：『死の棘』における共犯と逸脱 / 鈴木直子 (p.184-196)

330. 家父長制の系譜学 / 千田有紀 (p.197-209)

331. セクシュアリティの「応用問題」 / 河口和也 (p.210-215)

332. ネオ・リベラリズムと性暴力 / 浅野千恵 (p.216-230)

333. 消費する男、処理される女、その間に賭けられた同性愛 / Hall, Jonathan Mark (p.231-237)

334. 境界攪乱へのバックラッシュと抵抗：「ジェンダー」

から読む「環境ホルモン」言説 / 北原恵 (p.238-253)

現代思想 [27-2](1999.02)

特集：部落民とは誰か

335. 部落問題における婚姻忌避 / 藤野豊 (p.84-95)

336. 反差別・人権問題の現在と / 北口学 (p.167-174)

337. 日本における差別史研究の諸問題 / ひろたまさき (p.187-199)

現代思想 [27-3](1999.03)

特集：デリダ

338. <肩扱い>の倫理的意味 / Drucilla Cornell ; 後藤浩子訳 (p.130-159)

339. Decidement, du texte / 港道隆 (p.160-175)

現代性教育研究月報 [17-1](1999.01)

340. 新連載・伏見憲明が聞く / 現代「性の倫理学」：援助交際? 悪い! 性の商品化、全部悪い! / 加藤秀一, 伏見憲明 (p.1-8)

341. 第5回アジア性科学学会に出席して / 宮原忍 (p.8-11)

342. 性教育の授業法6：オルタネイテド(交換)・ロールプレイ / 疋田哲也 (p.12-13)

現代性教育月報 [17-2](1999.02)

343. 言葉を読み解く：「ジェンダー」って何? / 兵藤智佳 (p.1-5)

344. 性教育の授業法7：リターニングデータチェック方式：自分達のアンケート結果で自己解析 / 疋田哲也 (p.12-13)

現代性教育研究月報 [17-3](1999.03)

345. 女から女へのメッセージ：女性とエイズ / 池上千寿子 (p.1-3)

346. 伏見憲明が聞く / 現代「性の倫理学」3：高校教師のカミングアウト：「私は同性愛者、共に暮らす女性は恋人」 / 池田久美子, 伏見憲明 (p.4-9)

347. 性教育の授業法8：ディベート / 疋田哲也 (p.10-11)

現代のエスプリ [378](1999.01)

特集：ターミナルケアの周辺：ターミナルケアの現状と展望

348. 安楽死・尊厳死の現状と看護 / 真部昌子 (p.53-63)

349. 後期高齢者のケアと死の看取り：地域看護の視点から / 吉村洋子 (p.189-197)

現代のエスプリ [379](1999.02)

特集：ヘルスカウンセリング：健康問題を介して生き方を変える構造化カウンセリング法

350. 自分の弱さに気づくことで自信を勝ち得た主婦：パニック障害からの回復 / 後藤恵子 (p.62-71)

351. やせたいけどやせられないその理由は：肥満外来のヘルスカウンセリング / 八木香里 (p.97-102)

352. 拒食・過食が求める記憶の中の愛と癒し / 小塚友美 (p.123-131)

353. 本当のわたしを愛してくれますか?：養護教諭のヘルスカウンセリング / 岸本啓子 (p.138-148)

354. 教師、親、そしてかけがえのない子ども達：本音でい

- きられない哀しさと戦う日々 / 山野辺輝子 (p.149-158)
 355. ヘルスカウンセリング学会認定ヘルスカウンセラーセミナー / 鈴木浄美, 小森まり子, 橋本佐由里 (p.176-185)

- 現代のエスプリ [380] (1999.03)
 特集：在宅ケア：公的介護保険への期待と疑問
 356. 少子高齢化の特徴と経済 / 大淵寛 (p.36-44)
 357. 介護保険と市民福祉 / 池田省三 (p.45-53)
 358. 看護職と公的介護保険 / 山崎摩耶 (p.54-63)
 359. 作業療法士と介護保険 / 藤原茂 (p.74-82)
 360. 理学療法士(PT)と介護保険 / 中屋久長 (p.83-90)
 361. 東京特別区の現状と課題：住民合意で地域に根ざしたサービス創りを / 菊地頌子 (p.91-103)
 362. デイサービス、ショートステイの現場から / 金井直子 (p.129-138)
 363. 痴呆老人の介護の立場 / 勝田登志子 (p.148-159)
 364. “老人虐待”の実態と介護保険制度の課題 / 高崎絹子 (p.172-184)

- 厚生 [54-1] (1999.01)
 特集：少子化への対応を考える有識者会議
 365. 夢ある家庭づくりや子育てができる社会を築くために(提言)の骨格 (p.24-25)
 366. 夢と絆の家庭支援：「少子化への対応を考える有識者会議」の開催等について (p.26-27, 38-47)
 367. 第11回出生動向基本調査(独身者)の概要 / 金子隆一, 三田房美 (p.48-50)

- 厚生 [54-2] (1999.02)
 特集：グループホームの課題と現場での取り組み
 368. 痴呆性高齢者のグループホームの概要と今後の課題 / 内藤佳津雄 (p.38-39)
 369. グループホームケアを実践して / 橋本正明 (p.40-41)
 370. 笑顔といごちを大切に / 下村恵美子 (p.42-43)
 371. 人と社会：小林光恵さん / 小林光恵 (p.55-57)

- 厚生の指標 [46-1] (1999.01)
 372. 平成9年国民栄養調査結果の概要 / 厚生省保健医療局生活習慣病対策室 (p.40-49)

- 厚生の指標 [46-2] (1999.02)
 373. 21世紀の日本の世帯数：日本の世帯数の将来推計(全国推計：1998年10月推計) / 西岡八郎[ほか] (p.3-10)
 374. 平成9年 地域児童福祉事業など調査の概況 / 厚生省大臣官房統計情報部保健社会統計課 (p.36-45)
 375. 平成10年度 学校保健統計調査速報 / 文部省大臣官房調査統計企画課 (p.46-55)

- 厚生の指標 [46-3] (1999.03)
 376. わが国の乳幼児突然死症候群(SIDS)の疫学 / 田中哲郎[ほか] (p.3-10)
 377. 母親の育児負担感に関する尺度化 / 中嶋和夫, 齋藤友介, 岡田節子 (p.11-18)
 378. 前定年退職期にある勤労者の定年後の不安感とその対応行動 / 佐藤秀紀, 福渡靖 (p.19-26)

- 更生保護 [50-1] (1999.01)
 379. 更生保護への期待 / 土井政和 (p.16-21)

- 更生保護 [50-2] (1999.02)
 特集：学校教育と更生保護
 380. いま、学校では：ムカつきキレる子どもの現状と背景 / 高橋史朗 (p.6-11)
 381. スクールカウンセラーとして学校に入って / 杉原紗千子 (p.27-30)

- 国際女性 [12] (1998.12)
 382. 国際女性の地位協会が<国連NGO>になりました / 山下康子 / 近江美保 (p.5-6)
 383. 第52回国連総会第三委員会報告 / 杉森長子 (p.7-9)
 384. 第42回国連婦人の地位委員会報告 / 目黒依子 (p.10-12)
 385. 第17・18回女子差別撤廃委員会の報告 / 佐藤ギン子 (p.13-14)
 386. 女子差別撤廃委員会(CEDAW)第17・18会期の活動について / 米田眞澄 (p.15-17)
 387. 第17会期女子差別撤廃委員会：傍聴記 / 松本泰子, 高岡日出子 (p.18-20)
 388. 一般的勧告第23(第16会期、1997年)[全訳] / 米田眞澄, 近江美保訳 (p.21-27)
 389. 女性差別撤廃条約締約国：レポート提出・審議状況一覧 / 山下威士, 山下泰子 (p.28-35)
 390. CEDAW第17会期および第18会期における各国レポート審議概要：国連報告書の抄訳 / 編集委員会訳 (p.36-77)
 391. 国連女性の地位委員会第42会期：選択議定書の作業部会を中心に / 軽部恵子 (p.78-80)

- 特集：男女平等基本法
 392. 男女平等基本法・推進条例：国・地方自治体・NGOの動きと国際女性の地位協会の意見 / 山下泰子 (p.81-85)
 393. 男女平等基本法：男女共同参画審議会基本問題部会「論点整理」について / 齊藤誠 (p.86-93)
 394. 男女平等条例を創る / 根森健 (p.94-98)
 395. 男女平等基本法と国内本部機構 / 橋本ヒロ子 (p.99-102)

396. 第13回IWRAW年次会合報告：1998年年次会合と活動企画会議に参加して / 近江美保 (p.103-105)
 397. 国際女性の地位協会フォーラム講演：女性差別撤廃条約の各国女性への影響 / ハンナ・ベアテ・ショップ＝シリグ；山下泰子監訳，田中恭子；渡辺美穂訳 (p.106-111)

- 特集：女性の政治参加
 398. 基調講演「女性の人権と女性差別撤廃委員会・イタリアの現状」：前進と挑戦 / イヴァンカ K. コルティ；近江美保，矢澤澄子監訳，奥山亜喜子[ほか]訳 (p.114-122)
 399. 10周年記念パネルディスカッション：「学ぼう!活かそう!女性の権利」：いかにして女性の政治参加を進めるか / 山下泰子[ほか] (p.123-136)

400. 国連婦人地位委員会合意結論：合意結論1997/2. 権力及び意思決定における女性 / 総理府仮訳 (p.137-138)
401. HDI, GDI, GEM上位50か国 (p.139)
402. フランスの女性の政治参画：EUの女性政策の影響とパリテ・クォータ論争 / 梶本玲子 (p.141-147)
403. やさしく学ぼう女性差別撤廃条約：出前フォーラム / 高岡日出子[ほか] (p.148-153)
404. 女子差別撤廃条約実施状況 第4回報告(仮訳) (p.154-209)

国際人流 [141](1999.02)

特集：国際結婚の家庭から：わが家の暮らし方

405. わが家の生き方・暮らし方 / ツルネン幸子[ほか] (p.2-12)
406. 統計からみた最近の国際結婚の状況 / 小山信幸 (p.17-21)
407. Huddled Masses and Uncertain Shores-Insights into Irregular Migration(Bimal Ghosh著)にみる不法移住の現状と対策(その2) / 山神進, Ghosh Bimal (p.42-45)

国際問題 [467](1999.02)

特集：クリントン政権の諸相

408. アメリカ大統領の犯罪と弾劾裁判 / 大沢秀介 (p.51-65)

国民生活研究 [38-4](1999.03)

409. 少子高齢社会における雇用のあり方について / 岡朋史 (p.22-38)

こころの科学 [83](1999.01)

410. 思春期の「呪い」を解く鍵としての母親面接：『ねじまき鳥クロニクル』にみる心理療法の過程 / 岩宮恵子 (p.2-8)

特集：心理療法における支持

411. 発達障害児の親へのサポート / 高橋梢 (p.36-40)
412. 中年期の臨床における支持 / 勝俣美香子, 荒井稔 (p.49-53)
413. ルポ・ニッポン人 3：ある虐待の背景 / 林雅行 (p.106-112)
414. 母性愛神話を問い直す 7：母親の就労を憂う世論を憂う / 大日向雅美 (p.128-135)

子ども家庭福祉情報 [14](1998.12)

特集：少子社会をめぐる

415. 少子化と将来人口予測 / 高橋重郷 (p.4-10)
416. 独身者の結婚観 / 千賀悠子, 宮原忍 (p.11-20)
417. 出生をめぐる問題 / 高野陽, 加藤忠明, 齊藤幸子 (p.21-26)
418. 子育て支援策の効果 / 浅子和美, 金子能宏 (p.27-30)
419. 西欧諸国の家族政策からみた育児支援対策 / 白波瀬佐和子 (p.31-36)
420. 各国の雇用システムと少子化問題 / 井口靖 (p.37-40)
421. 少子社会と子どもの世界 / 繁多進 (p.41-44)
422. 少子社会と子育て支援：子育てに伴う不安・心配への

対処 / 中村敬 (p.45-52)

423. 少子社会と子どもの育ち：子どもが育ち合う地域を再構築する / 森田明美 (p.58-61)
424. 人口動態統計からみた少子現象 / 佐伯則英 (p.62-69)
425. 厚生省の取り組み：健やかに子どもを生ま育てる環境づくり / 才村純 (p.70-74)
426. 文部省の取り組み：子どもを産み育てることに夢を育てる学校・地域・家庭 / 清水明 (p.75-78)
427. 労働省の取り組み：子育てと仕事の両立支援 / 盛谷幸一郎 (p.79-84)
428. 建設省の取り組み：安心して子どもを産み育てられる家庭・社会の環境づくり / 門口毅士 (p.85-89)
429. 地方自治体の取り組み：「地方版エンゼルプラン」策定の現状と課題 / 山本真実 (p.90-95)
430. 児童育成計画策定指針 (p.96-101)
431. 厚生省「心身障害研究」から：「少子化についての専門的研究」初年度総括報告 / 平山宗宏 (p.102-105)
432. 創設された「子育て支援基金」：平成10年度助成事業決まる / 田中誠 (p.106-109)

子どものしあわせ [569](1999.01)

特集：話してますか?わが家のお金

433. 子どもとおとなのお年玉事情 (p.26-29)

子どものしあわせ [570](1999.02)

434. やればできる!! 教育委員会の活性化 / 若林ひとみ (p.38-43)

子どものしあわせ [571](1999.03)

435. 地球の上で子どもとおとなが... 第52回：インド発 働く子どものメッセージ 2：今はほかの人のことも考えられるようになった / 森洋子 (p.58-61)

子どもの文化 [31-3](1999.03)

特集：これからどうなる? 保育園

436. 21世紀の保育・幼児教育をどのようにデザインするか(上) / 加藤繁美 (p.2-10)
437. 各地からの文化発信：甘木からの文化発信：市民による「甘木子ども文化プラン」づくり / 窪田貴子 (p.30-37)

こども未来 [328](1999.01)

438. 地方からの報告：未就園児の子育てを支援：公立保育所で子育てサロンを開設 (p.26-28)
439. 女性の視座：日常生活のなかで夫婦が自然に語り合うべき問題 / 鈴木静子 (p.38-43)

こども未来 [329](1999.02)

440. 女性の視座：家事も育児も男女共同参画を / 川口順子 (p.3)
441. 児童福祉法改正から間もなく1年：保育所改革はどう進んでいるのか (p.4-9)
442. 男の子育て体験記：愛に満ちあふれる人間になって：話し合い、許し合い、受け入れ合う家庭から / 川崎麻世 (p.15)
443. 地方からの報告：子育て自主グループ広域ネットワー

クに形成促進事業：子育てネットワークに県が助成
(p.26-27)

444. 「夢ある家庭づくりや子育てができる社会を築くために(提言)」：首相主宰による「少子化への対応を考ふる有識者会議」の提言骨子 (p.28-29)

こども未来 [330](1999.03)

445. 女性の視座：大人が生き生きしていれば子どもものびのび育っていくはず / 中嶋邦 (p.30-37)
446. こども未来財団が調査：中小企業の子育て支援と社員ニーズを探る / 網野武博 (p.4-13)
447. 地方からの報告：多彩なニーズに応えるなかでさまざまな新規事業が生まれる：東京都府中市 (p.26-28)

自然と人間を結ぶ：農村文化運動 [136](1999.01)
特集：いま、時代はどこに向かおうとしているのか：農村空間がリードする時代の大転換

448. 農村空間の役割の根本的見直し：高齢社会とは何か (p.5-14)
449. 農村空間の役割の根本的見直し：新しい暮らしとの中の社会像 (p.15-28)
450. 農村空間の役割の根本的見直し：農業技術の転換の意味するもの (p.38-45)

思想 [896](1999.02)

451. 情動にかかわる労働 / Hardt Michael, 三輪聡 (p.16-27)

思想 [897](1999.03)

特集：ポストコロナリズムと文学

452. エレン・ディーンの亡霊 / 西成彦 (p.4-20)
453. 帝国の中の『ジェーン・エア』：ジェーンの主体と非ヨーロッパ的他者 / 正木恒夫 (p.21-36)
454. 対談：ポストコロナリズムとは何か / 姜尚中, 岡真里 (p.75-93)

自治研究 [75-1](1999.01)

455. 社会教育を超える生涯学習の振興(上) / 山崎征男 (p.51-65)

自治研究 [75-2](1999.02)

456. 社会教育を超える生涯学習の振興(下) / 山崎征男 (p.21-34)

視聴覚資料 [53-2](1999.02)

特集：メディアリテラシー論の方向

457. 番組制作者から見たメディアリテラシーの方向性 / 市川克美 (p.12-14)

児童心理 [53-1](1999.01)

特集：グズな子・せっかちな子

458. くずれた人生の時間割と子どもの発達：ポスト・モラトリアム世代を中心に / 加藤隆雄 (p.22-26)
459. 「はやく～しなさい」をなくせるか / 野口桂子 (p.98-102)
460. 生活にリズムのある家庭 / 高橋保子 (p.103-106)
461. グズな親・せっかちな親の影響 / 小宮山潔子 (p.107-

111)

462. テレビゲームは子どもの心にどう影響するか 1：テレビゲームをめぐる社会現象 / 坂元章 (p.112-120)

463. アドラー心理学に学ぶ：自分を好きといえる子に育てる20の知恵 1：子どもが自分を好きになれない理由 / 星一郎 (p.122-128)

児童心理 [53-2](1999.02)

特集：自立した子に育てる

464. 日本の同調社会の中の自立とは：「世間」をどう考えるか / 林理 (p.11-17)
465. 子どもの自立を妨げる親・教師 / 杉原一昭 (p.18-24)
466. 自立心を育てる友だち関係 / 石崎一記 (p.25-30)
467. 「よい子」と自立：児童精神科医の立場から / 上林靖子 (p.32-36)
468. 親の子離れ：「ひとりっ子化」する子育て / 中野由美子 (p.37-41)
469. お金と時間の使い方をどう身につけるか：ほんとうの「自由」のために / 加古明子 (p.48-53)
470. 子どもの意欲を尊重する親 / 吉田哲 (p.88-93)
471. 料理・洗濯・掃除をどう教えるか：お手伝いは子どもの成長に役立つ / 波多野ミキ (p.94-99)

472. テレビゲームは子どもの心にどう影響するか 2：テレビゲームは暴力性を高めるか / 坂元章 (p.105-112)

473. アドラー心理学に学ぶ：自分を好きといえる子に育てる20の知恵 2：他者を信頼するという事 / 星一郎 (p.119-125)

児童心理 [53-3](1999.03)

特集：思春期のゆらぎと危機：どう行動を理解し対応するか

474. 子どもたちは何にいらだっているか：思春期と現代社会 / 町沢静夫 (p.2-14)
475. 「新しい子ども」たちの登場は共通認識になったか / 河上亮一 (p.15-22)
476. 「心の教育」は思春期の子どもたちを救えるか / 深谷和子 (p.23-30)
477. コンビニ、ポケベル、テレクラ、援助交際にみる心のゆらぎ / 岸良範 (p.31-40)
478. 「迷惑をかけなければいいだろう」をどう考えるか：迷惑をかけずに生きている人はいない / 江幡玲子 (p.41-48)
479. 思春期に起こりやすいからだ心の危機 / 石川悦子 (p.49-56)
480. 子どもの心の葛藤とつきあうには / 安福純子 (p.57-64)
481. 子どもの日常を親・教師はどこまで把握していればよいか / 藪添隆一 (p.65-71)
482. ナイフを持つ子をどう指導するか / 半田一郎 (p.72-77)
483. 引きこもり、家庭内暴力にどう対応するか / 北村洋子 (p.78-83)
484. ドラッグに手を出す子どもたち：薬物乱用防止教育の大切さ / 原田幸男 (p.84-89)
485. 集団の心理が、つい子どもにさせること：暴走、いじめ、たかり、万引き / 清永賢二 (p.90-95)

486. 子ども・家庭・学校：親の子育ての力を取り戻そう / 浅川道雄 (p.140-145)
 487. 子どもを一人前として扱うことの大切さ / 小澤理恵子 (p.146-151)

児童心理 [53-4] (1999.03)

特集：あきっぱい子・ねばり強い子

488. 子どもの成長と「気まぐれ」 / 氏家達夫 (p.9-14)
 489. なぜ、あきっぱい子が問題にされるのか / 門脇厚司 (p.15-20)
 490. すぐ投げ出す子の心にひそむもの：ストレスと疲れ / 長根光男 (p.21-26)
 491. ねばり強い子の問題点 / 大河原美以 (p.27-32)
 492. 飽きる脳・飽きない脳 / 大島清 (p.34-38)
 493. ねばり強さの身体論 / 齋藤孝 (p.39-43)
 494. なげやりにならない子に育てる / 小林厚子 (p.44-48)
 495. 家庭学習の習慣づくり / 栗原清子 (p.90-95)
 496. カウンセラーのねばり強さ：子どもの成長力への信頼 / 浅岡鏡子 (p.106-110)

497. テレビゲームは子どもの心にどう影響するか 3：テレビゲームは社会的不適応を招くか / 坂元章 (p.111-118)
 498. アドラー心理学に学ぶ：自分を好きといえる子に育てる20の知恵 3：“ジコチュウ”をどう退治するか / 星一郎 (p.119-125)

社会運動 [226] (1999.01)

499. 第三世界ネットワーク通信：労働者を苦しめる労働市場の規制緩和 / Raghava Chacrarvarthi ; 池田真里訳 (p.68-70)
 500. 市民セクターを広げるペイドワーク「市民シンクタンクひと・まち社」設立 / 池田敦子 (p.74)
 501. 「既婚女性の生活に関する意識調査」結果報告 / 窪籠子 (p.77-80)

社会運動 [227] (1999.02)

502. 代理人運動：東京・生活者ネットワーク：若者たちとの「政策ゼミ」を終えて / 古川佳子 (p.44)
 503. 代理人運動：神奈川ネットワーク運動：新ネットづくりは3人から / 山下貴子 (p.45)
 504. 代理人運動：ふくおかネットワーク：全候補当選に向けて / 外井京子 (p.46)

社会教育 [631] (1999.01)

特集：国際高齢者年

505. 高齢社会と生涯学習 / 野島正也 (p.8-10)
 506. エイジングの理解と生活設計 / 直井道子 (p.12-14)
 507. 高齢者こそ危機管理学習を：ライフパニック学習の必要性 / 渡辺博史 (p.16-19)
 508. 高齢者の学習プログラムへの提案：「自分を知るチェックリストづくり」をととして / 白倉登貴男 (p.20-24)
 509. 生涯学習と国際高齢者年 / 馬場祐次朗 (p.30-32)
 510. 国際高齢者年関連情報：国連・日本・民間NGO、それぞれの動き (p.33-35)

511. 少子・高齢社会を考える：21世紀人口減少社会へ向けた、個の生き方・社会のあり方：少子・高齢日本における、個の自立を考える / 河野真理子 (p.39-43)

社会教育 [632] (1999.02)

特集：ユネスコの生涯学習論

512. ユネスコの生涯学習：ハンブルク国際成人教育会議とその発展的課題 / 山本慶裕 (p.6-10)
 513. テーマ1：成人学習と市民参加 / 岩槻知也 (p.12-13)
 514. テーマ4：成人学習、ジェンダーの平等と均等、女性のエンパワーメント / 鬼頭尚子 (p.18-19)
 515. OECDの万人のための生涯学習戦略 / 澤野由紀子 (p.34-37)

516. 少子・高齢社会を考える 2：ライフサイクルの変化に伴うライフコース・ライフスタイルの変化を探る：21世紀に生きる“個”を考える / 河野真理子 (p.52-53)

社会教育 [633] (1999.03)

特集：公民館の21世紀モデル

517. 広域事業としての人材登録制度について / 西尾征樹 (p.42-44)

518. 少子・高齢社会を考える 3：ライフサイクルの変化に伴うライフコース・ライフスタイルの変化を探る 3：21世紀を動かす『女性』の生き方を直視する / 河野真理子 (p.49-51)

519. 生涯学習プログラムの研究 79：「混ぜればゴミ、分ければ資源」に取り組む婦人会：愛知県内各地にみる環境・高齢化問題などの活動 / 岡本包治 (p.54-57)

社会福祉研究 [74] (1999.04)

520. NPOと高齢者ケアシステム / 山本啓 (p.2-9)

特集：新たな障害者福祉の焦点

521. 障害者福祉を支える理念：社会変革としてのノーマライゼーション / Bengt Nirje ; ハンソン友子訳 (p.12-18)
 522. 「障害者」の権利擁護システム構築の課題 / 大石剛一郎 (p.27-34)
 523. 障害当事者の役割とコンシューマーコントロール：障害当事者主導のサービスと本人自立支援計画：北野誠一 (p.35-44)

524. 生活クラブ生協・神奈川の「分権化」で誕生した福祉専門生協：福祉クラブ生協の10年、地域福祉システムをワーカーズ・コレクティブと共に / 小川泰子 (p.76-81)

525. ソーシャルワーク実践としての高齢者虐待研究の意義 / 山口光治 (p.82-89)

526. 社会福祉論・ソーシャルワーク論の再構築への視野 / 米本秀仁 (p.96-102)

周産期医学 [29-1] (1999.01)

特集：新生児の扱い方

527. 母子異室管理：とくに母親のこころの問題 / 佐久本薫, 正本仁, 金澤浩二 (p.41-45)

528. 母児同室での管理と問題点 / 川上義 (p.47-50)

529. 母親の生活行動パターンにみる低出生体重児出産の現状 / 谷口初美[ほか] (p.121-125)

周産期医学 [29-2] (1999.02)

特集：産科緊急症：妊産婦死亡防止のために

530. 妊産婦死亡の変遷とその内容 / 本多洋 (p.145-150)

531. 妊産婦死亡と医事紛争 / 山口光哉 (p.225-228)

周産期医学 [29-3] (1999.03)

特集：奇形胎児と分娩室での早期チェック

532. 奇形胎児分娩後の両親・家族へのケア / 野村紀子 (p.361-364)

ジュリスト [1148] (1999.01)

特集：刑事訴訟法五〇年

533. 被害者保護、手続参加、損害の回復 / 椎橋隆幸 (p.255-259)

534. 性的性向に基づく差別から同性愛者を保護することを禁止とするコロラド州憲法の修正二と第一四修正の平等保護条項 / 紙谷雅子 (p.333-336)

535. 不倫相手を保険金受取人に指定することの公序良俗違反性 / 森田果 (p.348-351)

ジュリスト [1149] (1999.02)

特集：揺らぐ雇用：分析と対策

536. 日本の失業率の特色と今後の展望 / 成瀬健夫 (p.15-18)

537. 海外の雇用・失業情勢について / 鈴木宏昌 (p.23-29)

538. 企業のリストラクチャリングの現状と課題：雇用システムの変化と間接部門の効率化 / 佐藤博樹 (p.30-37)

539. 職業安定行政の取組み(1)：公共職業紹介安定所における職業紹介等について / 梶田洋二 (p.38-43)

ジュリスト [1150] (1999.02)

540. 海外法律情報：スウェーデン：児童ポルノの規制強化 / 木下淑恵 (p.5)

541. 男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり (男女共同参画審議会答申)について / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.6)

542. 男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的上位条件づくり(答申) (p.7-8)

543. 環境型セクシュアル・ハラスメントにおける使用者責任と職場環境配慮義務：三重セクシュアル・ハラスメント(厚生農協連合会)事件 / 小西康之 (p.125-127)

ジュリスト [1151] (1999.03)

544. 人工生殖と親子 / 野村豊弘 (p.2)

545. 海外法律情報：韓国：争点法案を与党が単独採決 / 三浦照敏 (p.7)

546. 海外判例研究：いわゆる婚姻の届出意思の準拠法 / 神前禎 (p.137-140)

ジュリスト [1152] (1999.03)

547. 海外法律時報：スウェーデン：強制不妊手術事件と補償問題 / 菱木昭八朗 (p.7)

特集：少年法改正：非行事実認定の適正化

548. 少年審判と被害者の地位 / 瀬川晃 (p.94-99)

生涯フォーラム [1188] (1999.03)

549. 65歳現役社会にむけて：問題点を絞り込む国際研究討議：よこはま21世紀フォーラムから / 岡真人 (p.14-17)

小児保健研究 [58-1] (1999.01)

550. 乳幼児をもつ母親の健康管理に関する研究(1)：疲労スコアの日内変動に及ぼす母親の生活実態について / 前橋明[ほか] (p.30-36)

551. 小児気管支喘息児および家族への支援に関する検討：初めて母親が病名を告げられたとき / 結城瑛子[ほか] (p.37-42)

552. 家族機能と幼児の行動および父母の育児問題 / 和田紀子 (p.49-57)

553. SIDS (乳幼児突然死症候群)に関する意識調査 / 阿部世紀[ほか] (p.58-64)

554. 在日外国人母子保健研究の分析：1986年から1996年の文献調査結果から / 小川久貴子[ほか] (p.71-87)

助産婦 [53-1] (1999.02)

特集：女性の健康と助産婦

555. 女のからだは私のもの / 赤松彰子 (p.6-9)

556. 人工妊娠中絶のカウンセリングを通して / 長谷瑠美子 (p.10-12)

557. 思春期教育を通して / 番内和枝 (p.18-22)

558. 出産と母乳育児を通じて / 斉藤悦子 (p.23-27)

559. 1998年全国有床助産所調査結果報告 / 白井千晶 (p.40-45)

560. 児童虐待に関する産科勤務看護職の認識 / 平田伸子[ほか] (p.56-61)

女性学 [6] (1998.11)

特集：教育の場からジェンダーを問う

561. 学校におけるジェンダー・フリー教育と女性学 / 館かおる (p.8-29)

562. ジェンダーを再生産する文学教材：自我形成期の子どもたちが読み取るもの / 森本エリ子 (p.30-45)

563. 「ジェンダー」が市民権を得るまで：性教育の多様化からスタートして / 太田ふみ子 (p.46-57)

564. 男女共学の内実と男女平等教育：公立高校の現場から / 賀谷恵美子 (p.58-70)

565. 専門教育科目としての女性学：大阪女子大学の場合 / 萩原弘子, 船橋邦子 (p.71-81)

566. 女性学の「周辺」からの「女性学」再考：日本の女性学の次なるステージへ / 金井淑子 (p.82-92)

567. 敗戦直後の新聞にみる「女性参政」：ディスコースとジェンダー / 斉藤正美 (p.94-115)

568. 「女性の特性」を生かした労働と技術革新：第二次大戦期のアメリカ合衆国における女性労働と技術をめぐって / 佐藤千登勢 (p.116-134)

569. ことばとジェンダーと権力の関わりに迫る：言語とジェンダー研究の到達点 / 湯川純幸 (p.135-160)

570. パレスチナにおける女性団体の現状 / 小林利子 (p.161-164)

571. 渡辺みえこ『女のいない死の楽園 供犠の身体・三島由紀夫』 / 北田幸恵 (p.165-168)

女性行政情報 [10-5](1998.12)

国の動き

572. 男女共同参画審議会答申「男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり」について (p.1-12)

573. 男女共同参画審議会女性に対する暴力部会の間とりまとめ (p.13-16)

574. 国の審議会における女性委員の参画状況調べ / 総理府 (p.17-23)

575. 平成10年度学校基本調査速報(高等教育機関)卒業後の状況調査の概要 / 文部省 (p.24-25)

576. 平成10年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査について / 文部省 (p.26-33)

577. 平成9年度における一般職の国家公務員の育児休業等実態調査結果 / 人事院 (p.47)

地方公共団体の動き

578. 女性に関する行動計画等 (p.48)

579. 女性のための「企業ハンドブック」発行 / 兵庫県 (p.56)

580. 和歌山県女性センター(愛称:りいぶる)設置 / 和歌山県 (p.56-57)

581. 「広島県男女共同参画推進本部」設置 / 広島県 (p.57-58)

女性行政情報 [10-6](1999.02)

国の動き

582. 「農村女性等に関する省内検討プロジェクトチーム報告書：アグリウェルカムプラン」 / 農林水産省 (p.1-14)

583. 平成10年版働く女性の実状 / 労働省 (p.15-42)

地方公共団体の動き

584. 女性に関する行動計画等 (p.43)

585. 女性に関する調査 (p.44-45)

586. 女性2000年会議について / 総理府 (p.48-50)

587. 女性2000年会議日本国内委員会第1回会合について / 総理府 (p.51-54)

588. 第20回女子差別撤廃委員会の概要 / 外務省 (p.55)

女性教養 [555](1999.01)

589. 生殖医療技術とジェンダー / 柘植あづみ (p.3-6)

590. シネマ女性学：『宋家の三姉妹』：中国近代史を動かした女性たち / 松本侑壬子 (p.7)

591. 活動情報 1：女性の中からだと生殖に関するからだ性の法律をつくる女の会：女性の自己決定権の確立を目指して / 三輪和恵 (p.8-9)

592. 活動情報 2：知っていますか?自分のからだ：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ：'98(財)東京女性財団女性問題総合講座(前期) / 熊沢知子 (p.10-11)

593. このひと：兼間道子さん「日本ケアシステム協会」会

長 / 兼間道子 (p.13)

594. きょうのキーワード：代理母 (p.13)

女性教養 [556](1999.02)

595. 女性と税・年金 / 山崎久民 (p.3-6)

596. シネマ女性学：『恋の秋』：女の友情と恋の企み / 松本侑壬子 (p.7)

597. 活動情報 1：女性農業者グループ「リメイク・ノーン」の歩んできた道 / 戸沢清美 (p.8-9)

598. 活動情報 2：女性の社会参画とエンパワメントを目指して：「江の島塾」BENTEN / 鈴木直子 (p.10-11)

599. このひと：斉藤陽子さん「女性と政治を考える会」代表 / 斉藤陽子 (p.13)

600. きょうのキーワード：第3被保険者制度 (p.13)

女性教養 [557](1999.03)

601. 活動報告 1：学校におけるセクシュアル・ハラスメント防止への取組：性暴力・性的いじめを考える会《くぐるーぶSTEM》 / 副田由理子 (p.8-9)

602. 活動報告 2：「ソーレ」はじまるフェスタ：こうち女性総合センターオープニングスタッフ会議の活動 / 溝渕栄子 (p.10-11)

603. こ・の・ひ・と：坂井正子さん「段々社」代表 (p.13)

604. きょうのキーワード：裁量労働制 (p.13)

女性と年少者 [279](1998.12)

605. 改正男女雇用機会均等法等の指針の解説 3 / 労働省女性局女性政策課 (p.9-13)

606. 改正男女雇用機会均等法等に関するQ&A / 労働省女性局女性政策課 (p.13-16)

607. 労働基準法の一部を改正する法律の概要について / 労働省基準局監督課 (p.17-20)

608. 子育てネットワークを立ち上げて / 菊池靖子 (p.27-28)

609. APEC女性問題担当大臣会合開催される / 労働省女性局女性政策課 (p.29)

610. オスロOECD女性会合 / 中原正裕 (p.30-31)

611. 市民的及び政治的権利に関する国際規約(B規約)日本政府報告書審査の概要 / 労働省女性局女性政策課 (p.32)

612. 女性の地位向上セミナー：開発途上国からやってきた12名の女性たち / 古谷典子 (p.33-36)

女性と労働21 [7-27](1999.01)

特集：シンポジウム99年「女性と労働」ビッグバン!

613. 労働分野の「規制緩和」は女性に何をもたらすか? / 大森真紀 (p.7-10)

614. 男女平等へ：改正均等法・労基法のポイントとこれから / 林陽子 (p.10-13)

615. 労働者派遣の自由化と女性労働 / 中野麻美 (p.13-18)

616. 「少子化スパイラル」を加速しかねない社会保障構造改革 / 大沢真理 (p.18-22)

617. 男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり(答申) / 岩尾壽美子 (p.48-54)

618. 男女共同参画の現状と施策：男女共同参画2000年プラ

- ンに関する報告書・概要 / 総理府 (p.55-78)
619. 今後の労働市場法制の在り方について(概要) / 雇用法研究会 (p.79-82)
620. 年金制度改正案(平成11年) / 厚生省年金局 (p.83-102)
621. 第86回ILO総会採択: 労働における基本的原則及び権利に関する宣言 (p.103-106)
622. 第86回ILO総会採択: 中小企業における雇用創出のための一般条件に関する勧告 (p.106-113)
623. 国際高齢者年に向けた取組 / 総務庁 (p.114-115)
624. 米国三菱自動車製造セクシュアル・ハラスメント訴訟の決着 (p.116-117)

女性の地位情報 [37] (1998.12)

625. 「平成8年度女性雇用管理基本調査」結果概要について (p.1-11)
626. 「情報通信機器の活用による在宅就業実態調査」結果報告及び「在宅就労問題研究会」の開催について (p.12-24)
627. 「改正男女雇用機会均等法の施行に向けて: 求人広告作成上の留意点」について (p.25-32)
628. 女性の時間外・休日労働、深夜業の規制の解消に伴う留意点について (p.32-38)
629. 介護休業制度等の義務化について (p.38-40)
630. 2020テレフォン事業実施地域の拡大と内容の充実について (p.41-42)
631. パートタイム労働に係る雇用管理研究会の開催について (p.43-44)
632. 国の審議会等における女性委員の参画状況調べについて / 総理府 (p.45-48)
633. 第42回国連婦人の地位委員会について (p.49-51)

女性のひろば [239] (1999.01)

634. 男女共同参画社会基本法をどうみる: 平等実現の願いにこたえる基本法に / 望月康子 (p.44-47)
635. インタビュー: 大空に飛びだす生物学者・黒谷明美さん (p.40-43)

女性労働研究 [35] (1999.01)

636. 均等法・労基法改正をうけて: 「雇用平等・男女共通規制」構築のフレームワーク / 中島通子 (p.4-9)

特集: 二一世紀の女性労働をどう築くか

637. 新福祉国家戦略と女性の位置 / 後藤道夫 (p.10-15)
638. 労働市場における規制緩和と女性労働の行方 / 高橋祐吉 (p.16-21)
639. 多様化する女性の裁判 / 黒岩容子 (p.22-27)
640. 労働者の団結の仕方・考え方: ジェンダーを超えて / 前澤檀 (p.28-33)
641. 児童手当制度の発展と家族賃金 / 北明美 (p.34-39)

特集: これから働く女性たちへのメッセージ

642. 今様、女性の就職事情 / 福沢恵子 (p.40-44)
643. 職場の中で今、女性たちは / 秋葉ふきこ (p.45-49)
644. 茶髪のまま働きたい: 若い女性の転職状況 / 坪井洋子 (p.50-54)

645. インタビュー: ある女性出版労働者の歩み: 人と出会い、本と出会う / 高林寛子, 山下由記 (p.55-60)
646. 高齢社会における貧困と女性 / 首藤若菜 (p.61-67)
647. 総理府男女共同参画審議会答申「男女共同参画社会基本法について」を読んで / 吉岡睦子 (p.68-70)
648. 第十三回女性労働セミナーの報告 / 川島美保 (p.71-74)
649. 国際シンポジウム男女平等の国際基準 / 木下武男 (p.75)
650. 「福利厚生制度」という名のリストラ政策 / 山本初枝 (p.79-81)
651. 協栄テックス・パート訴訟 / 鈴木信幸 (p.82)
652. 男女差別と解雇撤回をたたかって / 宮成友恵 (p.83)
653. 非営利・自主管理の銀行をつくる / 向田映子 (p.84)
654. 写真とジェンダー: 感性という罫の中で / 三橋純子 (p.85-86)

人口問題研究 [54-1] (1998.03)

特集: 第2回厚生政策セミナー「少子化時代を考える」

655. イギリスにおける親になることと家族生活 / Kiernan Kathleen E (p.7-23)
656. ヨーロッパ連合EU15ヶ国の人口置換水準以下の出生力: 1960~1997年の動向と政策 / Chesnais Jean-Claude (p.24-40)
657. 出生率低下: 誰の問題か? / 上野千鶴子 (p.41-62)
658. 少子化の経済的要因とその対応 / 八代尚宏 (p.63-76)

659. 家族政策及び労働政策が出生率及び人口に及ぼす影響に関する研究 その2: 出生力変動モデル構築のための基礎研究 / 大淵寛[ほか] (p.88-119)

人口問題研究 [54-2] (1998.06)

660. 家族政策及び労働政策が出生率及び人口に及ぼす影響に関する研究 その3 - 完: 少子化現象のジェンダー論: 性役割分業社会とリプロダクティブ・ライツ / 目黒依子 (p.1-12)
661. 平成2年と平成7年の国勢調査資料に基づく15歳以下の多胎児数の推計 / 今泉洋子 (p.13-35)
662. 結婚の生命表: 1990, 95年 / 金子武治, 白石紀子 (p.36-45)
663. 第11回出生動向基本調査: 結婚と出産に関する全国調査: 夫婦調査の結果概要 / 高橋重郷[ほか] (p.46-74)

人文学研究所報 [32] (1999.03)

664. イーディス・ウォートンの異端者たち: 『歓楽の家』『無垢の時代』『夏』を中心に / 山口ヨシ子 (p.23-31)

スウェーデン社会研究月報 [308] (1999.01)

665. シリーズ エレン・ケイ(3): エレン・ケイ『児童の世紀』から100年 / 荒井冽 (p.17-18)

スポーツと健康 [31-1] (1999.01)

特集: 食に関する現代的課題と学校給食

666. 家庭の食生活構造の変化と学校給食の課題 / 高山英男 (p.15-18)
667. 児童生徒の食生活実態調査について / 文部省体育局学校健康教育課, 金田雅代 (p.19-26)

生活研究 [30-3] (1999.01)

特集：今急がれる「男女共同参画社会」の実現

668. 総論・男女共同参画社会制度作りへの歩みと現況 / 横田一利 (p.2-5)
669. 家庭生活における「男女共同参画」の実現：パートナーシップ調査から / 天野寛子 (p.6-8)
670. 農村地域における「女性参画」の現状と課題：女性特有の感性と生活者の視点で創造性を発揮 / 田中照良 (p.8-9)
671. 女性の参画促進に男性の意識改革を：鹿児島県きらめくパートナー塾・いきいきサポート講座 / 加藤美代子 (p.10-11)
672. 平成11年度農山漁村男女共同参画関係予算の概要 (p.18)

生活の設計 [200] (1999.02)

673. 「男らしさ」「女らしさ」の意識が変わる? / 山田尚子 (p.30-36)

青少年問題 [46-1] (1999.01)

674. 日本人の人間関係にみられる特徴と変容 / 門脇厚司 (p.4-9)
675. 「グループ化」とその行方：小・中学生の友人関係の特質と問題点 / 坂口理佳 (p.16-21)
676. 少年非行の動向：平成十年版犯罪白書から / 立谷隆司 (p.36-42)
677. 男と女の新時代：青年男女の共同参画セミナーを実施して / 伊藤隆 (p.43-49)

青少年問題 [46-2] (1999.02)

678. 「男女共同参画社会基本法について：男女共同参画社会を形成するための基礎的条件づくり」(答申)について(概要) / 内閣総理大臣官房男女共同参画室 (p.4-8)
679. 男女共同参画と日本社会の展望 / 利谷信義 (p.9-15)
680. 若い世代の脱性役割：小さなデモクラシーの実現へ / 渡邊恵子 (p.16-23)
681. 「男らしさ」と「男性問題」 / 多賀太 (p.24-29)
682. 「東京二世紀カレッジ」：「出会い」と「関係」を創る講座 / 板本洋子 (p.30-36)
683. 男女共生参画社会に向けて、学校が今できること：ジェンダー・バイアス・フリーな教育 / 森本リエ子 (p.37-43)

青少年問題 [46-3] (1999.03)

684. 青少年をめぐる問題の現状と対応の基本的方向：平成十年版青少年白書から / 総務庁青少年対策本部 (p.4-12)
685. 非行と家庭 / 村松励 (p.20-25)
686. 被害少年対策について / 池田泰昭 (p.44-49)
687. 親代わりをするアメリカの祖父母 / 黒川憲 (p.50-53)

性と生の教育 [20] (1999.01)

特集：「恋愛学習」のすすめ

688. 恋愛の社会学：「性=人格」主義教育は人畜「有害」だ / 宮台真司 (p.14-17)
689. 援助交際・不倫・セックスレスの根源にあるもの / 速

水由紀子 (p.18-21)

690. ジェンダーフリーだけでは語れない恋愛論 / 宮淑子 (p.22-25)
691. 「結婚」は恋愛のゴールなのか? / 伊藤悟 (p.26-29)
692. 二一世紀、恋愛の行方 / 大島清 (p.52-55)
693. インタビュー：運命的な出会い、究極的な恋愛にあこがれる心性と背景は? / 香山リカ (p.84-89)
694. 性のグラデーション：人間の九つの性と「性の自己診断」 / 橋本秀雄 (p.93-92)
695. 病める人々のセクシュアリティ 8：産まない選択をどう教えるか / 宮子あずさ (p.100-101)
696. 「子どもの権利条約」の応用問題：国連・子どもの権利委員会のHIV・エイズ勧告 / 平野裕二 (p.102-103)
697. 性の文化・教育 - ほかの国では 17：ボンジュラス：シングルマザーのニニエラ / 伊藤秀子 (p.106-107)
698. 最新エイズ情報 18：エイズ学習のススメ：米国の高校生の性行動 / 桜井賢樹 (p.109-108)
699. クリントン大統領の情事が問いかけるもの：もし日本で起これば? / 山本直英 (p.110-111)

性と生の教育 [21] (1999.03)

特集：自慰の人間学：山本宣治生誕110年記念

700. アクティビスト<山宣>は性教育のバイオニアでもあった：その豊饒の遺産を継ぐ至上の喜び / 山本直英 (p.14-17)
701. ひたむきなセクソロジスト：山本宣治と高橋織 / 鈴木敏文 (p.20-23)
702. これからの性教育と「山宣性学」の遺産 / 小田切明德 (p.24-27)
703. 自慰の小文化史：この国には、これほど豊かな性文化があったのだ! / 松沢呉一 (p.38-41)
704. この純粹なる快楽をどう教えるのか：女子編・男子編 / 安日泰子 / 北村邦夫 (p.49-42)
705. 現場からの提言&レポート：ここで正面から議論しよう、施設生活者の自慰 / 今岡清広 (p.54-57)
706. おちんちんの「秘密」をひらく / 西井朱美 (p.62-65)
707. マスターベーション・ファンタジー / 杉山貴士 (p.66-71)
708. 自慰 - それは自立へのステップ / 竹内未希代 (p.72-77)
709. 戦争と女性：20世紀の記憶：私は「汚れた女」じゃない / 西野瑠美子 (p.98-99)
710. 病む人のセクシュアリティ 9：女性患者さんの月経に思う / 宮子あずさ (p.106-107)
711. 性のグラデーション 2：性器の形態だけを優先させた治療は有害 / 橋本秀雄 (p.109-108)

世界 [659] (1999.03)

特集：波綻回避のための年金改革論

712. 少子化の中の社会保障制度 / 前田正子 (p.82-89)
713. 国民年金第三号被保険者問題とは何か / 塩田咲子 (p.90-97)
714. 介護保険と社会保障のリストラ / 伊藤周平 (p.111-124)

715. 犯罪と社会：犯罪被害者の公的補償はなぜ必要か / 渋谷登美子 (p.133-144)
716. イスラム現代社会：ヘジャブと水着：イスラム女性とスポーツ / 大須賀純 (p.180-189)
717. NPOと政府は「パートナー」になれるか? / 服部篤, 待場智雄 (p.218-219)
718. 世間のからくり：「オヤジ的なもの」 / 斎藤美奈子 (p.224-225)
719. 続・死語ノート 3 / 小林信彦 (p.318-324)

世界と人口 [298] (1999.01)

720. 過去最大の若者世代：性教育の普及が緊急課題に / 西内正彦 (p.10-12)
721. メキシコの視察から：学校・地域に見る性教育事情 / 永峰好美 (p.13-15)
722. 国際家族計画連盟事務局長インガー・ブリュッゲマン氏 / インガー・ブリュッゲマン (p.20-22)
723. アジア思春期保健シリーズ 1：フィリピンでフォト・コンテスト (p.28-31)

世界と人口 [299] (1999.02)

724. 思春期保健シリーズ3部作完成：ニタの不安(早婚)、リンの不安(望まない妊娠)、スザンナの不安(十代の出産) / 勝部まゆみ (p.6-12)
725. パキスタンに「加藤女性センター」建設 (p.13)
726. メキシコの視察から 2：男らしさを考えさせられた旅 / 石塚雅彦 (p.21-23)
727. メキシコの視察から 3：リプロダクティブ・ヘルスへの問題意識 / 川原木起夫 (p.24-26)
728. アジアの思春期保健シリーズ 3：ネパールでフォト・コンテスト (p.32-33)
729. インターネットでみる海外人口事情 2：タイ王国の最近の人口動向 / 大友篤 (p.34-41)

世界の労働 [49-2] (1999.02)

730. ILO：1998-99年「世界雇用報告」：訓練がいかに重要か / 木村澄 (p.22-28)
731. “労働界で初”電機連合の全国ネットワークによる“メンタルヘルス” / 直理勝也 (p.58-59)

世界の労働 [49-3] (1999.03)

732. 主要国の年金制度の概要 第6回：スウェーデン：スウェーデンの年金制度 / 竹崎孜 (p.10-16)
733. ILOの産別活動(第9回)：金融業 / メディア産業, 大間知久美子 (p.18-22)
734. 海外トピックス 第193回：海外進出企業におけるセクハラ対策の現状：セクハラ・アンケート調査結果から / 奥崎喜久男 (p.24-27)

総合ジャーナリズム研究 [36-1] (1999.01)

- 特集：「女性とメディア」動向レポート
735. インタビュー：三宅菊子さんに聞く：無署名フリーライターとして / 「女性とメディア」研究会 (p.69-72)
736. 「女性とメディア」海外事情 (p.73-74)
737. 「WNB賞」創設から：関西で「第1回WNB賞」創設 (p.73-74)
738. 日英国際シンポジウム「メディアの中の女性像を読み

解く」開催 (p.74)

739. 放送をつくる女性の会、発足10年 (p.74)

総合女性史研究 [16] (1999.03)

740. 日本中世の女性たちの戦場 / 藤木久志 (p.1-18)
741. 松の想え：小家族・家の自立と女性 / 佐々木潤之助 (p.19-41)
742. 江戸「女浄瑠璃」考：西木浩一 (p.42-63)
743. 日本古代社会における子どもについて / 角谷英子 (p.64-83)
744. “援助交際”から日本人の性意識を考える / 村瀬幸治 (p.124-126)
745. 「高校生と共に学ぶ『戦争と性』」 / 宇野勝子 (p.126-129)
746. 植民地下の女子教育から朝鮮人「慰安婦」問題を考える / 金富子 (p.130-131)
747. ナチス・ドイツの「強制売春」 / 佐藤健生 (p.131-132)

地域づくり [115] (1999.01)

748. 地域を支える女性パワー 44：長野県箕輪町・「野良っ娘の会」の柴さんら：家族経営協定を学習、農業簿記も夢は加工、販売所の設置 (p.42-43)

中央公論 [114-1] (1999.01)

749. 天使のウインク 18：それを「病気」と言っちゃうのか... / 橋本治 (p.342-347)

中央公論 [114-2] (1999.02)

750. 「ただ一人の」母・佐多稲子を送りて / 窪川建造 (p.297-307)
751. マス・プロダクツの欲望：移行対象領域論 II / 大塚英志 (p.308-319)
752. 100年前の今月 2：初の長距離電話開通 / 松田裕之 (p.320-327)

中央公論 [114-3] (1999.03)

753. 環境ホルモンの解決に何が必要か / 戸高恵美子 (p.208-219)
754. <ルポ>無国籍児に国籍を / 阿部菜穂子 (p.268-277)
755. ザ・パトロン：勝新を支えた浅草ロック座の女興行師 / 神山典士 (p.278-291)

中国研究月報 [53-2] (1999.02)

756. 丁玲と佐多稲子 / 田畑佐和子 (p.1-10)

中等教育資料 [46-3] (1999.02)

757. 子どもの体験活動等に関するアンケート調査結果について / 文部省生涯学習局青少年教育課 (p.100-103)

中等教育資料 [729] (1999.03)

758. 生徒指導上の諸問題の現状について / 文部省初等中等教育局中学校課 (p.90-108)
759. 平成九年度公・私立高等学校における中途退学者数等の状況 / 文部省初等中等教育局高等学校課 (p.109-114)

賃金と社会保障 [1241](1999.01)

760. 「賃金制度の転換」なるものと賃金の考え方：人事制度改革攻撃に負けない開放的で明確な賃金論を持つために / 木下武男 (p.103-120)
761. 連合の賃金政策(第二次)素案：新たな賃金・人事制度の確立に向けて (p.121-137)

賃金と社会保障 [1243](1999.02)

- 特集：セーフティネットづくり元年：1999年春闘ハンドブック
762. 公的職業資格・ライセンスは労働市場でどう評価されているか / 石沢賢二 (p.22-24)

所得と生活を守るために

763. わが国勤労者の生活実態 / 労働経済研究所 (p.31-43)
764. わが国勤労者の賃金所得：下から実態を見る / 労働経済研究所 (p.44-52)
765. 賃金・労働時間・裁量労働制 / 小越洋之助 (p.53-65)

賃金と社会保障 [1244](1999.02)

766. 男女混合職化のケーススタディ その1：運輸・交通部門 / 首藤若菜, 高木郁郎 (p.42-60)
767. 男女混合化に関する研究 2：新たな基礎年金制度の構築に向けて：基礎年金制度に関する論点整理 / 経済企画庁経済研究所 (p.62-76)

賃金と社会保障 [1245](1999.03)

特集：介護を受ける権利

768. 大阪市ホームヘルパー派遣請求訴訟：大阪地裁判決(平成10.9)の問題点を衝く / 阪田健夫 (p.4-9)
769. ヘルパー派遣請求訴訟と介護を受ける権利 / 橋本宏子 (p.10-18)
770. 介護保障請求権についての考察 / 前田雅子 (p.19-29)
771. 社会保障・社会福祉判例：大阪市ホームヘルパー派遣決定処分取消等請求事件・大阪地裁判決(平10.2) (p.30-50)
772. 介護保険と医療保険：医療サービスの変化と空洞化 / 伊藤周平 (p.51-66)

賃金と社会保障 [1246](1999.03)

773. 介護保険と社会福祉 第八回：平成11年度の厚生省と労働省の予算：概要と主要事項 (p.15-27)
774. 新たな基礎年金制度の構築に向けて：基礎年金制度に関する論点整理 / 経済企画庁経済研究所 (p.32-51)

統計 [50-1](1999.01)

775. 駒場のキャンパスから地域を見る(4) / 岸野洋久 (p.63-66)
776. 人口統計データでみる東京とブエノス・アイレスの比較 / 藤田峯三 (p.67-70)

統計 [50-2](1999.02)

- 特集：発展途上国の大都市
777. ブエノスアイレス / 藤田峯三 (p.37-44)

778. 駒場のキャンパスから地域を見る(5) / 岸野洋久

(p.73-76)

統計 [50-3](1999.03)

特集：最近の雇用事情

779. 最近の雇用・失業の動向：労働力調査の結果を中心として / 飯島信也 (p.1-9)
780. 就業者・完全失業者の求職状況：求職状況実態調査結果から / 小室幸夫 (p.45-48)
781. 増加した単身世帯の消費：単身世帯収支調査結果(平成10年4~9月期) / 塚田武重 (p.49-51)
782. 家計調査トピックス：食料支出の所得階層間格差の推移 / 中川和子 (p.52-53)
783. 統計:50-3(東京：日本統計協会(1999.03)駒場のキャンパスから地域を見る(6) / 岸野洋久 (p.66-69)
784. 人口統計データでみる東京とブエノス・アイレスの比較(4) / 藤田峯三 (p.70-73)

統計情報 [48](1999.03)

785. 1月の統計審査 (p.49-55)
786. 11月・12月の公表統計 (p.56-64)

統計情報 [48-1](1999.01)

787. 求職状況実態調査 第1回(平成10年9月実施)結果から / 小室幸夫 (p.8-11)
788. 11月の統計審査 (p.28-37)
789. 10月の公表統計 (p.38-41)

統計情報 [48-2](1999.02)

790. 12月の統計審査 (p.29-53)

時の動き [43-2](1999.02)

特集：男女雇用機会均等法の一部改正

791. 施策の紹介：今日の日本における働く女性の現状 / 労働省 (p.64-66)
792. 施策の紹介：男女雇用機会均等法改正の背景と概要 / 労働省 (p.67-77)
793. 施策の紹介：働く女性のための対策 / 労働省 (p.78-79)
794. 働く女性の地位向上と働きやすい環境づくりを：労働省・東京女性少年室 / 綾野まさる (p.84-87)

時の動き [43-3](1999.03)

795. 「生活空間倍増戦略プラン」について / 内閣内政審議室 (p.78-80)

都市問題 [90-1](1999.01)

796. 少子社会と女性の働きやすさ / 福島典子 (p.105-117)

内外教育 [4978](1999.01.05)

- 特集：情報活用を「生きる力」に：すべての子供にコンピューター・リテラシー
797. 情報教育の新しい展開を探る / 兼倉卓 (p.7-9)

798. 「合宿中にわいせつ行為」と提訴：女子学生、指導教授と日大相手取り・東京裁判 (p.18)

内外教育 [4979](1999.01.08)

799. 教職に就けたのは7人に1人だけ：文部省の「教員免許状取得・教員就職状況」調査 / 小池幹夫 (p.2-5)

内外教育 [4980](1999.01.12)

800. 不登校が初めて10万人台に：体罰による懲戒処分は109人：文部省の97年度「問題行動白書」(下)：不登校、自殺、出席停止、体罰 / 兼倉卓 (p.2-7)

801. 中退率、過去最高の2.6%に：熱意持たないままの入学も一要因：97年度「公私立高校における中途退学者数等の状況」 / 渡辺敦司 (p.9-13)

内外教育 [4981](1999.01.19)

802. 飽食でも栄養は給食頼み：日本体育・学校健康センター調査 / 斎藤剛史 (p.6-7)

803. 問題行動には社会全体で対応を：98年度青少年白書を閣議に報告 / 徳武靖 (p.8-9)

804. 社会への満足度低い日本：総務庁の第6回世界青年意識調査 / 徳武靖 (p.10-12)

805. 少年問題は親のしつけに最大の要因：中学生の3割、親の6割が認識：大阪府が青少年ニーズ調査 / 菅正治 (p.14)

内外教育 [4982](1999.01.22)

806. 管理職への若手登用進む：女性が校長の9%、教頭の15%に：文部省が98年度「公立学校校長・教頭の登用状況」調査 / 兼倉卓 (p.2-6)

807. 授業を創る：インターネット利用し家庭科教育 / 伊藤勝治 (p.23)

内外教育 [4983](1999.01.26)

808. 青少年団体に7～8割が加入：ドイツにおける子供たちの自由時間調査 / 徳武靖 (p.2-3)

809. 数学II、英語IIなどで多様化進む：99年度高校教科書の採択状況・時事通信社調査(下) (p.4-14)

内外教育 [4985](1999.02.02)

810. 学級崩壊への対応で活発な論議：児童虐待の事例報告も：岡山で日教組第48次教育研究全国集会(上) / 伊豆倉哲 (p.2-5)

811. いじめ予防する手法を提案：「ピース・メソッド」で無理なく学校変革：国研が生徒指導国際フォーラム / 渡辺敦司 (p.6-8)

内外教育 [4986](1999.02.05)

812. 教師の「放任」戒め積極指導求める：文字伝える喜びや楽しさ重視：幼稚園新教育要領の解説書原案 / 徳武靖 (p.2-3)

813. 市町村の社会教育主事が減少：文部省の98年度「地方教育行政調査」 / 渡辺敦司 (p.8-9)

814. 学校、教師の閉鎖性めぐり討議：子供フォーラムには350人参加：日教組第48次教育研究全国集会(下) / 伊豆倉哲 (p.12-14)

内外教育 [4987](1999.02.09)

815. 中学で「情報とコンピュータ」を必修化：教育課程改訂の構図) 家庭、技術・家庭 / 徳武靖 (p.8-10)

内外教育 [4988](1999.02.12)

816. 適応指導教室は「心の居場所」：大阪府内のスタッフ対象に意識調査：日本教育社会学会第50回大会 / 伊豆倉哲 (p.8-9)

817. 教育法規あらかると：頭の痛い22項目の提案・勧告：「権利条約」に関する日本政府報告書への「見解」(p.17)

内外教育 [4989](1999.02.16)

818. 文部省の99年度予算(案) \$ 生涯学習局：「全国子供プラン」打ち出す / 徳武靖 (p.9-11)

内外教育 [4990](1999.02.19)

819. 学校生活の比重が低下：高校生、教師対象に意識の変化を調査：日本教育社会学会第50回大会 # / 伊豆倉哲 (p.4-6)

内外教育 [4992](1999.02.26)

820. 子育ては「個育て」の考えで：全国公立学校教頭会が中央集会 / 兼倉卓 (p.6-7)

821. 高校生のアルバイト、むしろ奨励を：インターンシップ、企業の過半数が「積極的」：産業教育振興中央会がパネル討議 / 矢内忠 (p.8-9)

内外教育 [4993](1999.03.02)

822. 過激な暴力シーンが多いと指摘：日Pがテレビ番組のモニター第一次調査 / 須川清 (p.27)

823. 女性管理職進出度 (p.28)

内外教育 [4994](1999.03.05)

824. 高等学校学習指導要領の改善の要点(下)：家庭(普通教科) (p.24-25)

内外教育 [4995](1999.03.09)

825. 入学した年の負担、親の年収の32%に：生活費は6万4000円で過去最低：東京私大教連の98年度「新入生家計負担調査」 / 小池幹夫 (p.6-7)

826. 教師の悩み、浮き彫りに：岡山県PTA連がアンケート調査 / 寺沢健之 (p.12)

827. トライやるウィークで大きな成果：不登校生徒にも好影響：兵庫県教委の体験学習事業 / 淡路愛 (p.13)

内外教育 [4996](1999.03.12)

828. 「きれいな心、裏付ける結果に：殺人など凶悪事件が6割増：警察庁が98年中の『少年非行等の概要』 / 矢内忠 (p.2-6)

829. 小学校に「ほほえみ相談員」配置：各地の特色ある教育新事業：99年度地方教育予算(案)から(2) 中部・近畿 (p.9-13)

内外教育 [4997](1999.03.16)

830. 「バーチャル大学」実現へ遠隔授業：社会人も単位取得が可能：岐阜県が新たな取り組み / 武内佳晴 (p.7)

内外教育 [4998](1999.03.19)

831. 家庭教育で企業研修会に講師派遣：各地の特色ある教育新事業：99年度地方教育予算(案)から(3) 中国、四

- 国、九州・沖縄 (p.6-10)
832. 青少年非行問題の窓口一本化：地域社会への支援体制も充実：広島市教委が青少年育成部を新設 / 梅沢幸治 (p.21)

内外教育 [4999] (1999.03.23)

833. 全国初の「子ども権利条例」を制定へ：各地の特色ある教育新事業：99年度地方教育予算(案)から(4)完・政令指定都市 (p.7-10)
834. リサイクル可能な制服を導入：茨城県立土浦工業高校 / 高橋浩之 (p.18)
835. 制服にさよなら / 寺沢健之 (p.19)

内外教育 [5000] (1999.03.26)

836. 「学級崩壊」の中で指導要領出そろう：「生きる力」と荒れる子供 / 下村哲夫 (p.24)
837. ボランティアの評価方法確立を：活動推進へ文部省の協力者会議が報告 / 小池幹夫 (p.5)

内外教育 [5001] (1999.03.30)

838. 生徒の2割が模試で進路決定：8割の学校に教師の意識変化：文部省が中学校の進路指導実態調査報告書 / 兼倉卓 (p.2-4)

日本家政学会誌 [50-1] (1999.01)

839. 高齢期の配偶者との関係性ステイタスと孤独感：モラルとの関連性 / 宇都宮博 (p.5-10)
840. 住まい手の安全意識の現状と住宅に対する要求水準に関する研究 / 久木章江 / 石川孝重 (p.51-61)
841. 与謝野晶子の服飾観 / 大久保春乃 (p.79-86)

日本家政学会誌 [50-2] (1999.02)

842. 永峯秀樹纂訳『経済小学 家政要旨 後編』の原典解明 / 谷口彩子 (p.1-10)
843. 生涯設計におけるリスクに対する認識に影響を及ぼす世帯要因 / 東珠実[ほか] (p.11-18)
844. 官能検査に基づく日本人とフランス人女性における食物の嗜好性の比較 / 畑江敬子[ほか] (p.45-52)
845. 北タイの1農村における耐久消費財普及の電化前後の比較および電化されている隣村との比較について / 宇都宮由佳, 益本仁雄 (p.65-72)
846. 女子学生の紅茶に対する嗜好性：滋賀県、京浜地区、阪神地区、長崎県の場合 / 日比喜子[ほか] (p.73-82)
847. 《家政学関連》研究・教育機関紹介 15：京都服飾文化研究財団 / 新居理絵 (p.87-88)

日本家政学会誌 [50-3] (1999.03)

848. バングラディッシュ主流文化地域における女性の所得発生・家庭経営役割：非政府組織プログラムの有無をふまえて / Rebeka Sultaana Khan, 長嶋俊介, Rezaul K. Talukder (p.1-12)
849. 生活時間からみる女性農業者とその夫とのパートナーシップ：1997～1998年、日本の農業者夫妻の生活時間調査から / 天野寛子, 粕谷美砂子 (p.13-20)

日本の学童ほいく [281] (1999.01)

特集：男だから?女だから?

850. 中学校から見える男の子・女の子：みんなゆっくり大人になあれ / 綿貫公平 (p.19-24)
851. 自治体の施策の紹介：山形市(山形県)の学童保育 / 山形市学童保育連絡協議会 (p.76-79)

日本の学童ほいく [283] (1999.03)

852. 子ども期のゆくえ 12：ヨーロッパの学童保育事情(2) / 奥平康照 (p.46-51)
853. 自治体の施策の紹介：伊丹市(兵庫県)の学童保育 / 伊丹市学童保育連絡協議会 (p.76-79)
854. 「学童保育運営要綱」を改正・東京都 / 東京都学童保育連絡協議会 (p.80-81)

日本労働協会雑誌 [263] (1999.01)

特集：戦後労働政策の回顧と展望

855. 雇用関係法制の回顧と展望 / 和田肇 (p.30-39)
856. 雇用政策の回顧と展望：構造転換期の政策課題をめぐる論点 / 仁田道夫 (p.50-60)

日本労働研究雑誌 [464] (1999.03)

特集：改正労働基準法

857. 働き方の多様化と法的規制の再編成：1998年労働基準法改正への視点 / 安枝英紳 (p.48-55)
858. 改正労働基準法：規制緩和の帰結と体系的整合性 / 盛誠吾 (p.56-68)

特集：先進諸国の労働法の研究動向

859. 世紀末の雇用関係とその規律：1990年以降のアメリカ合衆国における動向についての考察 / Thomas Carl Kohler; 早川智津子訳 (p.70-81)
860. 90年代におけるフランス労働法の動向 / Alain Supiot (p.82-93)
861. ドイツにおける労使関係と法の新展開 / Rolf Wank; 橋本陽子訳 (p.94-107)
862. 20世紀末期のオランダ労働法：雇用関係における「フレキシキュリティ」化の傾向 / Jan Heinsius; 川田琢之訳 (p.108-119)
863. オーストラリアにおける労働法研究の動向 / Anthony Forsyth, Richard Mitchell; 長峰登記夫訳 (p.120-131)
864. 大企業ホワイトカラーの最終キャリア：A社における最終選抜 / 西山昭彦 (p.147-159)

発達 [77-20] (1999.01)

特集：中学生・高校生との対話

865. 大震災と大学進学・親子関係の新しい一歩 / 佐藤良子 (p.11-18)
866. スクールカウンセラー中学校に登校する / 濱崎武子 (p.34-41)
867. 人関係とアイデンティティ発達 / 宮下一博 (p.49-55)
868. 子どもと生きる 16：いのちをわかちあう暮らしを訪ねて / 久賀谷洋 (p.70-77)

母と子 [45-1] (1999.01)

869. 「援助交際」を生み出すもの：マスコミ・大手出版の責任 / 山岸秀 (p.38-42)

判例時報 [1655](1999.01)

870. 夫婦が別居を開始してから9箇月余りに出生した子を被告として嫡出否認の訴えによらずに夫が提起した親子関係不存在確認の訴えが不適法とされた事例 (p.112-128)
871. 婚姻成立の日から200日以後に出生した子を被告として父親の死亡後にその養子が提起した親子関係不存在確認の訴えが適法とされた事例 (p.128-135)
872. 妻と性的関係があったとする者からの親子関係不存在の訴えが不適法であるとされた事例 (p.135-138)

判例時報 [1658](1999.02)

873. 会社の取締役ら四名が女性社員に対し、継続的に「おばん」等と呼び、身体に意に反して触り、性的に露骨な表現を用いてからかい、暴行を働いたことが共同不法行為と認められ、会社及び取締役ら個人に対する損害賠償請求が認容された事例 / 仲戸川隆人 (p.143-155)
874. 寺に勤務する女性が寺の代表役員に性的嫌がらせを受けたとの理由による寺及び代表役員に対する損害賠償請求が棄却された事例 / 大島眞一 (p.143-144, 155-160)
875. 会社の社長の女性社員に対する性的言動及び意反する性交渉を理由とする会社及び社長個人に対する損害賠償請求が認容された事例 / 西島幸夫 (p.143-144, 160-165)

ひとネットワーク [27-1](1999.01)

特集：「ジェンダーの授業」を検討する

876. 授業提案 男らしさ・女らしさのつくられ方：小学六年生・家庭科男と女を考える授業シリーズ / 浜崎タマエ (p.18-26)
877. 「男らしさ・女らしさ」は超えられるか / 金子奨 (p.27-34)
878. 子どもにとって<ジェンダー>を問うことの意味：もう一つの授業の提案 / 堀内かおる (p.37-43)

ひとネットワーク [27-2](1999.02)

特集：高度消費社会の“個”または“ジェンダー”をめぐって

879. 規範を成り立たせる人間関係の喪失：「高度消費社会がもたらした個人」を読んで / 白崎一裕 (p.6-8)
880. 小学生にジェンダーフリーを授業を：「ジェンダーの授業」を検討するを読んで / 伊東千絵 (p.8-11)
881. 「ジェンダーの授業」検討に心動かされて：編集部にお手紙書きました / 木村かおり (p.11-14)
882. 私にとっての原風景から：「ジェンダーの授業」を読んで / 今村梅子 (p.14-18)

学校の外での学びと教え

883. 農的ライフスタイルを求めて：イギリス留学、田んぼの会、農家のヨメ修業へ / 佐竹明日香 (p.19-26)
884. 心ふかく人間のこゝろとして：横浜・壽識字学校でのこと / 大沢敏郎 (p.43-50)

ファミポリテイク=Femme politique [22](1998.12)

885. ヘルパーは“在宅ケア”の大黒柱：現場から崩そう、安上りの福祉 / 十文字美恵、田中喜美子 (p.4-6)

886. 女性議員のページ：渡辺さと子さん / 渡辺さと子、稲角尚子 (p.7)

887. 教育改革に関する緊急アンケート集計報告 (p.8-11)

888. ノルウェー・フィンランドの旅から：平等を求めて闘い続ける女性たち / 中田慶子 (p.12-15)

889. 「全国自治体女性議員マップ」ができました / 平神純子 (p.18-19)

ファミポリテイク=Femme politique [23](1999.03)

890. これでいいのか？ 地方議会の金づかい：あきれた大宮市の実態 / 高瀬広子 (p.2-6)

891. 「もう男には任せておけない」99年統一地方選に女性議員増加の動き / 甘利てる代 (p.7-9)

892. 女性議員のページ：漢人あきこさん / 漢人あきこ、甘利てる代 (p.12)

婦人新報 [1180](1999.01)

893. 国連規約人権委員会にHELPからカウンターレポートを送る：在日外国人女性に対する人権侵害について / 東海林路得子 (p.22-28)

婦人新報 [1181](1999.02)

894. 子どもたちにどう伝えるか：自由主義史観と教科書問題 / 三宅和子 (p.6-8)

895. 日本における外国人女性の現状：国連規約人権委員会に訴えたこと / 東海林路得子 (p.16-20)

896. 『タイ買春読本』裁判勝利 / 大津恵子、高梁喜久江 (p.26-27)

婦人通信 [481](1999.01)

897. ことしも前進：たくましい民商のお母ちゃんたちと / 牧野由子 (p.6-7)

898. 体験レポート・デンマークのゴミ政策 3：廃棄物と税金 / 藤永のぶよ (p.26-27)

899. 歌にみる近代日本の女たち 9：「湖畔の宿」 / 矢沢寛 (p.36-37)

900. 文学に描かれた女性像：エリザベス・ブルゴス『私の名はリゴベルタ・メンチュウ』 / 瀬野とし、エリザベス・ブルゴス；高橋早代訳 (p.40-41)

婦人通信 [482](1999.02)

901. 国際民婦連(WIDF)第12回大会 / 堀江ゆり (p.24-26)

902. 下町人間庶民文化賞・榎田ふき / 榎田ふき (p.32)

903. 体験レポート・デンマークのゴミ政策 4：合理的な日常生活 / 藤永のぶよ (p.36-37)

904. 歌にみる近代の女たち 10：「岸壁の母」 / 矢沢寛 (p.38-39)

905. 文学に描かれた女性像：野上弥生子『或る女の話』 / 根本萌臈子、野上弥生子 (p.42-43)

婦人通信 [483](1999.02)

906. 労働法制の改変と女性労働者の課題 / 坂本福子 (p.4-7)

特集：不況の嵐の中で

907. 泣き寝入りはしない：パート労働者のたたかい / 井筒百子 (p.8-10)

908. 家計調査からの告発 / 笠井貴美代 (p.10-13)

909. アジア各国の国際婦人デー(1998年)(p.25-28)

910. 韓国：経済危機と女性労働者(p.29-31)

婦人之友 [93-1](1999.01)

特集：今日の女性の課題

911. しなやかに力づく：11人からのメッセージ・女性に期待すること / 山田洋次[ほか] (p.30-40)

912. 日本の女性の今日・明日：自分らしく生きるために / 伊藤真知子 (p.43-46)

913. 夢を実現して生き生きと：救急医療現場で光る女性 / 河合亜留土 (p.48-49)

914. 夢を実現して生き生きと：家事も子育ても2人で / 永山操 (p.50-51)

915. 夢を実現して生き生きと：心通うデイサービス / 松石奈甫子 (p.52-54)

婦人之友 [93-2](1999.02)

特集：今日の女性の課題

916. 結婚をめぐる法律 / 八賀和子 (p.40-43)

917. 世界をみる目・日本をみる目：「性別役割社会」脱皮へ一歩：男女共同参画社会基本法 / 竹信三恵子 (p.55-59)

918. <記憶の扉をひらく>個人美術館の旅 2：色彩と遊び戯れて：ニキ美術館 / 中村輝子 (p.80-86)

919. 母と子の生活：お母さんが企画したお母さんのためのコンサート / 清水久美子 (p.113-117)

放送教育 [53-10](1999.01)

特集：第5回「日本視聴覚・放送教育学会」シンポジウムより

920. テレビ描写の影響をめぐって：海外の事例を中心に / 小平さち子 (p.65-69)

放送研究と調査 [572](1999.01)

921. 不満が高まる中学2・3年生：子ども問題世論調査から / 松宮誠 (p.24-37)

放送研究と調査 [573](1999.02)

922. 分散化・多様化するタレントの支持層：'98年「好きなタレント」調査から / 齋藤善彦, 遠藤尚子 (p.40-43)

法律のひろば [52-1](1999.01)

特集：少年非行の動向と非行少年の処遇：平成10年版 犯罪白書を読む

923. 少年非行の動向と近年の特質 / 松本勝 (p.10-15)

924. 非行少年の生活意識と価値観 / 坪内宏介 (p.49-53)

法律のひろば [52-2](1999.02)

特集：インターネット時代の取引形態と消費者保護のあり方

925. ネット取引をめぐる法的問題点：消費者保護を中心に / 松本恒雄 (p.17-23)

文部時報 [1469](1999.01)

926. 文教施策：教育改革プログラム主要事項 / 文部省大臣

官房政策課 (p.58-61)

文部時報 [1470](1999.02)

特集：スクールカウンセラー

927. スクールカウンセラーの学校教育への導入の必要性和問題改善策 / 松原達哉 (p.22-25)

928. 不登校に対する新しい試みを通して：スクールカウンセラーの実践報告 / 伊藤美奈子 (p.28-30)

929. 平成9・10年度スクールカウンセラー活用調査研究校の実践 / 佐々木基成 (p.31-33)

930. カウンセリング機能の充実に向けて / 桶谷守 (p.34-37)

931. 「スクールカウンセラー活用調査研究委託」事業について / 初等中等教育局中学校課 (p.38-41)

932. 教育相談体制の充実 / 初等中等教育局中学校課 (p.42-43)

933. 中央教育審議会 答申(抄)：新時代を拓く心を育てるために・次世代を育てる心を失う危機 / 時代を担う青少年のために・いま、求められているもの (p.44-51)

934. 「少子化への対応を考える有識者会議」提言について：夢ある家庭づくりや子育てができる社会を築くために(提言) (p.54-61)

立法と調査 [209](1999.01)

特集：青少年と社会構造の変化

935. 少子化問題と今後の課題 / 菱沼誠一 (p.5-9)

936. 児童・生徒の変化と学校教育 / 五十嵐吉郎 (p.16-19)

937. 若年層の就業意識と雇用問題 / 大谷敏彰 (p.20-22)

特集：第143回国会の論議の焦点

938. 労働基準法改正案が修正により成立：新裁量労働制に更なる歯止め / 藤崎昇 (p.30-31)

りぶる [202](1999.01)

939. この人に違いたい：高原須美子 民間女性初の大団長・大使が今度は野球界に女性の風を / 高原須美子 (p.14-19)

りぶる [203](1999.02)

940. 歴史を彩った女性たち 2：姉様人形 - 相馬黒光 / 薬師川麻耶子 (p.34-39)

れんごう政策資料 [114](1999.01.28)

941. 労働時間に関する調査(1998年度) / 連合 (p.5-450)

れんごう政策資料 [115](1999.01.29)

942. 98年連合生活アンケート調査報告 / 連合 (p.3-128)

943. 賃金・人事処遇に関する組合員の意識：98連合組合員アンケート調査結果中間報告 / 連合 (p.129-164)

労政時報 [3380](1999.01.01)

944. 緊急アンケート調査：改正労基法に企業はどう対応するか：契約期間の上限から時間外・深夜労働の扱いまで (p.2-15)

945. 時間外協定の最新実態：改正労基法改正前にみる36協定の現状 (p.16-27)

946. 97年労働時間および関連制度の実態：週所定労働時間は40時間を切る、変形制採用は半数強 / 労働省 (p.28-

36)
947. セクハラ防止規則：均等法改正に合わせて4月施行 (p.37-44)

948. 評価制度に関する管理職の意識：管理職の7割が評価制度に「問題を感じる」と回答 (p.54-59)

労政時報 [3381] (1999.01.15)

949. 改正均等法を踏まえた募集・採用の法律事務：指針・通達にみる採用、配置・昇進の在り方 / 中野麻美 (p.2-14)

950. 日経連の98年度モデル賃金調査まとまる (p.15-29)

951. コンピテンシーと職能資格との接点をみる / 太田隆次 (p.30-39)

952. 99年3月新卒者採用状況調査 (p.45-49)

953. 人事処遇システムの現状と今後の方向：管理職の任命基準、評価、賃金管理等の実態 (p.50-58)

954. プラザー・シスター制度における担当者の選任方法 / 二挺木秀雄 (p.84-85)

労政時報 [3382] (1999.01.22)

955. 東京、関西地区の98年度モデル賃金：東京都、関西経協調査にみる最新実態 (p.21-33)

956. 雇用動向調査(98年上期)：入職率は4年ぶりに低下 (p.34-38)

労政時報 [3383] (1999.01.29)

957. 98年度大企業のモデル賃金：大学卒男子の中年層では前年水準を割る (p.43-52)

958. 98年度国民生活白書：高齢者の就業機会を拡大する「生涯現役社会」を提言 (p.53-61)

労政時報 [3384] (1999.02.05)

959. 日経連の99年賃金交渉に臨む指針：雇用と賃金をセットにした総額人件費管理の徹底を (p.3-9)

労政時報 [3385] (1999.02.12)

960. 99年3月卒者の初任給を予測する：各学歴とも0.3%台の伸び率でほぼ据え置き状況 (p.54-58)

961. 98年都道府県別初任給調査：大学卒男性の対前年上昇率は、四年連続で1%以下に (p.59-63)

962. 98年度新卒者採用に関するアンケート：97年度に比べて内々定学生の辞退率は低下 (p.64-66)

労政時報 [3386] (1999.02.19)

963. 諸手当に関する調査：家族、住宅など主要6手当の支給状況とモデル額 (p.63-73)

労政時報 [3387] (1999.02.26)

964. 諸手当の支給傾向と会社別実態(下)：交替、住宅、地域、年末年始手当などの支給基準と支給額 (p.17-64)

労働経済旬報 [1623] (1999.01.05)

965. 求職状況実態調査(速報)について (p.26-28)

966. 外国人雇用状況報告 / 労働省 (p.34-45)

労働経済旬報 [1624] (1999.01.20)

967. ダイナミックで徳のある国をめざして：日経連「労働

問題研究委員会報告」(全文) (p.10-21)

労働経済旬報 [1626] (1999.02.20)

968. 98年連合生活アンケート調査報告(抜粋) / 連合 (p.10-35)

969. 労働力調査(平成十年結果) / 総務庁 (p.36-51)

970. 家計調査報告：一九九八年平均結果の概要より(抜粋) / 総務庁 (p.52-58)

労働時報 [52-1] (1999.01)

特集：平成11年度労働行政の展望

971. 平成11年度重点施策：希望にあふれ安心して働ける社会の実現を目指して / 労働省 (p.15-35)

労働時報 [52-2] (1999.02)

特集：ホワイトカラーのキャリア・アップ

972. ビジネス・キャリア制度の意義 / 労働省職業能力開発局能力開発課 (p.4-5)

973. 松下電器産業株式会社：自己啓発支援と職能別訓練の双方に、ビジネス・キャリア制度を活用 / 小西ゆかり、佐竹敬造 (p.6-10)

974. 東陶機器株式会社：人事制度におけるビジネス・キャリア制度の活用 / 尾崎直 (p.11-13)

975. ビジネス・キャリア制度について / 中央職業能力開発協会ビジネス・キャリア部 (p.14-25)

労働統計調査月報 [51-1] (1999.01)

976. 小規模事業所の賃金、労働時間及び雇用：平成10年毎月勤労統計調査特別調査結果の概要 / 労働省統計調査第一課 (p.21-24)

労働統計調査月報 [51-2] (1999.02)

977. 人口減少社会の姿 / 西條剛 (p.10-16)

978. 平成10年上期における雇用労働力の移動状況について：平成10年上期雇用動向調査結果の概要 / 労働省統計調査第一課 (p.17-20)

労働の科学 [54-1] (1999.01)

979. 社会の目：携帯電話のある風景：ニューメディアと生活行動の変容 / 池上徹、肝付邦憲 (p.43-48)

老年社会科学 [20-2] (1998.12)

980. 農村中高年女性の老後意識の追跡研究：家族周期移行パターンによる差異 / 佐藤宏子 (p.97-108)

981. 高齢期の住まい方とケアハウスのニーズに関する研究 / 竹嶋祥夫 (p.109-119)

982. 高齢者の健康度自己評価に関連する要因：配偶者の健康度評価に着目して / 青木邦男 (p.132-142)

983. 老人ケアスタッフの仕事の魅力に対する介護信念と仕事のコントロールの影響 / 宇良千秋 (p.143-151)

984. IADLの自立と遂行(2)：遂行と世帯構成の関連 / 西村昌記[ほか] (p.152-159)

985. 高齢患者の在宅療養における家族ダイナミクス：東京都心部における事例調査 / 林葉子 (p.160-170)

労務事情 [934] (1999.01)

特集：もうお済みですか「改正労基法、均等法、育

介法」対策

986. 改正労基法と企業実務のポイント：就業規則の改正、労使協定の締結、改正等を中心に / 清水和夫 (p.8-13)
987. 中央労働基準審議会に対する改正労働基準法に基づく関係省令案要綱等の諮問について (p.14-18)
988. 改正均等法の実務対策：募集・採用・配置・昇進・教育訓練からセクハラ防止等の12ポイント / 安枝英 紳 (p.19-25)
989. 求人広告作成上の留意点：求人広告を取り扱う皆様に均等法が変わります! (p.26-33)
990. 育児・介護休業に関する法律上のポイント：法律の内容を正確に理解し、就業規則等の整備が必要 / 松井博志 (p.34-45)
991. 育児または家族介護のための深夜業の制限に関する規定 / 労働省 (p.46-50)

特集：雇用関係給付金の概要と支給手続き

992. 雇用関係各種給付金一覧表 (p.56-73)
993. 地域別にみるパートタイマーの職種別時間給 (p.110-113)

労務事情 [935] (1999.02)

994. 「改正労基法」関連資料 1：改正労基法に基づく関係省令・告示・基準が公布される!：労働基準法施行規則<新旧対照表・抄> (p.34-49)
995. シリーズ 改正均等法の規則・指針・通達等 9：セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する人事院規則 (p.50-57)

Int'lcowk [54-2] (1999.02)

996. 視野が広がる異業種交流会：交流会情報を提供する「ピーマン・ネットワーク」：ネットワークとネットワークを結ぶ掛け橋 / 中川万理 (p.36-37)

JILリサーチ [36] (1999.01)

- 特集：高校から職業への移行
997. 新規高卒労働市場の変化と職業への移行の支援 / 小杉礼子 (p.8-13)
998. 高卒就職システムのゆらぎ / 西澤弘 (p.14-17)
999. 高校 - 企業関係の実態と変化 / 本田 (沖津) 由紀 (p.18-21)
1000. 高卒就職の変化と高校進路指導 / 下村秀雄 (p.22-25)
1001. 学校から職業への移行支援の国際比較：どちらから「橋」をかけるのか / 吉本圭一 (p.26-31)

Nursing Today [14-1] (1999.01)

1002. 看護職員の人材派遣をめぐって：その真相と法的な解釈 / 楠本万里子 (p.56-58)
1003. 院内の赤ちゃんの写真、残酷だと気づきますか?：理解してほしい、患者の気持ち / 渡辺優子 (p.54-55)

Nursing Today [14-2] (1999.02)

1004. ビル認可要請など、緊急提言：「性と健康を考える女性専門家の会」が国際シンポ (p.79)

Nurshing Today [14-3] (1999.03)

- 特集：あなたは満足?いまの職場
1005. コラム・データで見る労働条件 / 金澤朋広 (p.19, 22, 25, 28, 31)
1006. ワーキング・スマートII：看護と社会：職務と賃金 / ワーキング・スマートII検討会, 角田由佳, 許棟翰 (p.70-73)

WINET情報 [2] (1998.09)

1007. 地域の中の子どもの居場所づくり：「都市化社会の進行と家庭・教育機能に関する調査研究」調査報告 (p.2-8)
1008. マーシャル諸島の女性の現状：「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」提出カントリーレポートから / アネラ・ピリー・ボアズ (p.9-12)

テーマ展示図書案内

婦人教育情報センターでは、「エンパワーメントは21世紀への合言葉 - 新たなる共生をめざして - 」を平成11年度の総合テーマとして、会館が所蔵している資料の紹介と、女性問題に対する課題解決に資するためにテーマ展示を実施しています。今回は1999年1月～1999年6月の資料リストをご紹介します。

4～6月

● テーマ

「高齢社会とジェンダー」

● ねらい

急速に進む高齢社会の中で、ひとりひとりがいきいきとした生き方をするにはどうしたらよいか。現実には女性の肩にかかっている介護等の問題はどのようにするのか、高齢社会をジェンダーの視点から考えました。

7～9月

● テーマ

「女性と健康（リプロダクティブ・ヘルス/ライツを考える）」

● ねらい

リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる国際的な動向（1999年2月ハーグ国際フォーラム、3月ニューヨーク国連人口会議、6月国連特別総会）を踏まえて、日本における女性の健康問題にどう取り組んでいるか、及び今後の課題について考えました。

なお、10～12月 ● テーマ「女性に対する暴力」

2000.1～3月 ● テーマ「男女共同参画社会の実現へ 2000年世界女性会議にむけて」を予定しています。

凡 例

No. 書名：副書名 / 編著者

出版社（出版年）**請求記号**

「高齢社会とジェンダー」
(平成11年4月～6月)

1. あきらめないで、働きながらの介護術 / ぐるーぷ・アミ編著
現代書館 (1997) 369.2/A36
2. 「家で死ぬ」ということ：家族が後悔しない身内の看護と看取り方 / 西村文夫, 宮原伸二編著
三天書房 (1998) 598.4/I21
3. いつまでも輝き続けるために：'96地域・草の根交流欧州派遣事業「行動するヨーロッパの女性・高齢者調査交流団」報告書 / 国際交流基金国際交流相談室
国際交流基金国際交流相談室 (1996) 369.2/I91
4. いま家族に何が起きているのか：家族社会学のパラダイム転換をめぐる(家族社会学研究シリーズ1) / 野々山久也, 袖井孝子, 篠崎正美編著
ミネルヴァ書房 (1996) 361.6/Ka99
5. エイジング・ソサエティ：スウェーデンの経験 / 岡沢憲英, 多田葉子著
早稲田大学出版部 (1998) 369.2/E37
6. 老いの住まい「警告と対策」：50歳からの人生すごく、あがりは上々、転ばぬ先の住まいづくり / 西野洵子 [ほか] 著
JDC (1998) 365.5/O32
7. 夫とする在宅介護：自分ひとりで背負いこまないで！ / 松崎陽子編著
日本法令 (1996) 369.2/O89
8. 男の介護：48歳サラリーマンの選択 / 竹永睦男著
法研 (1998) 369.2/O86
9. 男も女も今が変わりどき：人生の午後へ / 沖藤典子著
労働旬報社 (1996) 369.2/O86
10. お墓と家族 / 槇村久子著
朱鷺書房 (1996) 385.6/O27
11. 親が65歳を過ぎたら、男が読む本 / おちとよこ著
ベネッセ (1998) 369.2/O94
12. 介護が変われば老後も変わる (シリーズ女・老い・福祉 女性が進める介護の社会化2) / 樋口恵子編
ミネルヴァ書房 (1997) 369.2/Sh88
13. 介護とジェンダー：男が看とる女が看とる / 春日キスヨ [著]
家族社 (1997) 369.2/Ka21
14. 介護保険?家族保険!：一人ひとりの生き方と生涯保障 / 大脇雅子[ほか]著
法政出版 (1996) 369/Ka21
15. 「介護保険」のすべて：社会保障再編成の幕明け / 宮武剛著
保健同人社 (1997) 369.2/Ka21
16. 家族手帖：いま、育児・介護に必要なもの、それは、「家族力」です：人生を模索する8人の男たち / 藤原誠著
講談社出版サービスセンター (1996) 367.3/Ka99
17. 各国の介護保障 / 足立正樹編著
法律文化社 (1998) 369.2/Ko79
18. ケアと老いの祝福 / 木下仁君著
勁草書房 (1997) 369.2/Ke13
19. 現代家族と福祉 / 後藤澄江著
有信堂高文社 (1997) 361.6/G34
20. 高齢化社会と女性：99年国際高齢者年を前に (婦人白書1998) / 日本婦人団体連合会編
ほるぷ出版 (1998) 367/F64/R
21. 高齢社会対策大綱
総務庁 (1996) 369.2/Ko79
22. 高齢社会の基礎知識：21世紀へのキー・ワード / エイジング総合研究センター編著
中央法規出版 (1998) 367.7/Ko79
23. 高齢社会の住まいと福祉データブック：住宅・福祉施策、基本データ全収録 / 高齢者住宅財団, 人にやさしい建築・住宅推進協議会編著
高齢者住宅財団 (1998) 369.2/Ko79
24. 高齢者・家族・社会的ネットワーク (現代家族問題シリーズ4) / 藤崎宏子著
培風館 (1998) 367.7/Ko95
25. 高齢者虐待：発見・予防のために / ピーター・デカルマー, フランク・グレンディング編著; 田端光美, 杉岡直人監訳
ミネルヴァ書房 (1998) 369.2/Ko79
26. 高齢者と家族：高齢社会への対応と家族の役割 / 上野谷加代子, 村川浩一共編
中央法規出版 (1996) 367.3/Sh88
27. 高齢者の権利擁護システム / 新井誠 [ほか] 編
勁草書房 (1998) 369.2/Ko79

28. 高齢者の生活と意識：第4回国際比較調査結果報告書
中央法規出版（1997）367.7/Ko79
29. 高齢者福祉 / 小笠原祐次，橋本泰子，浅野仁編
有斐閣（1997）369.2/Ko79
30. 高齢者を介護する家族：エンパワーメント・アプローチの展開にむけて / 和気純子著
川島書店（1998）369.2/Ko79
31. 社会福祉のなかのジェンダー：福祉の現場のフェミニスト実践を求めて / 杉本貴代栄編著
ミネルヴァ書房（1997）369.2/Sh12
32. 自分育ての介護日記：ふたりの母がくれた贈り物 / 森川玉江著
合同出版（1998）493.7/J46
33. 女性化する福祉社会 / 杉本貴代栄著
勤草書房（1997）369/J76
34. 女性福祉を学ぶ：自立と共生のために（シリーズ女・あすに生きる 8） / 橋本宏子著
ミネルヴァ書房（1996）367.2/J76
35. 自立する老後のために / 高見澤たか子著
晶文社（1998）367.7/J53
36. スウェーデン・超高齢社会への試み：変わりゆく制度
変わらない理念 / ピヤネール多美子著
ミネルヴァ書房（1998）369.2/Su85
37. 成熟と老いの社会学（岩波講座現代社会学13） / 井上俊 [ほか] 編集
岩波書店（1997）361/I95
38. ゼミナール男女共生社会の社会保障ビジョン / 関西女の労働問題研究会編
ドメス出版（1996）364/D37
39. 地域で看るみんなで看とる：女性が進める介護の社会化（シリーズ女・古い・福祉1） / 樋口恵子編
ミネルヴァ書房（1996）369.2/Sh88
40. 付き添って：明日はわが身の老人介護 / 生井久美子著
朝日新聞社（1996）369.2/Ts64
41. 手ぬきでドンマイ！：在宅介護手記集 / ゆずりはの会編
桐書房（1996）598.4/Te37
42. どうしますあなたと私の老後：名古屋の女性がとりくむ「介護の社会化」 / 児島美都子，地域福祉を考える会編
ミネルヴァ書房（1997）369.2/D89
43. 特養ホーム入居者のホンネ・家族のホンネ / 本間郁子著
あけび書房（1997）369.2/To45
44. 共倒れから共立ち社会へ：前進させよう介護の社会化 / 高齢社会をよくする女性の会・大阪編
明石書店（1998）369.2/To61
45. 21世紀日本型福祉社会の構想 / 本間正明，跡田直澄編
有斐閣（1998）364/N73
46. 夫婦の親：ふたりの関係が試されるとき / 柳博雄著
三五館（1996）367.7/F53
47. 福祉の国からのメッセージ：デンマーク人の生き方・老い方 / 小島ブンゴード孝子，澤渡夏代プラント著
丸善（1996）369.2/F84
48. 福祉のまちを歩く：高齢社会それぞれの挑戦 / 石毛 鏡子著
岩波書店（1997）369.2/F84
49. みんなが主役・新介護時代：老いを支える新しいシステムづくり（シリーズ女・古い・福祉2） / 沖藤典子著
ミネルヴァ書房（1997）369.2/Sh88
50. ゆらぐ家族への処方箋：子・親・老いを見つめて / 東京女子大学同窓会編
家の光協会（1998）367.3/Y99
51. “老人虐待”の予防と支援：高齢者・家族・支え手をむすぶ / 高崎絹子 [ほか] 編著
日本看護協会出版会（1998）369.2/R62
52. 老親の看かた、私の老い方：看護婦が考えた「老い」と「介護」 / 宮子あずさ著
講談社（1998）367.7/R72
53. 老人をめぐる家族問題Q&A / 家庭問題情報センター編著
時事通信社（1998）367.7/R62
54. Adulthood and aging : research on continuities and discontinuities / Vern L. Bengtson, editor
Springer（1996）367.7/A16
55. Gender, family and society / Faith Robertson Elliot consultant editor, Jo Campling
Macmillan（1996）367.3/G34
56. Women, the elderly and social policy in Finland and Japan / Edited by Briitta Koskiahho
Abebury（1996）369.2/W85

「女性と健康(リプロダクティブ・ヘルス/ライツを考える)」
(平成11年7月～9月)

1. 新しい世代(世界人口白書;1998)/国連人口基金[編] 家族計画国際協力財団(1998) 334.3/Se22
2. アメリカインディアンの現在:女が見た現代オグララ・ラコタ社会/デイ多佳子著 第三書館(1998) 389.53/A44
3. 安全・確実!安心のピルの本/菅睦雄著 保健同人社(1998) 495.4/A49
4. 憤れる女たち/アンドレア・ジュノー,V・ヴェイル編;越智道雄訳 第三書館(1997) 367.253/I36
5. 産む/産まないを悩むとき:母体保護法時代のいのち・からだ(岩波ブックレット;no.426)/丸本百合子,山本勝美共著 岩波書店(1997) 498.2/U74
6. 女と男の21世紀:北京から日本へ/小宮山洋子著 大月書店(1996) 367.2/O66
7. 家族計画指導の実際:豊かなセクシュアリティを求めて/木村好秀,齋藤益子著 医学書院(1998) 334.3/Ka99
8. 厚生省心身障害研究リプロダクティブヘルスからみた子宮内膜症の実態と対策に関する研究報告書 平成9年度 武谷雄二(1998) 495.4/R46
9. 国際化時代の女性の人権:両性の平等と自立(AKASHI人権ボックス;4)/日本弁護士連合会・両性の平等に関する委員会編 明石書店(1997) 367.2/Ko51
10. 国際人口開発会議(カイロ会議)/厚生省人口問題研究所編 厚生省人口問題研究所(1995) 334/Ko51
11. 自己決定権と法(岩波講座現代の法;14)/岩村正彦[ほか]編 岩波書店(1998) 320/I95
12. 少女たちと学ぶセクシュアル・ライツ/原田瑠美子著 柘植書房新社(1997) 367.9/Sh96
13. 女性と人権:歴史と理論から学ぶ 辻村みよ子 日本評論社(1997) 367.2/J76
14. 女性の人権とは:'96アジア女性基金国際フォーラム報告書 女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)(1997) 367.2/J76
15. 女性のライフサイクルと性・健康・権利:リプロダクティブ・ヘルス/ライツQ&A/芦野由利子著 日本家族計画協会リプロ・ヘルス推進事業本部(1997) 498.2/J76
16. 人口危機のゆくえ/芦野由利子,戸田清著 岩波書店(1996) 334.3/J52
17. 性差(シリーズ「性を問う」2)/大庭健[ほか]編集 専修大学出版局(1997) 367.9/Sh88
18. 生殖技術とジェンダー(フェミニズムの主張3)/江原由美子編 勁草書房(1996) 367.2/F19
19. 性と生殖に関する権利:リプロダクティブ・ライツの推進(AKASHI人権ボックス3)/リード・ポーランド著;アニカ・ラーマン編;房野桂訳 明石書店(1997) 367.2/Se19
20. 「性の自己決定」原論:援助交際・売買春・子どもの性/宮台真司[ほか著] 紀伊国屋書店(1998) 367.9/Se19
21. 性の自己決定能力を育てるピアカウンセリング/高村寿子編著;松本清一監修 小学館(1999) 367.9/Se19
22. 生命誕生をめぐるバイオエシックス:生命倫理と法/金城清子著 日本評論社(1998) 495.4/Se18
23. 世界の姉妹と出会いの旅:不戦・平和の誓いを込めて/'95日本婦人会議訪中団編 '95日本婦人会議訪中団(1996) 319.1/Se22
24. セクシュアル・ライツ:人類最後の人権/山本直英編著 明石書店(1997) 367.9/Se45
25. ゼミナール共生・衡平・自律:21世紀の女の労働と社会システム/関西女の労働問題研究会編 ドメス出版(1998) 366.3/Z2
26. 選択の権利:リプロダクティブ・ライツとリプロダクティブ・ヘルス(世界人口白書;1997) United Nations Population Fund(国連人口基金)(1997) 334.3/Se22
27. 中絶:生命をどう考えるか/ロジャー・ローゼンブラット著;くぼたのぞみ訳 晶文社(1996) 498.2/C69

28. 避妊：STD（性感染症）対策も確実に、賢い選択を / 早乙女智子著
主婦の友社（1998）495/H61
29. ピルの分かる本：日本中の女性に読んで欲しい！ひとりひとりの性のバイブル
日本短波放送（1996）495.4/P67
30. 北京発、日本の女たちへ：世界女性会議をどう生かすか / アジア女性資料センター編
明石書店（1997）367.2/P36
31. 変貌する都市：人口と開発のゆくえ（世界人口白書；1996）
United Nations Population Fund（1996）334.3/Se22
32. 「母体保護法」（優生保護法の一部改正法）に対する要望書 / 日本家族計画連盟
日本家族計画連盟（1996）498.2/B66
33. 「もういらない！墮胎罪と優生保護法 - わたしのからだわたしがきめる」1996年2月24日シンポジウム報告集・資料
女（わたし）のからだから・'82優生保護法改悪阻止連絡会（1996）498.2/Mo96
34. もう患者でいるのはよそう：フェミニスト倫理とヘルスケア / スーザン・シャーウィン著；岡田雅勝，服部健司，松岡悦子訳
勁草書房（1998）495/Mo96
35. 病と医療の社会学（岩波講座現代社会学 14） / 井上俊 [ほか] 編
岩波書店（1996）361/I95
36. ライフステージと法 / 副田隆重 [ほか] 著
有斐閣（1996）320/R12
37. リプロダクティブ・ヘルス（別冊・医学のあゆみ） / 武谷雄二編集
医歯薬出版（1997）495/R46
38. リプロダクティブ・ヘルスと環境：共に生きる世界へ / 上野千鶴子，綿貫礼子編著
工作舎（1996）367/R46
39. リプロダクティブ・ヘルスの視点から（環境ホルモンとは何か1） / 綿貫礼子，武田玲子，松崎早苗著
藤原書店（1998）519/Ka55
40. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ：からだ性と、わたしを生きる / ヤンソン柳沢由美子著
国土社（1997）491/R46
41. リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境問題 / 田代俊子記念基金運営委員会 [編]
田代俊子記念基金運営委員会（1998）519/R46
42. 両性の平等と自立：女性の人権の確立をめざして：憲法50年
日本弁護士連合会両性の平等に関する委員会（1997）367.2/R97
43. Abortion politics：public policy in cross-cultural perspective / edited by Marianne Githens and Dorothy McBride Stetson
Routledge（1996）498.2/A14
44. Abortion rates in the United States：the influence of opinion and policy / Matthew E. Wetstein
State University of New York Press（c1996）498.2/A14
45. Ana's Land：sisterhood in Eastern Europe / edited by Tanya Renne
Westview Press（1997）367.23/A46
46. At women's expense：state power and the politics of fetal rights / Cynthia R. Daniels
Harvard University Press（1996 c1993）498.2/A94
47. Changing places：population, development and the urban future. (The state of world population 1996)
United Nations Population Fund (UNFPA) (1996) 334.3/St2
48. Depopulating Bangladesh：essays on the politics of fertility and reproductive rights / Farida Akhter
Narigrantha Prabantana（1996）334.3/D62
49. Evaluating women's health messages：a resource book / Roxanne Louiselle Parrott, Celeste Michelle Condit, editors
Sage Publications（c1996）495/E88
50. Eve's herbs：a history of contraception and abortion in the West / John M. Riddle
Harvard University Press（c1997）498.2/E89
51. Killing the black body：race, reproduction, and the meaning of liberty / Dorothy Roberts
Pantheon Books（c1997）498.2/Ki29
52. Our bodies, ourselves for the new century：a book by and for women / the Boston Women's Health Book Collective
Simon & Schuster（1998）495/O92
53. Telling their stories：Puerto Rican women and abortion / Jean P. Peterman
Westview Press（c1996）495.4/Te32
54. The wandering uterus：politics and the reproductive rights of women / Cheryl L. Meyer
New York University Press（c1997）367.1/W38
55. Women in American law：the struggle toward equality from the New Deal to the present / Judith A. Baer
Holmes & Meier（1996）302.53/W85

新着図書案内

当会館婦人教育情報センター受贈資料の中から、平成11年1～8月までに刊行されたもので、一般には入手しにくく、女性問題学習に参考になるとと思われる資料をご紹介します。

1. 「アジアセミナー報告書：「開発と女性」：地球の未来をひらくアジアのネットワーク」国際婦人教育振興会（1999.3）
2. 「夫・恋人からの暴力の撤廃：国際的背景と国際人権法上の義務」女性のためのアジア平和国民基金（1999.3）
3. 「お年玉調査レポート：小学生と母親のお年玉意識と実態」第一勧業銀行（[1999]）
4. 「大人向け雑誌における「女子高生」の性的商品化と思春期女子の性行動の変化に関する研究」村松泰子ほか（1999.3）
5. 「改正均等法を職場に定着させよう！CENTRAL WOMEN'S RALLY：'98連合中央女性集会」日本労働組合総連合会（1999.2）
6. 「改正男女雇用機会均等法のあらまし：女性がその能力を十分発揮することができる職場づくりを！」（パンフレット：no.17）労働省女性局（1999.5）
7. 「風を起こす女性たち：女性の社会参加支援特別推進事業報告書（平成2年度～平成10年度）」文部省生涯学習局男女共同参画学習課（1999.3）
8. 「学校における性教育の考え方進め方」文部省（1999.3）
9. 「学校のなかの"女の子"と"男の子"に関する調査報告：愛知県の小学校教師調査を通して」「ジェンダーと教育」セミナー実行委員会小学校教師調査グループ（1999.3）
10. 「学校のなかの"女の子""男の子"を考える」「ジェンダーと教育」セミナー実行委員会（1999.3）
11. 「家庭・地域社会の教育力向上に向けて：教育コミュニティづくりの勧め（提言）」大阪府社会教育委員会議（1999.1）
12. 「家庭内のごみに関する調査結果報告書：ごみに対する意識と実態」大和ハウス工業株式会社生活研究所（1999.2）
13. 「規範感覚の崩れ：高校生の価値観（モノグラフ・高校生Vol.55）」ベネッセコーポレーション（1999.3）
14. 「'99女のゼネスト」'99「女のゼネスト」実行委員会（1999.8）
15. 「子どもたちはいま：ジェンダーにとらわれない子育て」大阪府大阪市民局生活文化部女性施策推進課（1999.3）
16. 「自分らしく生きるためにIII：女性に対する暴力」東京女性財団（1999.3）
17. 「子育て生活基本調査報告書II」ベネッセ教育研究所（1999.7）
18. 「少子化に関する世論調査」（世論調査報告概要）総理府内閣総理大臣官房広報室（1999）
19. 「職場におけるセクシュアルハラスメントの防止に向けて」（パンフレット：19）労働省女性局（1999）
20. 「女子差別撤廃条約 [名訳コンクール入選作品集]」北九州市立女性センター（1999.3）
21. 「女性関連施設に関する総合調査 <学習・研修>事業に関する調査（報告書、事例集）」全国婦人会館協議会編全国婦人会館協議会（1999.3）
22. 「女性議員ゼロ議会をなくそう：あなたの想いを行動に」「女性議員ゼロ議会をなくそう」リレー・フォーラム実行委員会（1999.3）
23. 「女性技術者：就労環境の変化調査研究報告書」日本女性技術者フォーラム調査部会（1999.3）
24. 「女性と仕事に関する調査報告書」堺市（1999.3）
25. 「女性と人権：アジア女性基金の取り組みと直面する問題」女性のためのアジア平和国民基金（1999.3）
26. 「女性とメディアの新世紀へ」東京女性財団（1999.3）
27. 「女性に対する暴力：その原因と結果：報告書」女性のためのアジア平和国民基金（1999.1）
28. 「女性のエンパワーメント：男女共同参画社会の確立をめざして」大学婦人協会（1999.3）
29. 「女性の国際的人身売買に関する地域会議報告書」女性のためのアジア平和国民基金（1999.3）
30. 「生活の知恵と職業技術の交換塾：事業報告書」アンテナネット事務局（1999.3）
31. 「生協の男女共同参画促進に関する重点課題の提言」日本生活共同組合連合会（1999.6）
32. 「大学生・親・小中学校教員のジェンダー意識調査」「ジェンダーと教育」セミナー実行委員会ジェンダー意識調査班（1999.3）
33. 「大卒女性のキャリアパターンと就業環境」東京女性財団（1999.3）
34. 「男女共同参画社会に向けた学習ガイド：社会教育指導者にジェンダーの視点を」日本女子社会教育会（1999.3）
35. 「男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究アンケート調査報告書」国立婦人教育会館（1999.3）
36. 「当事者の立場にたったサポートとは：女性に対する暴力・性的虐待」女性のためのアジア平和国民基金（1999.3）
37. 「東南アジアにおける持続可能な都市化、女性の地位、宗教」国立社会保障・人口問題研究所（1999.3）
38. 「日本NGOレポート：女性2000年会議に向けて」日本NGOレポートをつくる会（1999.8）

39. 「日本のフェミニズムを越えて：フランスと日本の男女関係のちがいはどこにあるか」日仏女性資料センター (1999)
40. 「日本 フィリピン アメリカにおける女性労働者の不安定雇用問題」フィリピンアメリカン財団 (1999)
41. 「「ファミリー・フレンドリー」企業をめざして」(財)女性労働協会 (1999.5)
42. 「夫婦のライフスタイル調査：アンケート調査」東海銀行 (1999.3)
43. 「暴力や性被害に悩む女性のための公共機関相談窓口ガイド」女性のためのアジア平和国民基金 (1999.3)
44. 「ほめられ体験・叱られ体験 (モノグラフ・小学生ナウ vol.18-3)」ベネッセコーポレーション (1999.2)
45. 「漫画とアニメで語る、男女の性と生」静岡県青年男女の共同参画セミナー実行委員会 (1999.3)
46. 「幼児と人権：子どもを暴力から守る」OME P日本委員会 (1999.5)
47. 「わかる！使える！女子差別撤廃条約ガイドブック」北九州市立女性センター (1999.6)
48. “CIDA’s policy on gender equality” Quebec Canadian International Development Agency (1999)
49. “Commission on the status of women - 1999” Cambridge Soroptimist International (1999)
50. “Gender discrimination prevention and relief act” Seoul the Presidential Commission on Women’s Affairs Republic of Korea
51. “Toward a gender-responsive legislation” Manila National Commission on the Role of Filipino Women (NCRFW) (1999)
52. “Violence against women : a briefing document on international issues and responses” Manchester British Council (1999)
53. “Women@work against violence : voices in cyberspace” New York UNIFEM (1999)
54. “Women and health : mainstreaming the gender perspective into the health sector” New York United Nations (1999)
55. “Working women in Japan” Tokyo Japan Institute of Workers’ Evolution (1999)



編集後記

国連は本年1999年を「国際高齢者年」と定めており、我が国でもこれに対応した各種の施策が実施されていますが、会館においては、「高齢社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究」を本年度から2年計画で実施しております。本誌では、ノンフィクション作家門野晴子氏から「『老親ろうしん』映画化！ただいま奮戦中！？」と題する巻頭言をいただきました。国際高齢者年に当たって、ご自身が介護体験のある立場から介護保険実施に当たっての一石を投じております。

本誌は会館情報の発信と女性情報ネットワークの形成を目的として発行しております。7月25日～9月2日の40日間会館が実施いたしました、アジア太平洋地域の婦人教育・女性情報に関する専門家が対象の海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業においては、ホームページの作成を含むインターネットの活用・演習を実施するとともに、アジア太平洋地域の人々とのネットワークの構築を図るなど情報発信技術の修得と女性情報ネットワークの形成に主眼をおいた研修となりました。その詳細については次号においてご紹介いたします。

なお、WINET情報No.3(1993.3)の巻頭言「なぜ今『男女共同参画社会基本法』なのか？」をご執筆いただきました寺尾美子氏の職名については「東京大学法学部教授」ですでお知らせいたします。

(M.S)

WINET情報 No.4

発行日 平成11年9月30日

編集・発行 国立婦人教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地

電話 0493(62)6711(大代表)

ホームページ URL <http://www.nwec.go.jp>

E-mail webmaster@nwec.go.jp

印刷 株式会社青松社

電話 03(3479)7111(大代表)

